

シラバス（授業計画）

（ 第 1 部 ）

2 0 1 8



名古屋文化学園保育専門学校

目 次

【第1部 1年生】

音楽	1
社会学	2
就職実務	3
日本国憲法	4
情報機器演習	5
一般英語	6
体育講義	7
体育実技	8
国語	9
音楽（器楽）	10
音楽（声楽）	11
図画工作	12
図画工作	13
体育	14
体育	15
教職概論	16
教育原理	17
教育心理学	18
教育課程総論	19
教育方法の研究	20
保育指導法総論	21
健康指導法	22
人間関係指導法	23
環境指導法	24
言葉指導法	25
基礎実習	26
教育実習Ⅰ	27
教育実習事前事後指導Ⅰ	28
児童家庭福祉	29
社会的養護	30
発達心理学	31
発達心理学Ⅱ	32
乳児保育	33
障がい児保育	34
社会的養護内容	35

保育実習Ⅰ（施設）	36
保育実習指導Ⅰ（施設）	37

【第1部 2年生】

生物学	39
自然科学概論	40
野外活動	41
音楽Ⅱ（器楽）	42
音楽Ⅱ（声楽）	43
表現（音楽）指導法	44
表現（造形）指導法	45
表現（音楽）指導法Ⅱ	46
表現（造形）指導法Ⅱ	47
教育相談	48
教職実践演習	49
教育実習Ⅱ	50
教育実習事前事後指導Ⅱ	51
社会福祉	52
相談援助	53
保育原理	54
保育原理Ⅱ	55
子どもの保健Ⅰ	56
子どもの保健Ⅱ	57
子どもの食と栄養	58
家庭支援論	59
乳児保育Ⅱ	60
障がい児保育	61
児童文化	62
保育相談支援	63
保育実習Ⅰ（保育所）	64
保育実習指導Ⅰ（保育所）	65
保育実習Ⅱ	66
保育実習指導Ⅱ	67
保育実践演習	68

保 育 科

第 1 部 1 年 生

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年		学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		音楽				担当教員	川端 千香子		
全体目標	幼児への音楽指導上必要な知識としての「音楽理論」を習得し、正しい楽譜の書き方、読み方を習得し、読譜力を充実させる。 リズム楽器の奏法と編曲法を習得する。								
一般目標	楽譜に込められた作品の意図を読み解くことができるようになるための音楽上の規則を習得する。								
到達目標	幼児保育で演奏する楽曲の読譜が難無くできるように楽曲の基礎を習得する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	音符と休符の名称と書き方と音価について				事前学習 事後学習	教科書12～17頁を精読 演習問題の実践		
	②	五線と音部記号 五線上への音符と休符の書き方				事前学習 事後学習	教科書18～21頁を精読 楽譜の写譜		
	③	幹音と派生音の名称				事前学習 事後学習	教科書22～25頁、36～41頁を精読 演習問題の実践		
	④	拍子の種類と記し方				事前学習 事後学習	教科書26～33頁を精読 演習問題の実践		
	⑤	小節と縦線 強起と弱起				事前学習 事後学習	教科書34～35頁を精読 演習問題の実践		
	⑥	リズム楽器の指導法				事前学習 事後学習	リズム楽器の説明プリントを精読 リズム合奏譜の写譜		
	⑦	幼児の曲の編曲法(リズム楽器を用いて)				事前学習 事後学習	リズム楽器の説明プリントを精読 編曲の実践		
	⑧	音程				事前学習 事後学習	教科書62～71頁を精読 演習問題の実践		
	⑨	音階と調(長調)				事前学習 事後学習	教科書42～53頁を精読 演習問題の実践		
	⑩	音階と調(短調)				事前学習 事後学習	教科書72～79頁を精読 演習問題の実践		
	⑪	音符の読み方(固定ド唱法と移動ド唱法) 記号と主音の関係について				事前学習 事後学習	教科書54～60頁を精読 演習問題の実践		
	⑫	標語と記号 (速度、強弱、曲想、付加語に関するもの)				事前学習 事後学習	教科書90～93頁を精読 演習問題の実践		
	⑬	標語と記号 (奏法、省略記号、装飾音、装飾記号に関するもの)				事前学習 事後学習	教科書93～97頁を精読 演習問題の実践		
	⑭	和音とコードネーム				事前学習 事後学習	教科書98～102頁を精読 演習問題の実践		
	⑮	試験・まとめ				事前学習 事後学習	総復習をして試験に備える 試験で疑点が浮いた箇所を復習する		
学習上の留意点	授業の復習を確実にを行い、理解したことを定着させて下さい。毎日5分でも10分でも復習する時間を作って、基礎を徹底して下さい。 習熟度に個人差がかなりあるので、補充課題を配布します。積極的に取り組むようにして下さい。								
成績評価の方法	定期試験の結果 70% 小テスト、提出物の結果 30%				教科書	『楽譜が読めるステップ12』 甲斐彰、音楽之友社			
					参考資料	『幼児のうたとあそび』 『バイエル』			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	社会学				担当教員	富田 祐一	
全体目標	社会学への入門として社会学の理論・基本的な概念を学び、社会学的思考法を理解することを目指す。						
一般目標	社会学の基本的な理論や概念を学び、いくつかの具体的な事例を取り上げながら、社会を捉え直し、理解を深める。						
到達目標	社会学の基礎的なものの考えを学び、理解する。 身の回りで起こるさまざまな問題に対し、社会学的思考を通じて理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	社会学の基礎概念			事前学習	p18～27「イントロダクション」を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
	②	集団論の世界			事前学習	配布資料を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
	③	社会的行為と社会的ジレンマ			事前学習	配布資料を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
	④	労働の社会学① 労働の意義			事前学習	配布資料を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
	⑤	労働の社会学② 女性の労働と貧困問題			事前学習	配布資料を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
	⑥	結婚の社会学① 結婚のかたち			事前学習	配布資料を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
	⑦	結婚の社会学② 夫婦別姓問題			事前学習	配布資料を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
	⑧	家族の形態と機能			事前学習	配布資料を読む	
					事後学習	リアクションペーパーの提出	
⑨	少子化社会の現状と課題			事前学習	配布資料を読む		
				事後学習	リアクションペーパーの提出		
⑩	ジェンダー① 基本的な考え方			事前学習	配布資料を読む		
				事後学習	リアクションペーパーの提出		
⑪	ジェンダー② ジェンダーフリー			事前学習	配布資料を読む		
				事後学習	リアクションペーパーの提出		
⑫	メディアリテラシー			事前学習	配布資料を読む		
				事後学習	リアクションペーパーの提出		
⑬	エイジングと高齢化社会① 老年人口割合の推移と展望			事前学習	配布資料を読む		
				事後学習	リアクションペーパーの提出		
⑭	エイジングと高齢化社会② 高齢化と福祉社会			事前学習	配布資料を読む		
				事後学習	リアクションペーパーの提出		
⑮	筆記試験・まとめ			事前学習	配布プリント、教科書を見直す		
				事後学習	これまでの学習を振り返る		
学習上の留意点	1 筆記用具を持参し自分の講義ノートをつくること。 2 配布資料は必ず読むこと。 3 関連するニュースや新聞、書籍に関心をもって目を通すこと。 4 授業は主体的、能動的な態度で臨むこと。						
成績評価の方法	① 定期試験 80%			教科書	社会学がわかる事典 森下伸也 日本実業出版社		
	② レポート・受講態度 20%			参考資料	授業にて配布する。		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	就職実務			担当教員	藤井 由佳		
全体目標	次年度に控えた就職活動へ向けて、必要とされる知識を学ぶ。 また、社会人として求められる基本的なマナーを身につける。						
一般目標	敬語や立ち居振る舞い、マナーを習得する。 就職試験の面接対策として、自己分析を深めて自分自身をよく知る。						
到達目標	1.正しい言葉遣いに関しては、演習問題への取り組みなど机上の学習のみならず、 授業内での使用はもちろん、普段の生活から気をつけて習得を目指すこと。 2.テキストやワークシートの質問事項について文章化することにより、自分を再認識して、 自己PRや志望動機などを、より自分らしいものにする。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション(授業内の約束事)・社会人になるとは 基本動作(立つ姿勢・お辞儀の仕方)			事前学習	シラバス確認	
					事後学習	講義で学んだ基本動作の練習	
	②	敬語について(尊敬語・謙譲語・丁寧語) 基本動作(椅子の座り方)			事前学習	テキスト下読み	
					事後学習	課題の取り組み(敬語練習問題)	
	③	敬語演習 面接試験準備(自分史作成)			事前学習	テキスト下読み	
					事後学習	自己分析ワークシート1作成	
	④	敬語表現のロールプレイング 発声練習			事前学習	テキスト下読み	
					事後学習	課題の取り組み(敬語練習問題)	
	⑤	面接試験準備(自己分析)・第一印象 基本動作(歩き方)			事前学習	テキスト下読み	
					事後学習	自己分析ワークシート2作成	
	⑥	敬語表現のロールプレイング 名刺の出し方・受け方			事前学習	テキスト下読み	
					事後学習	課題の取り組み(敬語練習問題)	
	⑦	効果的な話し方・聞き方 身だしなみについて			事前学習	テキスト下読み	
					事後学習	自己分析ワークシート3作成	
	⑧	面接トレーニング 面接対策(自己分析)			事前学習	テキスト下読み	
				事後学習	自己分析ワークシート4作成		
⑨	電話話法の基本と演習 面接対策(自己分析)			事前学習	テキスト下読み		
				事後学習	ロールプレイング発表練習		
⑩	電話応対のロールプレイング (ペア演習発表)			事前学習	テキスト下読み		
				事後学習	自己分析ワークシート5作成		
⑪	ビジネス文書の基本 就職活動におけるソーシャルメディアの利用			事前学習	テキスト下読み		
				事後学習	課題の取り組み(文書作成)		
⑫	面接対策(自己分析・志望動機) 園選びの優先順位・ライフスタイル			事前学習	テキスト下読み		
				事後学習	自己分析ワークシート6作成		
⑬	面接の目的 面接対策(志望動機・自己分析・短所についても)			事前学習	テキスト下読み		
				事後学習	自己分析ワークシート7作成		
⑭	訪問時のマナー・面接試験のマナー・席次 基本動作復習・質疑応答			事前学習	テキスト下読み		
				事後学習	試験対策		
⑮	試験・まとめ			事前学習	試験対策		
				事後学習	総復習		
学習上の留意点	・授業開始までに授業には関係ない物を片付け、必要な物を整えておくこと。 ・ロールプレイングをはじめ、積極的な態度で授業に臨むこと。 ・挨拶、ルール、時間管理、期限の徹底 ・授業を妨害する行為をした場合は退出の上、その講義を欠席扱いとする。						
成績評価の方法	授業参加状況・受講態度 30% 実技・ロールプレイング 20% 提出物 20% 試験 30% 以上を総合的に評価			教科書	「これだけは知っておきたい!」 面接対策&ビジネスマナー		
				参考資料	「付属ワークブック」 (株)ウィネット		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	日本国憲法			担当教員	李 智基		
全体目標	①法の基本的な成り立ちが理解できること。②憲法の基本的理念が理解できること。③法的思考を養うこと。④保育の専門家として社会的責任の意識をすること。						
一般目標	身近な話題や政治・社会問題を手がかりに日本国憲法の基本的な内容を理解し、憲法に規定された個人の自由や権利がどのように保障されているのか、問題となる自由や権利を巡ってどのような議論があり、その争点は何か、さらには、国家の統治システムはどのようにあるべきか等を、裁判例を素材にしたり、憲法学説を紹介したりして、解説します。その上で各講義テーマにおいて、個人に保障された自由や権利の意味と国家の役割を受講者に考えてもらうことを目標とします。						
到達目標	国家の最高法規であり基本法である日本国憲法について、保育士や幼稚園教諭を目指す学生たちに、その精神や狙いを理解させ、人権意識の高い人間を養成する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 憲法と立憲主義				事前学習	憲法と立憲主義に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
	② 憲法総論・国民主権・平和主義				事前学習	憲法総論に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
	③ 基本的人権を保障する意義				事前学習	人権保障に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
	④ 思想・良心の自由				事前学習	精神的自由に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
	⑤ 表現の自由				事前学習	表現の自由に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
	⑥ 人身の自由				事前学習	自身の自由に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
	⑦ 国会				事前学習	国会に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
	⑧ 内閣				事前学習	内閣に関する教科書の内容を読む	
					事後学習	講義ノートを読む	
⑨ 司法				事前学習	司法に関する教科書の内容を読む		
				事後学習	講義ノートを読む		
⑩ 地方自治				事前学習	地方自治に関する教科書の内容を読む		
				事後学習	講義ノートを読む		
⑪ 財政				事前学習	財政に関する教科書の内容を読む		
				事後学習	講義ノートを読む		
⑫ 近代憲法の歴史的意義				事前学習	近代憲法歴史に関する教科書の内容を読む		
				事後学習	講義ノートを読む		
⑬ 国民主権・天皇制				事前学習	天皇制に関する教科書の内容を読む		
				事後学習	講義ノートを読む		
⑭ 平和主義・憲法改正				事前学習	憲法改正に関する教科書の内容を読む		
				事後学習	講義ノートを読む		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	テスト勉強すること		
				事後学習	テスト内容確認		
学習上の留意点	周りの情報にも関心をもち、憲法を単に机上の学問とするのではなく、実際に自分たちの生活と密接にかかわっていること、また将来、子どもたちを守ってやる砦となれるよう、心構えをしっかりと身につけさせる。						
成績評価の方法	受講態度及び・集中度50% 筆記試験50%			教科書	伊藤真の憲法入門 第六版 日本評論社 日本国憲法 講談社		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名		情報機器演習			担当教員	堀田 とも子		
全体目標	情報化社会における一般的な常識としての情報機器(パソコン)の基本操作をマスターし、効率化、簡素化を目的とした文書作成(WORD)と表作成および表計算(EXCEL)の基本操作法を習得する。また情報収集の手段としてのインターネットを安全かつ、効率よく利用できる技術とマナーを学ぶ。							
一般目標	将来保育者として社会に出た時に、社内外の報告書等がスムーズに作成できる技術の習得と、インターネットを利用して便利にかつ安全に情報収集できることを目的とする。							
到達目標	1.パソコンの基本操作(マウスの使い方・文字入力・データの保存や開き方等)を習得。 2.WORD・・・一般的な初級程度の技術を習得し、簡単な文書(園だより等)が作成できる。 3.EXCEL・・・一般的な初級程度の技術を習得し、簡単な表(会計報告等)とグラフが作成できる。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	コンピューターの基本操作・・・OSとは？APとは？からWINDOWSの基本操作の演習			事前学習	教科書読み		
					事後学習	理解不足箇所を復習		
	②	コンピューターの基本操作・・・データの保存方法とマウスの操作、および日本語入力			事前学習	教科書読み		
					事後学習	理解不足箇所を復習		
	③	コンピューターの基本操作・・・ファイルとフォルダの概念と、拡張子や容量の理解			事前学習	教科書読み		
					事後学習	理解不足箇所を復習		
	④	MS-WORD2010演習・・・新規文書の作成と管理			事前学習	教科書読み		
					事後学習	理解不足箇所を復習		
	⑤	MS-WORD2010演習・・・シンプルなレポートや報告書の作成			事前学習	教科書読み		
					事後学習	理解不足箇所を復習		
	⑥	MS-WORD2010演習・・・表・ワードアート・クリップアート・図形の挿入方法			事前学習	教科書読み		
					事後学習	理解不足箇所を復習		
	⑦	MS-WORD2010演習・・・練習問題(園だより)をつくってみよう			事前学習	教科書読み		
					事後学習	理解不足箇所を復習		
	⑧	MS-EXCEL2010演習・・・表作成の基本操作			事前学習	教科書読み		
				事後学習	理解不足箇所を復習			
⑨	MS-EXCEL2010演習・・・表を見やすく使いやすくする編集操作			事前学習	教科書読み			
				事後学習	理解不足箇所を復習			
⑩	MS-EXCEL2010演習・・・数式・関数を活用した集計表の作成とグラフの基本			事前学習	教科書読み			
				事後学習	理解不足箇所を復習			
⑪	MS-EXCEL2010演習・・・練習問題(遠足会計報告書)を作ってみよう			事前学習	教科書読み			
				事後学習	理解不足箇所を復習			
⑫	MS-WORD・MS-EXCEL2010演習・・・復習とふりかえり			事前学習	全体を通して理解不足箇所の洗い出し			
				事後学習	理解不足箇所を復習			
⑬	インターネット・・・ブラウザ(IE)の操作方法と安全な情報収集方法を演習			事前学習	教科書読み			
				事後学習	理解不足箇所を復習			
⑭	全体のまとめ・質疑応答、および試験対策課題の説明とCDの取り扱い法説明			事前学習	教科書読み			
				事後学習	理解不足箇所を復習			
⑮	筆記試験の実施と、総まとめ、および講評			事前学習	教科書読み			
				事後学習	講評の内容の理解			
学習上の留意点	1.「情報利活用 コンピューターリテラシー」の教科書の購入必須 2.課題提出用としてCD-R1枚/人購入必須 3.授業時は教科書、筆記用具、ノートを持ってくる							
成績評価の方法	1.課題25% 2.筆記試験75% ※平常点(受講態度、積極的に授業に参加したか)を勘案する。				教科書	情報利活用 コンピューターリテラシー		
					参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名		一般英語				担当教員	米田 充	
全体目標	映画「ハリーポッター」を題材に、基本的な表現、イギリス英語とアメリカ英語の違いを知る。原書を読むための基本的な和訳法を身につける。							
一般目標	各セクションの重要表現を聞き取り、復唱、書き取りをすることで表現に慣れ親しむ。英文の構造を段階を追って学び、和訳法へ適用させる。							
到達目標	テキストのヒントを参考に、ピックアップされた表現を繰り返し聞いてなんとか真似をして復唱する。英文の構造を解析する練習を繰り返し、和訳の準備を整えてから、和訳を実践していく。原書を辞書を引きながら読み進められる自信をつける。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	併行する学習の方法と目標の説明。 Section1のリスニング hope/thinkの違いなど				事前学習	シラバスを読んでおく	
						事後学習	重要表現の復唱練習	
	②	動詞の発見とその周辺の語句				事前学習	テキストの要点の先読み	
						事後学習	練習問題で実践練習	
	③	Section2のリスニング get up/wake upの違い、命令文、数の尋ね方など				事前学習	word listのチェック	
						事後学習	重要表現の復唱練習	
	④	主語の発見、主語の前の余分な語句について				事前学習	テキストの要点の先読み	
						事後学習	練習問題で実践練習	
	⑤	Section3のリスニング Why/Becauseの呼応, too/eitherの使い方				事前学習	word listのチェック	
						事後学習	重要表現の復唱練習	
	⑥	語句のまとめ 修飾語＋名詞、前置詞＋名詞				事前学習	テキストの要点の先読み	
						事後学習	練習問題で実践練習	
	⑦	Section4,5のリスニング Excuse me, but、疑問詞＋不定詞の用法				事前学習	word listのチェック	
						事後学習	重要表現の復唱練習	
	⑧	和訳の順序 基礎和訳と調整和訳の仕方				事前学習	テキストの要点の先読み	
						事後学習	練習問題で実践練習	
⑨	Section6,7のリスニング 大きな数字の読み方、What's ＋場所、Here we are				事前学習	word listのチェック		
					事後学習	重要表現の復唱練習		
⑩	2つ以上の文、つながりの理解 等位接続詞と従位接続詞				事前学習	テキストの要点の先読み		
					事後学習	練習問題で実践練習		
⑪	Section8,9のリスニング 発音練習、Can you/Could youの違いなど				事前学習	word listのチェック		
					事後学習	重要表現の復唱練習		
⑫	つながりの理解2 間接疑問文と関係代名詞				事前学習	テキストの要点の先読み		
					事後学習	練習問題で実践練習		
⑬	Section10のリスニング Do you mind..に対する答え方				事前学習	word listのチェック		
					事後学習	重要表現の復唱練習		
⑭	和訳の実践 原書からの英文にもチャレンジ				事前学習	要点の復習		
					事後学習	練習問題で実践練習		
⑮	試験、まとめ				事前学習	教材の見直し		
					事後学習	まとめの理解		
学習上の留意点	リスニングの授業は英語で行いますが、細かなことにとらわれることなく、感覚で理解に努めるように。書き取りの際、スペルチェックできるように、辞書を用意しておくといでしょう。和訳法の授業は日本語で行います。高校までの文法はあまり気にしなくてもかまいません。テキストへの書き込みは必ずしてください。その都度提出を求めます。							
成績評価の方法	平常授業での提出プリントの完成度 60点満点 プリント提出できない場合は-5点 プリント書き込みが不十分な場合は-3点 期末定期試験 40点満点 プリントと試験の合計点で最終評価する					教科書	オリジナル教材	
						参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	体育講義			担当教員	山内 隆治		
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	柔軟性を養うと共に、自らの体力の向上を図る。						
到達目標	正しいストレッチ体操を習得して、留意点に注意して行う。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション (今後の授業の進め方)			事前学習	シラバスの下読み	
					事後学習	授業内容の把握	
	②	バレーボール (オーバーパス理論と練習)			事前学習	バレーボールのルール確認	
					事後学習	オーバーパスの習得	
	③	バレーボール (アンダーパス理論と練習)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	アンダーパスの習得	
	④	バレーボール (サーブ理論と練習)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	サーブの習得	
	⑤	バレーボール (サーブレシーブ理論と練習)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	サーブレシーブの習得	
	⑥	バレーボール (対人パス理論と練習)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	対人パスの習得	
	⑦	バレーボール (サークルパス理論と練習)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	サークルパスの習得	
学習上の留意点	⑧	バレーボール (ゲーム)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	ゲーム内容の確認	
	⑨	マット運動 (前転系理論と練習)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	開脚前転の習得	
	⑩	マット運動 (後転、倒立理論と練習)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	後転の習得	
	⑪	マット運動 (実技試験)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	マット運動の習得	
	⑫	体力テスト (反復横跳び・立ち幅跳び)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	各個人の体力年齢の把握	
成績評価の方法	⑬	ニュースポーツ (キャッチザスティック)			事前学習	ストレッチ体操内容確認	
					事後学習	ニュースポーツの種目確認	
	⑭	講義 (ストレッチ図解)			事前学習	ストレッチ体操留意点の把握	
					事後学習	ストレッチ体操の図解確認	
	⑮	定期試験まとめ			事前学習	試験範囲の確認	
				事後学習	評価内容の把握		
成績評価の方法	・実技 (50点) ・定期試験 (50点) ・平常点(授業態度、授業参加状況)			教科書	・プリント教材(ストレッチ体操留意点及び名称)		
				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ <u>実技</u>	単位数	1単位
科目名	体育実技				担当教員	山内 隆治	
全体目標	からだの仕組みを知り、より効果的にトレーニングできる知識を学ぶ。						
一般目標	幼児体育における知識、及び器械体操の補助法を学ぶ。						
到達目標	幼児体育種目を体験することにより、現場で対応できる知識を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① バルーン、組体操 (1人体操・2人組)				事前学習	バルーンの動き確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	② 組体操 (3人組・6人組・全体)				事前学習	組体操種目確認	
					事後学習	組体操種目の習得	
	③ 集団ゲーム (ジャンケンゲーム・鬼ごっこ)				事前学習	集団ゲームの内容確認	
					事後学習	ゲーム種目の習得	
	④ ドッジボール (ノーマルドッジ)				事前学習	ドッジボールのルール確認	
					事後学習	ドッジボールの動き取得	
	⑤ ドッジボール (王様ドッジ)				事前学習	王様ドッジのルール確認	
					事後学習	王様ドッジの動き取得	
	⑥ ドッジビー (スローイング・ゲーム)				事前学習	ドッジビーのルール確認	
					事後学習	スローイングの習得	
	⑦ 縄跳び (大縄)				事前学習	大縄種目の確認	
					事後学習	縄に入るタイミングの習得	
	⑧ 縄跳び (短縄)				事前学習	短縄種目の確認	
					事後学習	短縄種目の習得	
⑨ 器械体操補助法 (マット・鉄棒)				事前学習	マット・鉄棒の補助法確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法把握		
⑩ 器械体操補助法 (実技テスト)				事前学習	マット・鉄棒の補助法再確認		
				事後学習	マット・鉄棒の補助法習得		
⑪ ポートボール (ランニングパス)				事前学習	ポートボールのフォーメーション確認		
				事後学習	パスからシュートまでの習得		
⑫ ポートボール (ゲーム)				事前学習	ポートボールのルール確認		
				事後学習	ゲーム内容の確認		
⑬ 講義 (幼児体育カリキュラム・器械体操の段階指導)				事前学習	器械体操の段階指導法確認		
				事後学習	カリキュラム内容の把握		
⑭ 講義 (リーグ戦・トーナメント表作成)				事前学習	リーグ戦・トーナメント表作成方法確認		
				事後学習	学校体育の領域確認		
⑮ 定期試験まとめ				事前学習	試験範囲の確認		
				事後学習	評価内容の把握		
学習上の留意点	・運動の出来る服装で出席すること。 ・体育館シューズを用意すること。 ・装飾品は、はずして出席すること。						
成績評価の方法	・実技 (50点) ・定期試験 (50点) ・平常点(授業態度、授業参加状況)				教科書		
					参考資料	プリント教材(器械体操の段階指導法) プリント教材(幼児体育カリキュラム) プリント教材(リーグ戦表・トーナメント表の作成方法)	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名	国語				担当教員	矢野 桂子			
全体目標	幼児がことばを学び、ことばで考え、表現する力をつける重要な環境の一部としての自覚を持ち、「聞く、話す、読む、書く」力の大切さを再認識するとともに、感性を磨き、いっそう豊かな国語の力をつける。								
一般目標	国語の基礎的・基本的事項についての知識・理解をいっそう深める。言語表現の実践的な諸能力を高める。								
到達目標	・自己紹介・スピーチ・朗読・発表などを通して、考えを伝え合う力をつける。 ・四季の変化の中での暮らし・文化に培われてきた豊かな日本語にふれ、言語生活に活かす意欲を持つ。 ・多様な情報を認識し、よりよい活用について考え、情報処理能力の向上を目指す。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 授業計画 学習上の留意事項	自己紹介の仕方について 自己紹介				事前学習	シラバス下読み		
						事後学習	自己紹介感想・反省		
	② レポートを書く(1) テーマについて話し合い資料を作る	ミニテスト① 各自のテーマを決め、構成メモを作る				事前学習	ケータイ生活を振り返る		
						事後学習	記述内容を考える		
	③ レポートを書く(2) 構成メモをもとに記述する	ミニテスト②				事前学習	構成メモを見直す		
						事後学習	校正する		
	④ レポートを書く(3) レポートを発表する 相互評価する	ミニテスト③				事前学習	発表準備をする		
						事後学習	諸記録等に段落を意識して書くようにする		
	⑤ 豊かな日本語(1) 字源を調べる[漢字・平仮名・片仮名]	ミニテスト④				事前学習	自分の姓名の由来を調べる		
						事後学習	興味を持った漢字を調べる		
	⑥ 豊かな日本語(2) 四季に関することばを調べる	ミニテスト⑤ 二十四節気・七十二候を知る				事前学習	身の周りの季節夏のことばを探す		
						事後学習	自然や暮らしの中の季節感に関心を持つ		
	⑦ 豊かな日本語(3) 時・場・相手に応じた言葉遣いの演習をする	ミニテスト⑥				事前学習	言葉遣いで知りたいことをまとめる		
						事後学習	相手意識を持って話すように心掛ける		
	⑧ 豊かな日本語(4) 成語の成り立ちと意味・活用を考える	ミニテスト⑦ 成語を使って短文を作る				事前学習	好きな熟語を見つける		
						事後学習	会話に成語を活かす		
学習上の留意点	⑨ 読む(1) 絵本・詩・新聞記事を朗読する	ミニテスト⑧ 授業の前後の読み方の違いを評価しあう				事前学習	興味を持った新聞記事を集める		
						事後学習	「読む」ことを生活に取り入れる		
	⑩ 読む(2) 短歌・俳句などの歴史について学ぶ	ミニテスト⑨ 短歌の百人一首・俳句の百人一首を詠む				事前学習	好きな短歌や俳句を集める		
						事後学習	日本の文芸に関心を寄せる		
	⑪ 手紙を書く(1) 礼状や消息の書く練習をする	ミニテスト⑩ 役割を考える・内容による形式を知る				事前学習	手紙を出す相手の住所を調べる		
						事後学習	実習の礼状の下書きをする		
	⑫ 手紙を書く(2) 実習の礼状の下書きを添削しあう	封書・返信はがきなどのマナーを知る				事前学習	前文の言葉を考える		
						事後学習	機会を捉え学習したことを実践する		
	⑬ スピーチ(1) スピーチの意図を知り、準備する	テーマ「自分の成長」原稿を書く				事前学習	自分の内面を見つめる		
						事後学習	原稿の校正をする		
成績評価の方法	⑭ スピーチ(2) スピーチ・感想を発表しあう	成長を認めあい、励ましあう				事前学習	スピーチの練習をする		
						事後学習	学生生活の励みとする		
	⑮ 試験(筆記・作文) 講評					事前学習	試験問題		
						事後学習	総復習		
成績評価の方法	試験	60%	教科書	授業内容により適時プリント教材使用					
	受講態度	20%		『ことばの知識百科』三省堂 『成語林』旺文社					
	作品(レポート・作文・手紙)	20%		『現代人のためのことばの知識百科』主婦の友社					
				参考資料	『なるほど語源物語』大蔵省 詩集多数 『この漢字はこのかたち』財務相 新聞記事 『日本秀歌秀句の辞典』小学館 『子どもの感性を育む』NHK				

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	通年	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名		音楽(器楽)				担当教員	仙石美千代・桐生敬子・葛島真季 飯田美智恵・重岡容子・鷺山千香子	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項について、鍵盤楽器の演習をとおして、知識・技術と表現力を身につける。							
一般目標	鍵盤楽器の基本的な奏法を習得し、幼児の発達や幼児音楽を理解して演奏する。							
到達目標	1. プリント教材、バイエル等で鍵盤楽器の演奏技術を身につけ、向上させる。 2. 幼児の歩く速さを理解し、行進曲の演奏法を習得する。 3. 教育実習に向けて幼児の一日の生活の流れを知り、「生活のうた」の伴奏法を習得する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	習熟度別指導:楽器の取り扱い方・カリキュラム説明				事前／事後 器楽学習歴調査／内容の把握		
	②	個人指導(プリントⅠ・Ⅱ, バイエル58,80など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	③	個人指導(プリントⅢ, バイエル52,82など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	④	個人指導(プリント1～3, バイエル66,88など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑤	個人指導(プリント4～6, バイエル68,90など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑥	個人指導(プリント7～9, バイエル69,81など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑦	個人指導(プリント10～12, バイエル70,91など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑧	個人指導(プリント13～15, バイエル71,96など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑨	個人指導(バイエル48,67,100など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑩	個人指導(バイエル49,76,102など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑪	個人指導(バイエル55,78,104など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑫	試験曲の説明・範奏				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑬	試験曲の個人レッスン				事前／事後 曲の譜読み・練習／試験曲の把握		
	⑭	試験曲の個人レッスン				事前／事後 試験曲の練習／指摘箇所の確認		
	⑮	前期定期試験・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握		
	⑯	行進曲の説明・試奏				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑰	個人指導および合同練習(行進曲C1・2など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑱	個人指導および合同練習(行進曲C3・B1など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑲	個人指導および合同練習(行進曲B2など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑳	個人指導および合同練習(行進曲A1など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉑	個人指導および合同練習(行進曲A2など)				事前／事後 ⑯譜読み・練習／試験曲の把握		
	㉒	試験曲の個人レッスン・リハーサル				事前／事後 試験曲の練習／指摘箇所の確認		
	㉓	中間試験(行進曲)・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握		
	㉔	実習曲(生活のうた)の説明・範奏				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉕	個人指導(生活のうた「簡易伴奏」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉖	個人指導(生活のうた「おはよう」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉗	個人指導(生活のうた「おべんとう」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉘	個人指導(生活のうた「おかえり」など)				事前／事後 ㉔譜読み・練習／試験曲の把握		
	㉙	試験曲の個人レッスン・リハーサル				事前／事後 試験曲の練習／指摘箇所の確認		
	㉚	後期定期試験・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握		
学習上の留意点	・家での練習の他、学校でも授業前後の少しの時間を大切に、できるだけ毎日練習すること。 ・手の形、姿勢に気をつけて練習すること。 ・読譜に慣れるため、楽譜に階名を記入しないこと。 ・教員の助言したポイントに気をつけて練習をすること。							
成績評価の方法	前期定期試験 40% 後期中間試験 30% 後期定期試験 20% ※平常10%(レッスンの合格曲の難易度と曲数 授業参加状況や受講態度など)を勘案する。 ※評価が、前期＞後期であれば平均値、 前期＜後期であれば、後期の値をとる。					教科書	前期:バイエルピアノ教則本、プリント教材 後期:ピアノマーチ集 全音楽譜出版社 幼児のうたとあそび プリント教材	
						参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習		単位数	1単位
科目名		音楽(声楽)				担当教員	都築 美和子		
全体目標	幼児にとって聞きやすい大きい声で歌えるよう声のトレーニングをする。								
一般目標	基礎的な読譜力、歌唱力、表現力を習得する。								
到達目標	「幼児のうたとあそび」を歌うと共に、音楽発表会に向け、合唱することにより、発声、歌唱能力を高め、ハーモニーの楽しさをおぼえ、豊かな音楽性を習得する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	幼児教育の重要性、音楽発表会について				事前学習	入学前の音楽歴調査。合唱プリント製本		
						事後学習	内容の把握		
	②	発声練習(毎時) 『うたとあそび』生活のうた「おはよう」など、合唱曲パート分け				事前学習	譜読み		
						事後学習	指揮・伴奏・パートリーダー希望調査		
	③	生活のうた「おかえりのうた」など 合唱曲パート練習				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
	④	生活のうた「おべんとう」など 合唱曲パート練習				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
	⑤	生活のうた、あそびのうた「ハッピーバースデー」「むすんでひらいて」 合唱パート練習及び合唱伴奏付				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
	⑥	あそびのうた、10月のうた「あくしゅでこんにちは」「うんどうかい」など 合唱練習、指揮・伴奏付				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
	⑦	10月のうた「きくのはな」「どんぐり」など 合唱練習				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
	学習上の留意点	⑧	11月のうた「こぎつね」など 合唱練習				事前学習	譜読み・練習	
						事後学習	習得確認		
⑨		11月のうた「もみじ」など、教育実習用「生活のうた」復習 合唱練習				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
⑩		12月のうた、実習用のうた「赤鼻のトナカイ」など 合唱練習				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
⑪		音楽発表会、合唱立ち位置確認 入退場確認、合唱練習				事前学習	譜読み・練習		
						事後学習	習得確認		
⑫		合唱練習				事前学習	パート別譜読み確認		
						事後学習	習得確認		
成績評価の方法	⑬	音楽発表会反省、教育実習反省 実技試験曲説明、譜読み				事前学習	試験曲譜読み		
						事後学習	試験曲の把握		
	⑭	実技試験曲 練習				事前学習	試験曲練習		
						事後学習	指摘箇所の確認		
	⑮	実技試験・講評				事前学習	試験曲練習		
					事後学習	講評内容の把握			
成績評価の方法	実技試験 80% 授業中、合唱練習中の参加状況、受講態度 20%					教科書	『幼児のうたとあそび』		
						参考資料	合唱曲のプリント		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	図画工作				担当教員	桑原 恒和	
全体目標	各学生が基礎的な造形・絵画表現について制作を通してもう一度、体験しつつ各指導を基に図画工作の基本知識を得ます。						
一般目標	各学生が集中して制作を行う事より、楽しみながら独自の工夫を加え、制作を発展させて行く事を自ら学ぶ事です。						
到達目標	身近に在る材料や不思議な形態に気付き、それらを使ってどの様な表現が出来るかを学ぶ事です。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	自分の体から(1)手を描く				事前学習	各部分の向きや厚みを意識する。
						事後学習	指摘箇所の確認
	②	自分の体から(2)耳を描く				事前学習	不思議な形を描く
						事後学習	指摘箇所の確認
	③	自分の体から(3)頭部を描く				事前学習	左右非対称を意識する
						事後学習	指摘箇所の確認
	④	音楽による想像画(1)イメージを描く				事前学習	頭に浮かんだものを描く
						事後学習	指摘箇所の確認
	⑤	音楽による想像画(2)仕上げる				事前学習	説得力を持つ様、細部を仕上げる
						事後学習	指摘箇所の確認
	⑥	個別指導、採点、公表、お面作りの下絵制作				事前学習	どんなお面を作るか考える
						事後学習	指摘箇所の確認
	⑦	紙粘土によるお面制作(1)面芯の準備と土台作り				事前学習	全体の大きさやボリュームを考える
						事後学習	指摘箇所の確認
	⑧	紙粘土によるお面制作(2)バランスを考え、盛る				事前学習	立体感を意識しての制作
						事後学習	指摘箇所の確認
⑨	紙粘土によるお面制作(3)各部分の制作				事前学習	細部を工夫する	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑩	紙粘土によるお面制作(4)修正				事前学習	丁寧にひび割れた所を修正する	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑪	紙粘土によるお面制作(5)着色				事前学習	色の組み合わせに注意する	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑫	紙粘土によるお面制作(6)仕上げ				事前学習	違う素材との組み合わせを考える	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑬	画面に楽器全体を閉じ込める(1)ギター				事前学習	膨らませる、曲げるのデフォルメ	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑭	画面に楽器全体を閉じ込める(2)サクソフォン				事前学習	引き延ばす、丸めるのデフォルメ	
					事後学習	指摘箇所の確認	
⑮	試験、まとめ				事前学習	登校時に形の面白いものを見つけ、モデルとする	
					事後学習	指摘箇所の確認	
学習上の留意点	美術が出来ない、苦手という思い込みやコンプレックスを乗り越え、自分は他人とどう違い、どんな個性を持っているのかを認識し、各制作を通して自信を付けて行く事が大切です。						
成績評価の方法	通常各課題 70%				教科書	無し、必要に応じて資料を配布します。	
	定期試験 20%				参考資料	「絵画制作・造形」 東京書籍	
受講態度(提出期限の厳守、画材、材料を忘れない事も含む) 10%							

シラバス（授業計画）

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	図画工作				担当教員	中島 法晃	
全体目標	子どもにとっての最初の先生となる保育士となるために、絵を描いたり造形したりする楽しさや喜びを本授業において身につけることをねらいとします。						
一般目標	幼児の絵や造形についての理解を深め、現場で使うことができる様々な技法や、廃材を使用した立体制作などをおこないます。						
到達目標	授業を通して卒業後、保育現場で子どもたちに表現することの楽しさを伝えることができるような保育士を目指します。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	オリエンテーション、道具類の説明、 子どもの作品鑑賞			事前学習 事後学習	初回時にスケッチブック、のり、はさみを持参 道具の用意	
	②	様々な技法の説明			事前学習 事後学習	初回に説明したすべての道具を持参 資料に目を通し内容を把握する	
	③	新聞紙で洋服づくり			事前学習 事後学習	新聞紙2日分を持参 広告紙や包装紙を保管しておく	
	④	指や手のひらで絵の具遊びをしよう！			事前学習 事後学習	汚れても良い服、絵の具セット持参 指の形からどのような模様のスタンプができるかを探す	
	⑤	どんな模様ができるかな。			事前学習 事後学習	絵の具セット、クレヨン持参 身の回りで見立てについての復習	
	⑥	削ってひっかいて、きれいな絵を描こう！			事前学習 事後学習	絵の具セット、クレヨン持参 身の回りにある削る道具を探し報告する	
	⑦	大空に絵を描こう！			事前学習 事後学習	絵の具セット、クレヨン持参 いろんな景色に絵を当てはめて鑑賞	
	⑧	はじき絵で遊ぼう！			事前学習 事後学習	絵の具セット、クレヨン持参 3原色で30色の色を作る	
	⑨	小麦粉粘土で遊ぼう！			事前学習 事後学習	汚れても良い服、小麦粉500gを持参 家庭にある道具を使って制作	
	⑩	自然の素材をつかって絵をつくろう！			事前学習 事後学習	公園や自然がある場所にでかけ落ち葉を拾う 余った素材で応用し制作	
	⑪	和紙を使ってあんどんを作ろう！			事前学習 事後学習	あんどん、ちょうちん、ねぶたなどのリサーチ 家庭に飾って撮影する	
	⑫	壁面構成（計画）			事前学習 事後学習	行事内容のリサーチ 制作するための素材集め	
	⑬	壁面構成（制作）			事前学習 事後学習	素材を持参 グループごとに次回の内容確認	
	⑭	壁面構成（完成）			事前学習 事後学習	完成させるための制作準備 各グループで共有した内容の確認	
	⑮	試験、まとめ			事前学習 事後学習	これまでの内容の復習 講評のフィードバック	
学習上の留意点	全課題提出を目標とし、授業に臨む姿勢を大切にする。 日常から美術館やギャラリーなどに出かける習慣をつけると良い。 個人制作とグループ制作の両方をおこなうため、コミュニケーションを大切にする。						
成績評価の方法	授業参加状況や授業態度（持ち物チェック） 50% 作品、提出物 50%				教科書		
	2回以上の欠席や、課題未提出がある場合は厳しい評価となる。				参考資料	保育をひらく造形表現 萌文書林	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		体育			担当教員	田島 宗忠		
全体目標	教育におけるコミュニケーションの意味とその方法を理解する。							
一般目標	保育における「集団遊び」について、幼児の発達を踏まえた指導の基礎を学ぶ。							
到達目標	・ 集団遊びの意義を理解する。 ・ 集団遊びの立案及び指導法を理解する。 ・ 保育者としての心構えを身につける。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	① オリエンテーション					事前学習	シラバス下読み	
						事後学習	授業内容の確認	
	② 集団遊び①(コミュニケーション)					事前学習	教科書10～13p下読み	
						事後学習	指導内容の確認	
	③ 集団遊び②(園での遊びを中心に)					事前学習	教科書13～15p下読み	
						事後学習	指導内容の確認	
	④ ダンス①(コミュニケーション)					事前学習	事前配布資料下読み	
						事後学習	指導内容の確認	
	⑤ ダンス②(フォークダンス)					事前学習	事前配布資料下読み	
						事後学習	指導内容の確認	
	⑥ 素材遊び①(ボール)					事前学習	教科書38・66p下読み	
						事後学習	指導内容の確認	
	⑦ 素材遊び②(身近な素材を使って)					事前学習	教科書55・69p下読み	
						事後学習	指導内容の確認	
	⑧ 鬼遊び					事前学習	教科書40～45p下読み	
					事後学習	指導内容の確認		
⑨ 実践研究①(計画作成・グループワーク)					事前学習	事前配布資料下読み		
					事後学習	計画内容の検討		
⑩ 実践研究②(3歳児)					事前学習	指導計画確認		
					事後学習	実践内容の検討		
⑪ 実践研究③(4歳児)					事前学習	指導計画確認		
					事後学習	実践内容の検討		
⑫ 実践研究④(5歳児)					事前学習	指導計画確認		
					事後学習	実践内容の検討		
⑬ 実践研究⑤(振り返り・自己評価)					事前学習	指導計画確認		
					事後学習	実践内容の検討		
⑭ まとめ					事前学習	授業内容の確認		
					事後学習	授業内容の確認		
⑮ 試験・講評					事前学習	試験内容の確認		
					事後学習	講評内容の確認		
学習上の留意点	以下の点に留意して、講義に望むこと。 ・コミュニケーション活動への積極的な参加 ・立場による支店の理解(保育者・幼児)							
成績評価の方法	平常点(授業参加状況、受講姿勢)				教科書	『続・幼児が熱中するゲーム 5歳児編』		
	実践研究、定期試験				参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		体育				担当教員	尾村 南	
全体目標	表現運動を通して、人との関わり合い方やコミュニケーションの取り方を学ぶ。							
一般目標	ものや体験などを形にすることで、模倣遊びをすすめる子どもの気持ちを理解する。また、そのうえで、自己開示をし、表現力を身につける。							
到達目標	・自らの体や表情を通して、ものの形や気持ちなどを表現できるようになる。 ・仲間とコミュニケーションをとり、作り上げる達成感を感じる。 ・保育者としての指導法を考え計画し、実践する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	カリキュラム説明、ダンス				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
						事後学習	本時の内容構成の意図について	
	②	表現運動(しんぶんしで遊ぼう)				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
						事後学習	本時の内容構成の意図について	
	③	表現運動(走るー止まるから学ぶ)				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
						事後学習	本時の内容構成の意図について	
	④	表現運動(集まるー飛び散るから学ぶ)				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
						事後学習	本時の内容構成の意図について	
	⑤	表現運動(スポーツ名場面集 グループ作り)				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
						事後学習	本時の内容構成の意図について	
	⑥	表現運動(スポーツ名場面集 小テスト)				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
						事後学習	本時の内容構成の意図について	
	⑦	表現運動(音を形にから学ぶ)				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
						事後学習	本時の内容構成の意図について	
	⑧	表現運動(絵日記を書こうから学ぶ)				事前学習	本時のねらい、キーワードについて	
					事後学習	本時の内容構成の意図について		
⑨	実践研究「しんぶんし」を計画、実践				事前学習	指導案の書き方、計画内容について		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑩	実践研究「フラフープ」を計画、実践				事前学習	指導案の書き方、計画内容について		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑪	実践研究「縄」を計画、実践				事前学習	指導案の書き方、計画内容について		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑫	実践研究「布」を計画、実践				事前学習	指導案の書き方、計画内容について		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑬	実践研究「ティッシュ」を計画、実践				事前学習	指導案の書き方、計画内容について		
					事後学習	指摘箇所の確認		
⑭	表現運動(飛び出してポーズ)、個人テスト				事前学習	本時のねらい、キーワードについて		
					事後学習	本時の内容構成の意図について		
⑮	試験、まとめ				事前学習	試験における注意点について		
					事後学習	まとめの内容の把握		
学習上の留意点	・実技を行う際には積極的な活動をする。また、活動の際には仲間の表現を認め、否定しないこと。 ・実技を行うのにふさわしい服装で臨むこと。 ・保育者として指導法を実践する際には十分な準備を行い臨むこと							
成績評価の方法	授業参加状況、受講態度(服装含む)、小テスト、実践研究への取り組みの姿勢を総合的に考慮し評価する。					教科書	子ども・からだ・表現ー豊かな保育内容のための理論と演習 市村出版	
						参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		教職概論			担当教員	村上 友香		
全体目標	現代社会における教職(保育職)の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について理解を深めながら、保育者になることへの意欲を高める。また、保育者を目指す自らの適性を見直し、今後の自己課題を見出す。							
一般目標	(1)日本における学校教育や教職の社会的意義、今日求められる教員の役割や資質能力について理解する。 (2)学校が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性について理解する。 (3)教員の専門職的成長と自己分析・自己管理の手法を理解する。							
到達目標	(1)教員の存在意義や教職の職業的特徴とともに、教職観の変遷について学習する。 (2)教員の職務の全体像を理解するために、職務内容やチームとしての学校運営などについて具体的に学習する。 (3)教員のキャリア形成について学習し、現在の自己課題を明確化する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① ガイダンス				事前学習	自身の教育(保育)理念について考える		
					事後学習	理解度の確認		
	② 教職の意義と特徴(1)	教育(保育)の専門家がなぜ必要か			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	③ 教職の意義と特徴(2)	教職観の変遷と求められる役割・資質能力			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	④ 教職の意義と特徴(3)	教職の職業的特徴			事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	⑤ 教員の仕事内容(1)保育の構想・展開・評価				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	⑥ 教員の仕事内容(2)保護者の子育てを支える				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	⑦ 中間テスト				事前学習	第1～6回の学習内容の確認		
					事後学習	解答内容の振り返り		
	⑧ 資格、身分保障と服務義務				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
⑨ チームでの連携(1)職員間の連携				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑩ チームでの連携(2)地域との連携				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑪ 専門職的成長とキャリア形成				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑫ 労働環境とセルフケア(1)	職場としての学校・保育現場			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑬ 労働環境とセルフケア(2)	自己分析・自己管理			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑭ 保育者を目指す”私”を振り返る	—自己課題の明確化に向けて—			事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	第1～14回の学習内容の確認			
				事後学習	解答内容の振り返り			
学習上の留意点	・講義の内容の理解のみに留まらず、それに対する積極的批判をもとに受講者各自が自身の幼児教育に対する見方を養うことを心がけること。 ・グループディスカッションなど発言を求める際には、受講者の主体的な参加を求める。							
成績評価の方法	・定期試験 50% ・中間テスト 20% ・提出物 30% 以上を総合的に判断して評価する				教科書	なし		
					参考資料	佐久間裕之編著『教職概論』玉川大学出版部、2012年 汐見稔幸・大豆生田啓友編『保育者論』ミネルヴァ書房、2010年 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		教育原理			担当教員	村上 友香		
全体目標	(1)教育の基本的概念や理念について、教育(学校)の歴史や思想を学ぶことで理解する。 (2)現代の学校教育に関する社会的事項のいずれかについて、基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題を理解する。また、学校と家庭・地域との連携に関する理解及び学校安全への対応といった現代的課題に関する基礎的知識も身に付ける。							
一般目標	(1)教育の本質及び目標と、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互関係を理解する。 (2)教育や学校の変遷、その背後にある教育に関する様々な思想について理解する。 (3)社会の状況変化による学校教育への影響並びにそれに対応するための教育政策の動向や、学校における具体的取り組みを学ぶ。							
到達目標	(1)教育の基本的概念に関する代表的な考え方や、子ども・教師・家庭・学校といった諸要因について学習する。 (2)西洋と日本における子ども観や教育・学校の変遷と、代表的な教育家の思想について学習する。 (3)学校や子どもをめぐる近年の状況変化について理解し、それに対応する日本や海外の教育政策の動向を学習する。とりわけ、学校と家庭・地域との連携や学校安全への対応に関しては、学校における具体的事例をもとに実践的に学ぶ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① ガイダンス				事前学習	学校体験の振り返り		
					事後学習	理解度の確認		
	② 人間にとって教育がもつ意味				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	③ 子ども観と教育思想(1)西洋				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	④ 子ども観と教育思想(2)日本				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	⑤ 教育と学校の歴史(1)家族と社会による教育				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	⑥ 教育と学校の歴史(2)近代教育制度の成立と展開				事前学習	配布資料に目を通す		
					事後学習	理解度の確認		
	⑦ 中間テスト				事前学習	第1～6回の学習内容の確認		
					事後学習	解答内容の振り返り		
	⑧ 子ども・教師・家庭・学校				事前学習	配布資料に目を通す		
				事後学習	理解度の確認			
⑨ 学校と子どもの状況変化				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑩ 学校と家庭・地域の連携				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑪ 学校安全への対応				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑫ 教育政策の動向(1)日本				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑬ 教育政策の動向(2)諸外国				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑭ 教育政策の動向(3)幼児教育				事前学習	配布資料に目を通す			
				事後学習	理解度の確認			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	第1～14回の学習内容の確認			
				事後学習	解答内容の振り返り			
学習上の留意点	・講義の内容の理解のみに留まらず、それに対する積極的批判をもとに受講者各自が自身の幼児教育に対する見方を養うことを心がけること。 ・グループディスカッションなど発言を求める際には、受講者の主体的な参加を求める。							
成績評価の方法	・定期試験 50% ・中間テスト 20% ・提出物 30% 以上を総合的に判断して評価する				教科書	なし		
					参考資料	汐見稔幸他編著『よくわかる教育原理』ミネルヴァ書房、2011年 石田美清編著『子どもと教師のための教育原理』保育出版社、2010年 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	教育心理学			担当教員	出口 亨子		
全体目標	学びのプロセスについての教育心理学的な知見をもとに、幼児にとって学びやすい環境を整えること、幼児への働きかけをすること、自らの実践を省みることができることを目指す。						
一般目標	教育心理学の基本的な知識を学習し、教育実践との関連について考察する。						
到達目標	1. 教科書・配布資料の講読をとおして、教育心理学の基本的な知識を学ぶ。 2. 保育・教育実践と教育心理学的知見との関連性を見出し、考察する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 保育と教育心理学				事前学習	教科書p2～p15 下読み	
					事後学習	児童観が教育に及ぼす影響をまとめる	
	② 脳のしくみと発達				事前学習	教科書p24 下読み	
					事後学習	脳の3層構造について説明する	
	③ 発達の相互作用説				事前学習	教科書p25～29 下読み	
					事後学習	育児不安と子の気質の関連を説明する	
	④ 学習のしくみ (1)古典的条件付け				事前学習	教科書p50～56 下読み	
					事後学習	古典的条件付けの例をあげる	
	⑤ 学習のしくみ (2)道具的条件付け				事前学習	教科書p57～58 下読み	
					事後学習	道具的条件付けの例をあげる	
	⑥ 学習のしくみ (3)洞察学習 (4)社会的学習				事前学習	教科書p59～60 下読み	
					事後学習	模倣の重要性について説明する	
	⑦ 子どもをのばすほめ方・叱り方 (1)ほめ方				事前学習	教科書p31(2)～36 下読み	
					事後学習	ほめるコツをまとめる	
	⑧ 子どもをのばすほめ方・叱り方 (2)叱り方				事前学習	どんな場面で叱るか考える	
					事後学習	叱り方のコツをまとめる	
学習上の留意点	⑨ 記憶のしくみ (1)記憶のメカニズムと発達				事前学習	教科書p61～64 下読み	
					事後学習	体験学習の重要性について説明する	
	⑩ 記憶のしくみ (2)作業記憶				事前学習	教科書p65～67 下読み	
					事後学習	わかりやすい指示について考察	
	⑪ やる気を育てる (1)動機づけ理論				事前学習	教科書p71～88下読み	
					事後学習	アンダーマイニング効果について説明	
	⑫ やる気を育てる (2)内発的動機づけを育む				事前学習	教科書p88～93下読み	
					事後学習	自己決定の重要性和育み方について説明	
成績評価の方法	⑬ 個人差の理解 (1)知能と知能検査				事前学習	教科書p95～102 下読み	
					事後学習	知能検査結果の生かし方について考察	
	⑭ 個人差の理解 (2)発達の個人差				事前学習	教科書p118～129下読み	
					事後学習	対人関係の発達の見方を説明	
	⑮ 定期試験・まとめ				事前学習	①～⑭の復習	
					事後学習	わからなかった箇所を重点復習	
					・教科書や配布資料は熟読すること。キーワードを四角で囲む、キーセンテンスに線を引くとよい。 ・事後の家庭学習において、重要語句を書きだし自分の言葉で説明できるようにするとよい。 ・小テストは前週に予告して行う。		
成績評価の方法	定期試験 80% 小テスト・レポート 20%			教科書	石井・松尾編(2004) 教育心理学 保育者を 目指す人へ 樹村房		
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	教育課程総論				担当教員	吉村 壽子	
全体目標	・保育現場で必要とされる計画について、子どもの園生活全体を見通した教育課程および一定期間を見通した各指導計画の概要を情報機器も利用して学ぶ。						
一般目標	・付属幼稚園での実習を基に、実習指導案の作成・実施・反省といった保育における計画の展開方法を身に付ける。						
到達目標	・教育実習に向けて、状況に相応しい保育内容に基付き指導計画を作成できるようにする。						
授業のながれ	[授 業 内 容]				課外学習		
	① 保育における計画と必要性				事前学習	マニュアルを読む	
					事後学習	復習をする	
	② 保育の計画を立てる際の基本				事前学習	プリントを読む	
					事後学習	復習をする	
	③ 教育課程の歴史				事前学習	プリントを読む	
					事後学習	復習をする	
	④ 教育課程と幼稚園教育要領				事前学習	幼稚園教育要領を読む	
					事後学習	復習する	
	⑤ 課程の編成				事前学習	プリントを読む	
					事後学習	復習をする	
	⑥ 教育課程から指導計画へ				事前学習	マニュアルを読む	
					事後学習	復習をする	
	⑦ 教育課程と評価				事前学習	プリントを読む	
					事後学習	復習をする	
	⑧ 実習における指導案とは				事前学習	マニュアルを読む	
				事後学習	復習をする		
⑨ 子どもの姿の読み取り(参加実習)				事前学習	ねらいを復習し準備をする		
				事後学習	実習記録を書く		
⑩ 子どもの姿の読み取り(ミラー観察実習)				事前学習	ねらいを復習する		
				事後学習	実習記録を書く		
⑪ 部分実習指導案の作成(1)エプロンシアター(ビデオ教材視聴を含む)				事前学習	エプロンシアターを用意し内容を考える		
				事後学習	計画に沿って練習をする		
⑫ 部分実習指導案の作成(2)絵本の読み聞かせ				事前学習	絵本を用意し内容を考える		
				事後学習	計画に沿って練習をする		
⑬ 部分実習指導案の作成(3)パネルシアター				事前学習	作品を用意し内容を考える		
				事後学習	計画に沿って練習をする		
⑭ 部分実習指導案の実施及び反省・評価				事前学習	指導計画を見直す		
				事後学習	評価・反省から自分の課題を見つける		
⑮ 試験・まとめ				事前学習	全体の復習をする		
				事後学習	書けなかったところを振り返る		
学習上の留意点	・積極的に授業に臨むこと。 ・授業開始時までには授業に必要なものを整えること。 ・計画に関する理論理解・実践力を高めていけるよう日頃から各自積極的に資料収集等を行うこと。						
成績評価の方法	平常点(授業参加状況、受講態度など) 提出物 50%				教科書	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「教育・保育実習マニュアル」	
	試験 50%				参考資料	「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説」 「教育課程・保育課程に学ぶ」	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	教育方法の研究				担当教員	須田 昂宏・吉村 壽子	
全体目標	・具体的な保育方法について理解すること。						
一般目標	・保育方法の展開の手助けとなる教材や情報機器の準備・扱い方や言葉のかけ方等を学ぶこと。						
到達目標	・柔軟な保育の計画作成・計画展開の過程を理解すること。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	① 保育方法の基本					事前学習	マニュアルを読む
						事後学習	復習する
	② 子どもの理解と保育方法(DVD教材の視聴を含む)					事前学習	幼稚園教育要領を読む
						事後学習	復習する
	③ 発達の時期に応じた保育の方法(1)付属幼稚園での観察実習					事前学習	マニュアルを読む
						事後学習	復習しチェック票を書き準備する
	④ 発達の時期の応じた保育内容(2)保育者の援助とは					事前学習	マニュアルを読む
						事後学習	復習する
	⑤ 発達の時期の応じた保育内容(3)付属幼稚園での観察・参加実習					事前学習	マニュアルを読む
						事後学習	復習しチェック票を書き準備する
	⑥ 発達の時期の応じた保育内容(4)環境構成とは					事前学習	マニュアルを読む
						事後学習	復習する
	⑦ 遊びの教材研究(1)手作りおもちゃ作成と実演					事前学習	材料を準備する
						事後学習	復習する
	⑧ 遊びの教材研究(2)手遊びのねらいと実演					事前学習	プリントを読む
						事後学習	復習する
⑨ 保育の計画と実践(1)部分指導案の作成手順					事前学習	マニュアルとプリントを読む	
					事後学習	復習する	
⑩ 保育の計画と実践(2)部分指導案の作成と検討					事前学習	指導案をイメージする	
					事後学習	指導案の手直しと提出をする	
⑪ 保育の計画と実践(3)部分指導案の作成・道具作り					事前学習	マニュアルを読む	
					事後学習	グループで準備を完成させる	
⑫ 付属幼稚園での部分保育実習					事前学習	チェック票を書き準備する	
					事後学習	実習記録を作成する	
⑬ 遊びの教材研究(3)エプロンシアター作りについて (ビデオ教材の視聴を含む)					事前学習	作品のイメージを作る	
					事後学習	エプロンシアターを作成する	
⑭ 行事と保育について					事前学習	幼稚園教育要領を読む	
					事後学習	復習する	
⑮ 試験・まとめ					事前学習	全体の学びを復習する	
					事後学習	書けなかったところを振り返る	
学習上の留意点	○実習生としてのあるべき態度に自ら気づき、身につけるよう努力すること。 ・主体的に取り組む ・授業内容は、板書した内容だけでなく、理解したことを積極的に書き留めていくこと ・提出物は期限を守る事						
成績評価の方法	定期試験・・・50% 平常点(授業参加状況・参加態度)提出物 ・・・50% 以上を総合的に評価する。	教科書	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」				
		参考資料	「教育・保育実習マニュアル」				

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名		保育指導法総論				担当教員	名和 真理子			
全体目標	保育の全体構造を学び、保育内容の各領域を総合的に理解し、保育者に求められる資質、能力を身に付ける。									
一般目標	保育内容の基準や方法について理解し、保育観を築く。									
到達目標	人前で話すことの訓練を通して、他人とのコミュニケーション能力を身につけ、保育者間の連携の基本的態度を養うとともに、保育技術を習得する。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	オリエンテーション 保育の目的と自分の課題				事前学習	保育の道を選んだ理由を考える			
						事後学習	人の前で話すトレーニング			
	②	今日の保育の課題				事前学習	教科書序章に目を通す			
						事後学習	子ども達の現状を理解する			
	③	幼稚園、保育所、認定こども園				事前学習	第1章に目を通す			
						事後学習	3施設の違いを確認する			
	④	保育内容の構造と保育の目標				事前学習	第2章に目を通す			
						事後学習	保育の全体像について理解する			
	⑤	3歳未満の子どもの保育内容				事前学習	第3章に目を通す			
						事後学習	3歳未満児への配慮を理解する			
	⑥	3歳以上の子どもの保育内容				事前学習	第4章に目を通す			
						事後学習	幼児への配慮を理解する			
	⑦	保育の計画と指導計画				事前学習	第5章に目を通す			
						事後学習	保育の計画について理解する			
	⑧	子どもの発達を考える				事前学習	第6章に目を通す			
						事後学習	幼児の発達について理解する			
⑨	保育における指導、援助				事前学習	第7章に目を通す				
					事後学習	指導や援助の大切さを理解する				
⑩	遊びと保育内容				事前学習	第8章に目を通す				
					事後学習	子ども時代に遊んだことを振り返る				
⑪	生活と保育内容				事前学習	第9章に目を通す				
					事後学習	子どもの24時間を考える				
⑫	保育における 計画と評価				事前学習	第10章に目を通す				
					事後学習	部分計画を作成してみる				
⑬	保育内容の変遷について				事前学習	第11章に目を通す				
					事後学習	保育の歴史を考える				
⑭	保育者に求められる姿				事前学習	第12章に目を通す				
					事後学習	自分が目指す保育者像を書く				
⑮	まとめと前期定期試験				事前学習	前期の学びを復習する				
					事後学習	書けなかったことを振り返る				
学習上の留意点	将来の保育者としての自覚をもって授業に臨み、保育の理論や技術を身につける 日頃から新聞やテレビのニュースに目を向け、子どもに関する情報に関心を持つ 私語を慎み、社会人としての自覚をもって授業に臨む									
成績評価の方法	授業受講態度	20%				教科書	新・保育内容総論(株)みらい			
	提出物	20%				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			
定期試験	60%									

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		健康指導法				担当教員	鈴木 将也	
全体目標	子どもの発達段階を踏まえ、幼児自らが意欲的に取り組むことができる運動指導や健康・安全指導における保育者の役割について理解を深め、適切な指導法を身につける。							
一般目標	乳幼児期は生涯にわたる心身の健康の基礎を培う重要な時期であることを学ぶ。							
到達目標	1. 幼児を取り巻く健康に関する状況を理解する。 2. 乳幼児の心身発達について理解する。 3. 領域「健康」における保育者の役割について考える。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	① 健康および領域「健康」とは					事前学習	健康とは何か考えてみる	
						事後学習	保育者としての認識を確認する	
	② 健康と関連する乳幼児の生活の実態					事前学習	乳幼児の生活について調べてみる	
						事後学習	乳幼児の生活の実態から考察する	
	③ 子どもの生活と健康					事前学習	子どもの生活と健康の関連を考えてみる	
						事後学習	子どもの生活と健康の関連をまとめる	
	④ 乳幼児の身体の発育・発達					事前学習	身体の発育・発達について教科書で確認する	
						事後学習	身体の発育・発達による変化をまとめる	
	⑤ 乳幼児の運動機能の発達					事前学習	運動機能の発達について教科書で確認する	
						事後学習	運動機能の発達をふまえた保育を考える	
	⑥ 乳幼児の認知・情緒の発達					事前学習	認知・情緒の発達について教科書で確認する	
						事後学習	認知・情緒の発達をふまえた保育を考える	
	⑦ 乳幼児の言葉・社会性の発達					事前学習	言葉・社会性について教科書で確認する	
						事後学習	言葉・社会性を育む保育を考える	
	⑧ 運動遊びの意義					事前学習	運動遊びについて調べてみる	
					事後学習	運動遊びの意義をまとめる		
⑨ 運動遊びと保育者の援助					事前学習	運動遊びの意義を再確認する		
					事後学習	保育者の援助方法について考える		
⑩ 園行事と健康					事前学習	園行事には何があるか確認し列挙しておく		
					事後学習	園行事と健康の関連について考える		
⑪ 基本的生活習慣					事前学習	自分自身の生活習慣を確認する		
					事後学習	生活習慣の重要性を確認する		
⑫ 健康な生活リズムとは					事前学習	健康な生活リズムとは何か調べる		
					事後学習	健康な生活リズムを身につける方法について考えてみる		
⑬ 園での安全管理					事前学習	園での安全管理に必要な知識はなにか考える		
					事後学習	園での安全管理の方法をまとめる		
⑭ 園での健康管理					事前学習	子どもに多い病気は何があるか調べる		
					事後学習	健康管理の方法を調べまとめる		
⑮ 試験、まとめ					事前学習	これまでの学びをまとめる		
					事後学習	学びの応用のについて考えてみる		
学習上の留意点	・ 日頃から、子どもの健康に関するニュースに関心を持つこと。 ・ 保育者としてふさわしい態度で取り組むこと。							
成績評価の方法	・ 定期試験 80% ・ 提出物 10% ・ 受講態度 10%					教科書	「保育実践を支える 健康〔改訂版〕（仮）」 福村出版	
						参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	人間関係指導法				担当教員	牛田 弓子	
全体目標	遊びを中心に園生活全体を通して、乳幼児の人との関わりの発達過程を理解し、集団の中で育ち合い豊かな人間関係を育むための適切な援助や、環境を構成できる保育者のあり方や学びに向かう力を身につける。						
一般目標	・乳幼児の人との関わりを中心とした心身の発達過程を理解する。・領域「人間関係」のねらい、内容及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」である自立心、協同性、道徳性・規範性の芽生え等を理解するとともに、保育者の援助や環境構成のあり方を実践事例を通して学ぶ。						
到達目標	◎乳幼児期における人との関わりの発達過程には個人差があることを踏まえ理解することができる。 ◎領域「人間関係」のねらい・内容等を理解し、保育者の対応・援助の仕方も一人一人違うことを具体的事例を通して考え、身につけることができる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習	※要領:幼稚園教育要領	
	①	保育の基本と「生きる力」の原点としての人間関係を学ぶ。			事前学習 事後学習	教3P～7Pを読む。 授業内容を振り返る。	
	②	人と関わる力の基礎と乳幼児にふさわしい生活を考える。			事前学習 事後学習	教8P～14Pを読む。 授業内容を振り返る。	
	③	「幼稚園教育要領①」「保育所保育指針②」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領③」における保育の基本を学ぶ。			事前学習 事後学習	教14P～16P、①②③の総則を読む。 授業内容を振り返る。	
	④	領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取り扱いについて事例をもとに具体的に理解する。(Ⅰ)充実感、存在感等			事前学習 事後学習	要領5P～7P、14P～17Pを読む。 要領解説書を確認する。	
	⑤	領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取り扱いについて事例をもとに具体的に理解する。(Ⅱ)自立心、協同性、信頼感等			事前学習 事後学習	要領5P～7P、14P～17Pを読む。 要領解説書を確認する。	
	⑥	領域「人間関係」のねらい・内容・内容の取り扱いについて事例をもとに具体的に理解する。(Ⅲ)道徳性・規範性、思いやり等			事前学習 事後学習	要領5P～7P、14P～17Pを読む。 要領解説書を確認する。	
	⑦	人との関わりの発達①アタッチメントを基本として目を外に向けていく0歳児の人との関わりの育ちの特徴と保育者の援助について学ぶ。			事前学習 事後学習	教21P～23P、45Pを読む。 授業内容を振り返る。	
	⑧	人との関わりの発達②言葉のコミュニケーションや社会性が育つ1～2歳児の人との関わりの育ちの特徴と保育者の援助について学ぶ。			事前学習 事後学習	教23P～26Pを読む。 授業内容を振り返る。	
	⑨	ビデオ「子どもと社会」を視聴し、関わりの発達と援助の仕方を具体的に学ぶ。			事前学習 事後学習	前回までの人との関わりの過程を見直す。 ビデオ内容を振り返る。	
	⑩	人との関わりの発達③友達との関わりや仲間意識の育ちを中心に3歳児の人との関わりの育ちの特徴と保育者の援助について学ぶ。			事前学習 事後学習	教26P～35Pより3歳児の事例を中心に読む。 授業内容を振り返る。	
	⑪	人との関わりの発達④発想の自由さや友達をいろいろな視点からみられるようになる4歳児の人との関わりの育ちの特徴と保育者の援助について学ぶ。			事前学習 事後学習	教26P～35Pより4歳児の事例を中心に読む。 授業内容を振り返る。	
	⑫	人との関わりの発達⑥ルールの大切さ、協同性等5歳児の人との関わりの育ちの特徴と保育者の援助について学ぶ。			事前学習 事後学習	教26P～35Pより5歳児の事例を中心に読む。 授業内容を振り返る。	
	⑬	人との関わりを育てる保育者の役割について理解する。 (Ⅰ)モデル・対話者としての役割			事前学習 事後学習	教93P～98Pの内容を把握する。 授業内容を振り返る。	
	⑭	人との関わりを育てる保育者の役割について理解する。 (Ⅱ)理解し、援助する者としての役割			事前学習 事後学習	教科書99P～104Pの内容を把握する。 授業内容を振り返る。	
	⑮	筆記試験とまとめ			事前学習 事後学習	これまでの学びとまとめプリントを確認する。 講評の内容を把握する。	
学習上の留意点	◎私事・私語を慎み、授業中大切だと思ったことを積極的にメモしたり、課外学習を忘れずしたりして能動的に授業に参加すること。 ◎日々の実習の機会に幼児の様子を観察・メモし、「人間関係」として学んでいることを実際の場面でできるだけ理解し、次に生かせるように授業にとりくむこと。						
成績評価の方法	定期試験 50% レポート 30% 授業参加状況・授業態度 20%				教科書	保育内容「人間関係」森上史朗他(編)ミネルヴァ書房 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説書	
					参考資料	必要に応じて適宜配布する。	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習・実習	単位数	1単位		
科目名		環境指導法			担当教員	富田 祐一・榊原 菜々枝				
全体目標	現代の幼児を取り巻く環境や幼児と環境との関わりについての専門的事項をふまえ、領域「環境」のねらい及び内容について理解を深める。幼児の発達に即して深い学びが実現する過程をふまえ、領域「環境」に関わる具体的な保育の構想、指導方法について学び、身に付ける。									
一般目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領に示された幼稚園教育の基本や、保育所保育の基本原則等をふまえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。									
到達目標	幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な保育を構想する方法を身に付ける。									
授業のながれ	回数				[授 業 内 容]				課外学習	
	① 子どもにとって環境とは何か				事前学習		幼少期に自然の中で遊んだ思い出を考える。			
					事後学習		該当部分の教科書を読む。			
	② 領域「環境」のねらいと内容				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	③ 里山保育と環境(1)里山保育の実践例				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	④ 環境教育としての原体験				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑤ 里山保育と環境(2)DVD視聴とグループワーク				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑥ 幼児の生活と季節				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑦ 生き物とのかかわり				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑧ 身近な物とのかかわり				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑨ 乳幼児の遊びと環境				事前学習		配付資料を読む。			
					事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。			
	⑩ 数量、図形および標識、文字とのかかわり				事前学習		配付資料を読む。			
				事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。				
⑪ 環境構成の工夫				事前学習		配付資料を読む。				
				事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。				
⑫ 幼児教育・保育の施設運営				事前学習		配付資料を読む。				
				事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。				
⑬ 地域社会とのかかわり				事前学習		配付資料を読む。				
				事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。				
⑭ センス・オブ・ワンダーと環境問題				事前学習		配付資料を読む。				
				事後学習		該当部分の教科書を読み振り返る。				
⑮ 試験と講評				事前学習		教科書や配付資料をまとめる。				
				事後学習		15回の授業を振り返る。				
学習上の留意点	教科書、配付資料、VTRを参考に授業を進めるが、各々の事例に対して積極的に取り組むこと。できるだけ自分で考え、自分のことばで各自意見表明できるようにしておくことが望まれる。									
成績評価の方法	定期試験 80% レポートや授業態度 20%				教科書	『保育実践を支える環境』福村出版				
					参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」				

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	言葉指導法				担当教員	牛田 弓子	
全体目標	乳幼児が園生活を通して言葉に対する感性を育み、豊かな言葉を獲得していくために、領域「言葉」のねらいと内容等を理解し、言葉の発達過程に応じた知識や技能を身につける。その際の保育者の役割や援助のあり方を学んだり児童文化財(手遊び、絵本等)の実践力を獲得したりする。						
一般目標	・領域「言葉」のねらい、内容や内容の取り扱いについて理解する。 ・乳幼児期の言葉の発達獲得過程と保育者の役割と援助のあり方を実践事例を通して学ぶ。 ・児童文化財に関する知識、技能を身につけ実践力をつける。						
到達目標	・領域「言葉」のねらい、内容等が理解できる。 ・乳幼児期の言葉の発達過程が分かり、保育者の役割、援助を理解できる。 ・児童文化財に関する知識、技能を身につけ、積極的に実践できる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習	※要領:幼稚園教育要領	
	①	乳幼児期の言葉の特性について学ぶ。			事前学習 事後学習	教3P～6Pを読む。 授業内容を振り返る。	
	②	乳幼児期にふさわしい生活や遊びを通しての総合的指導等、保育の基本とは何かを学ぶ。			事前学習 事後学習	教6P～11Pを読む。 授業内容を振り返る。	
	③	領域「言葉」と保育内容について学ぶ。			事前学習 事後学習	教14P～19Pを読む。 授業内容を振り返る。	
	④	領域「言葉」のねらい・内容等について事例を通し具体的に学ぶ。(Ⅰ)自己表現と言葉			事前学習 事後学習	要領及び解説書の「言葉」を読む。 授業内容を振り返る。	
	⑤	領域「言葉」のねらい・内容等について事例を通し具体的に学ぶ。(Ⅱ)伝え合う言葉等			事前学習 事後学習	要領及び解説書の「言葉」を読む。 授業内容を振り返る。	
	⑥	言葉の発達過程と保育者の役割・援助について考え理解する。0歳児			事前学習 事後学習	教43P～48Pを読む。 保育所保育指針13P～16Pを読む。	
	⑦	言葉の発達過程と保育者の役割・援助について考え理解する。1～2歳児			事前学習 事後学習	教91P～95Pを読む。 保育所保育指針16P～22Pを読む。	
	⑧	ビデオ「言葉の発達」を視聴、言葉の獲得過程と保育者の関わり方を学ぶ。			事前学習 事後学習	前回までの言葉の獲得過程を見直す。 ビデオ内容を振り返る。	
	⑨	言葉の獲得過程と保育者の役割・援助について考え理解する。3歳児			事前学習 事後学習	教98P～109Pより3歳児の事例を中心に読む。 授業内容を振り返る。	
	⑩	言葉の獲得過程と保育者の役割・援助について考え理解する。4歳児			事前学習 事後学習	教98P～109Pより4歳児の事例を中心に読む。 授業内容を振り返る。	
	⑪	言葉の獲得過程と保育者の役割・援助について考え理解する。5歳児			事前学習 事後学習	教98P～109Pより5歳児の事例を中心に読む。 授業内容を振り返る。	
	⑫	園生活を通してイメージや言葉をより豊かにする保育者(言葉かけや環境構成等)の役割について考える。			事前学習 事後学習	教109P～114Pを読み内容を把握する。 授業内容を振り返る。	
	⑬	児童文化財と言葉について学ぶ。 (Ⅰ)絵本、紙芝居等			事前学習 事後学習	お薦めの絵本を選び選択理由を書く。 授業内容を振り返り繰り返し実践する。	
	⑭	児童文化財と言葉について学ぶ。 (Ⅱ)手遊び、言葉遊び等			事前学習 事後学習	お薦めの手遊びを選び選択理由を書く。 授業内容を振り返り繰り返し実践する。	
	⑮	筆記試験とまとめ			事前学習 事後学習	これまでの学びとまとめプリントを確認する。 講評の内容を把握する。	
学習上の留意点	◎私事・私語を慎み、授業中大切なことは積極的にメモをしたり、課外学習を忘れずしたりして能動的に授業に参加すること。 ◎毎回授業の始めに手遊びをし、終わりに絵本を読みますので、手遊びは復習し、絵本等も日頃から親しみ、読み聞かせを行う習慣をつけておくこと。						
成績評価の方法	定期試験 50% レポート 30% 授業参加状況・授業態度 20%				教科書	保育内容「言葉」柴崎正行他(編)ミネルヴァ書房 「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」及び各解説書	
					参考資料	必要に応じて適宜配布する。	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	通年	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	基礎実習				担当教員	吉村 壽子	
全体目標	・保育者の第一歩をふみ出すために、社会的マナーを含む保育者の心構えと、実習の基礎的な事項を習得する。						
一般目標	・付属幼稚園での観察・参加・指導（部分）、行事参加・見学実習などをとおして園児や幼稚園の役割を理解する。						
到達目標	・部分実習の指導案を作成し、実践することで、学外実習に向けての基礎を培い、不安を解消し自身に繋げる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	前期						
	①	基礎実習概要 目的・意義・方法				事前／事後	
	②	観察実習1				事前／事後	
	③	観察実習2				事前／事後	
	④	早朝実習 集中講義				事前／事後	
	⑤	観察実習(午前)				事前／事後	
	⑥	参加実習(午前)				事前／事後	
	⑦	指導実習1				事前／事後	
	⑧	指導実習2				事前／事後	
授業のながれ	⑨	実習の振り返り・ランチ実習に向けて				事前／事後	
	⑩	ランチ実習1・2(2は後期)集中講義				事前／事後	
	後期						
	⑪	行事参加・見学実習 運動会1集中講義				事前／事後	
	⑫	行事参加・見学実習 運動会2集中講義				事前／事後	
	⑬	行事参加・見学実習 運動会3集中講義				事前／事後	
	⑭	行事参加・見学実習 運動会4集中講義				事前／事後	
	⑮	参加実習3(午後)				事前／事後	
	⑯	参加実習4(午後)				事前／事後	
	⑰	観察実習(ミラー実習)				事前／事後	
学習上の留意点	・実習生（保育者）としてのあるべき態度に自ら気づき、身につくように努力すること。						
	・観察する力をつけ、見たことを考察でできるよう能動的に取り組むこと。						
	・提出期限を守ること。						
	・行事によっては、2年次に行う場合がある。						
成績評価の方法	平均点(授業参加状況と取り組み姿勢)と提出物の役割を理解する。				教科書	教科書・「教育・実習マニュアル」 ・「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 ・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」	
					参考資料	・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 ・「指遊び手遊び100」 参考文献・「指遊び手遊び100」	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名		教育実習Ⅰ				担当教員	吉村 壽子	
全体目標	・幼稚園での体験的な学びの中で、幼児を理解し、実践的な保育を意識的に学ぶ。							
一般目標	・幼稚園での役割や保育者の職務を知る。							
到達目標	・実習に積極的に取り組む中で、自分の課題を見つける。							
授業のながれ	[授 業 内 容]							
	・実習の期間 後期12月に2週間実施。 ・実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて指導実習(部分)を行うこともある。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施する。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と、園長・実習担当者教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後、すみやかに実施する。(実習園の指示に従う)最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 ・実習園で知れた個人情報の守秘義務を遵守する。 注:本校が定める「実習履歴基準」により履修のかひを判断する。							
成績評価の方法	・実習園の評価を基に詩集記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する。 ・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱおよび教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する。					教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「幼稚園教育要領」 ・「幼稚園教育要領解説」	
						参考資料	・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 ・実習関係書類	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	通年	授業形態	講義・演習・実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅰ				担当教員	吉村 壽子	
全体目標	教育実習事前事後指導とは、幼稚園での教育実習が一人一人の学生にとってより有意義な経験となる事を目指し、実習に必要な基礎的事項について学ぶものである。						
一般目標	講義及び付属幼稚園での教育実習を通し、教育実習の全体構造を具体的に理解する。						
到達目標	保育の知識と情報機器を利用した技術、保育観察の記録・指導案作成の方法を培う。 各実習への自己学習課題を明確化していく。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 実習の心構え(DVD教材の視聴を含む) ② 実習記録の意義と記入について ③ 観察実習の内容と方法 ④ 参加実習の内容と方法 ⑤ 参加実習のグループ討議とまとめ ⑥ 指導実習(部分実習)のグループ討議とまとめ ⑦ 試験・まとめ				事前／事後 「私の心構え」をまとめ記入をする／復習する 事前／事後 「沿革・物的・人的環境」をまとめ書く／復習する 事前／事後 観察実習記録を書き学ぶ／復習する 事前／事後 参加実習記録を書き学ぶ／復習する 事前／事後 計画を立て準備をする／まとめを記入する 事前／事後 前期の学びを復習し課題討議／習得確認 事前／事後 前期の学びを復習する／習得確認		
	① 模擬保育実践(1)エプロンシアター指導案の作成 ② 付属園の運動会参加の意義とねらい ③ 模擬保育実践(2)絵本の読みきかせ指導案作成 ④ 教育実習に向けて(1)実習課題に向けて ⑤ 教育実習に向けて(2)記録の記入について ⑥ 教育実習に向けて(3)部分実習案について ⑦ 教育実習に向けて(4)実習の心得(諸注意・手続き) ⑧ 教育実習事後省察(経験交流・自己評価) ⑨ 望ましい実習生(保育者)像について ⑩ 試験・まとめ				事前／事後 ビデオ教材を視聴し指導案を作成／復習する 事前／事後 運動会の意義を捉え役割の理解／記録記入 事前／事後 絵本を選ぶ／演習記録を書く 事前／事後 実習の内容と流れを予習する／復習する 事前／事後 記録の書き方を予習／復習する 事前／事後 保育内容を考える／復習する 事前／事後 手続を予習する／確認をする 事前／事後 実習を振り返る／自己評価をする 事前／事後 自己課題を考える／復習する 事前／事後 学びを復習する／習得確認する		
学習上の留意点	実習生(保育者)としての在るべき態度に自ら気づき、身につくように努力すること。 主体的に取り組み、欠席・遅刻をしないこと 板書した内容だけでなく、関心のある事や必要と思うことを積極的に書き留める。 ※尚、授業の内容は付属幼稚園での実習指導に合わせて適宜変更される。						
成績評価の方法	試験・・・40％ 提出物・平常点(授業参加状況・参加態度)・・・60％ 以上を総合的に評価する。				教科書	教科書・「教育・実習マニュアル」 ・「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 ・「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」	
					参考資料	・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 ・「指遊び手遊び100」 参考文献・「実習における遊びの援助と展開」	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名	児童家庭福祉				担当教員	川角 恭代			
全体目標	・児童及び家庭の生活実態及びそれらを取り巻く社会の状況を学び、福祉ニーズ、福祉サービスについて理解を深める。 ・児童の権利を擁護する視点を確かなものとする。								
一般目標	・児童家庭福祉に関する制度や法律の成り立ちを社会状況と照らし合わせながら学ぶと共に、体系的に児童家庭福祉サービスの基礎理論を理解する。								
到達目標	・児童と家庭に関する福祉サービスの実践等の現状と課題について考え、福祉の専門職としての保育者の役割や専門性について考える。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	① 児童家庭福祉の理念と概念	事前学習 事後学習				教科書P.2～P.10 予習 理念と概念復習			
	② 児童家庭福祉の歴史的変遷	事前学習 事後学習				教科書P.11～P.15 予習 歴史的変遷の復習			
	③ 現代社会と児童家庭福祉	事前学習 事後学習				教科書P.16～P.24 予習 現代社会を取り巻く状況の復習			
	④ 児童家庭福祉の一分野としての保育	事前学習 事後学習				教科書P.34～P.39 予習 保育とソーシャルワークの復習			
	⑤ 児童の人権擁護と児童家庭福祉	事前学習 事後学習				教科書P.39～P.46 予習 人権擁護の復習			
	⑥ 児童家庭福祉の制度と法体系	事前学習 事後学習				教科書P.48～P.54 予習 制度と法体系の復習			
	⑦ 児童家庭福祉行財政と実施機関	事前学習 事後学習				教科書P.55～P.64 予習 行財政と実施機関の復習			
	⑧ 児童福祉施設等	事前学習 事後学習				教科書P.65～P.81 予習 児童福祉施設・専門職の復習			
	⑨ 少子化と子育て支援サービス	事前学習 事後学習				教科書P.84～P.91 予習 子育て支援サービスの復習			
	⑩ 母子保健と児童の健全育成	事前学習 事後学習				教科書P.92～P.99 予習 母子保健と児童の健全育成のしくみの復習			
	⑪ 多様な保育へのニーズ	事前学習 事後学習				教科書P.100～P.112 予習 ニーズへの背景の復習			
	⑫ 児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス	事前学習 事後学習				教科書P.113～P.121 予習 児童虐待・DVにおける現状・予防の復習			
	⑬ 障がいのある子どもと家庭への支援	事前学習 事後学習				教科書P.129～P.137 予習 障がいの分類及び支援の復習			
	⑭ 関係諸機関との連携とネットワーク	事前学習 事後学習				教科書P.158～P.163 予習 ネットワークの必要性・構造の復習			
	⑮ 定期試験・講評	事前学習 事後学習				これまでの学びの復習及び確認 講評の内容の把握			
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴じること。 ・口頭による説明が中心となるため、自分で記載したり線を引いたりすること。 ・保育者を志す者として、積極的な姿勢で授業に取り組むこと。								
成績評価の方法	・定期試験 70% ・提出物 30% 上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。				教科書	『改訂 子ども家庭福祉』 佐々木政人・澁谷昌史・加藤洋子(編著) 光生館			
					参考資料				

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	社会的養護				担当教員	柴田 瞳	
全体目標	保育士にとって必要な社会的養護の知識を身につける。						
一般目標	社会的養護を必要とする子どもたちの背景、社会的養護の法制度や体系、援助を行う機関や施設、社会的養護における人権擁護と自立支援、専門職の役割と意義、援助者として必要な視点などについて理解を深める。						
到達目標	1, 社会的養護について学び、用語等を覚える。 2, 学習を通して、自己覚知を行う。 3, 事例などを通して児童養護施設について理解する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	① 社会的養護とは何か オリエンテーション					事前学習 事後学習	「はじめに」読んでおく 板書内容の確認
	② 社会的養護とは何か					事前学習 事後学習	p1～11読んでおく 社会的養護とは何か説明できるようにする
	③ 現代社会に暮らす子どもと家庭					事前学習 事後学習	p12～29読んでおく 現代社会の特徴を理解する
	④ 子どもの権利					事前学習 事後学習	p30～44読んでおく 子どもの権利の特徴を理解する
	⑤ 子どもの養護の歴史					事前学習 事後学習	p45～55読んでおく 養護問題の質の変化について理解する
	⑥ 社会的養護の体系:家庭・施設・里親					事前学習 事後学習	p56～64読んでおく 社会的養護の体系図を頭に入れる
	⑦ 社会的養護の制度					事前学習 事後学習	p65～77読んでおく それぞれの機関の名称・特徴を頭に入れる
	⑧ 施設養護の特質					事前学習 事後学習	p78～87読んでおく 施設養護の役割を理解する
	⑨ 施設養護の基本原則					事前学習 事後学習	p88～97読んでおく 社会的養護の基本理念・原理を理解する
	⑩ 施設養護の実践:日常生活および自立支援					事前学習 事後学習	p98～110読んでおく 生活支援・自立支援について理解する
	⑪ 施設養護の実践:治療的・支援的援助					事前学習 事後学習	p111～120読んでおく 治療的・支援的援助について理解する
	⑫ 施設養護の実践:親子・地域との関係調整					事前学習 事後学習	p121～133読んでおく 家族支援について理解する
	⑬ 事例検討					事前学習 事後学習	用語の復習をする 事例について自宅学習する
	⑭ 事例検討					事前学習 事後学習	プリントの復習をする 事例について自宅学習する
	⑮ 試験・まとめ					事前学習 事後学習	試験出題箇所の学習 試験内容の把握
学習上の留意点	・授業に合わせて教科書に目を通すことで、各章の全体を把握しましょう。 ・必ず教科書を持参してください。 ・プリントの記入が十分でない場合は、自宅学習してください。						
成績評価の方法	50% 定期試験 50% 平常点	・授業参加状況や受講態度等 ・プリント提出の状況と内容			教科書	「社会的養護」 小池由佳／山縣文治(編著) ミネルヴァ書房	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名		発達心理学				担当教員	菅田 達也	
全体目標	人間の発達についての理解や視点を深めることを目的とする。心理学的考え方や発達心理学の概要を知るとともに、生涯発達の視点や、人との相互的関わりと発達の関係性を理解する。保育の実践に対する基礎を養うことをねらいとする。							
一般目標	子どもの発達を理解するための、視点を学ぶ。発達観、子ども観、保育観について考え、その関連性について理解する。発達過程についての理解を深める。							
到達目標	1. 保育実践にかかわる心理学の知識を習得する。 2. 子どもの発達にかかわる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。 3. 子どもが人との相互的かかわりを通して発達していくことを具体的に理解する。 4. 生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育との関連を考察する。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーション:心理学(発達心理学)とは				事前学習	シラバスを確認する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	②	保育と心理学(1)保育と心理学を考える				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	③	保育と心理学(2)発達理論				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	④	子どもの発達理解(1)…発達と環境				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑤	子どもの発達理解(2)…感情の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑥	子どもの発達理解(3)…身体・運動機能の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑦	子どもの発達理解(4)…知覚・認知の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑧	子どもの発達理解(5)…ことばの発達と社会性				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する		
⑨	子どもの発達理解(6)…方法論				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑩	人との相互的かかわりと子どもの発達(基本的信頼の獲得)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑪	人との相互的かかわりと子どもの発達(他者との関わり)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑫	生涯発達の過程(1)…誕生から青年期まで				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑬	生涯発達の過程(2)…壮年期から老年期まで				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑭	子育て支援とネットワーク				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑮	まとめと試験				事前学習	教科書や課題を振り返る		
					事後学習	授業全体を振り返る		
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについても記述することを心がけること。							
成績評価の方法	平常点(授業参加状況・受講態度など)				20%	教科書	「保育の心理学Ⅰ－実践につなげる、こどもの発達理解」井戸ゆかり(編著) 萌文書林	
	小レポート・提出物(適宜実施)				10%			
	定期試験				70%	資料考	配布プリント	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		発達心理学Ⅱ				担当教員	菅田 達也	
全体目標	人生初期の発達についての理解を深めることを目的とする。主として生後6年間における子どもの心理的・身体的・行動の発達、そして関連する諸問題について考え、保育の実践に対する基礎を養うことをねらいとする。							
一般目標	子どもの発達を理解するための、視点を深める。脳科学的視点を理解し、より多面的に子どもをとらえる力を身につける。子ども(他者)への支援に関する知識を習得する。							
到達目標	1. 子どもの心身の発達と保育実践についての理解を深める。 2. 脳科学的な視点による子ども理解をする。 3. 発達のあらゆる側面が人との相互的にかかわりを通して、具体化されることを理解する。 4. 保育における発達援助(支援)について学ぶ。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーション				事前学習	シラバスを確認する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	②	赤ちゃんはいかに有能か(環境を受け止めること)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	③	赤ちゃんはいかに有能か(環境に働きかけること)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	④	子どもは変わる・大人も変わる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑤	母子相互作用の不思議				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑥	世界認識の始まり(認知)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑦	世界認識の始まり(記憶)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
						事後学習	授業内容を復習する	
	⑧	個性の育ち				事前学習	教科書の該当箇所を予習する	
					事後学習	授業内容を復習する		
⑨	言葉を獲得し意味世界に生きる				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑩	ことばで交わり・考える				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑪	記憶し想起する心の発達				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑫	思いやる心				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑬	想像する心の育ち(意欲と創造性)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑭	想像する心の育ち(創造的活動)				事前学習	教科書の該当箇所を予習する		
					事後学習	授業内容を復習する		
⑮	まとめと試験				事前学習	教科書や課題を振り返る		
					事後学習	授業全体を振り返る		
学習上の留意点	受講するに当たって、ノートを用意すること。口頭による説明が中心となるので、講義内容をノートにまとめる必要がある。また、板書以外のことがらについても記述することを心がけること。							
成績評価の方法	平常点(授業参加状況・受講態度など)				20%	教科書	「よくわかる乳幼児心理学」内田伸子編 ミネルヴァ書房	
	小レポート・提出物(適宜実施)				10%			
	定期試験				70%		資料参考	「保育の心理学Ⅱ(演習で学ぶ、子どもの理解と具体的事例)」萌文書林 配布プリント

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名		乳児保育				担当教員	川合真由美	
全体目標	3歳未満児の心身の発達過程について学び、健やかな成長を支える生活やあそびについて理解する。							
一般目標	乳児保育のこれまでと現代社会の実情を知り、乳児保育の必要性・重要性を理解する。							
到達目標	3歳未満児の発達や保育園の役割、保育方法などについての基礎を理解する							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	① 授業の進め方 オリエンテーション					事前学習	乳児保育について問題意識を持つ	
						事後学習	授業の進め方を確認する	
	② 乳児の発達と保育					事前学習	乳児の発達について教科書などで把握しておく	
						事後学習	乳児の発達について理解する	
	③ 乳児の発達と保育					事前学習	乳児の発達について教科書などで把握しておく	
						事後学習	乳児の発達について理解する	
	④ 保育の中で乳児の発達を見つめる目					事前学習	発達を見つめるとは何か問題意識を持つ	
						事後学習	発達の主人公は子どもであることを理解する	
	⑤ 乳児保育で目指すもの					事前学習	乳児保育のねらい・内容を考える	
						事後学習	乳児保育のねらい・内容を理解する	
	⑥ 保育園の一日					事前学習	保育園の一日について調べておく	
						事後学習	保育園の一日について理解する	
	⑦ 基本的生活の内容と方法					事前学習	0歳児の基本的生活について考える	
						事後学習	0歳児の基本的生活について理解する	
	⑧ 基本的生活の内容と方法					事前学習	1歳児の基本的生活について考える	
					事後学習	1歳児の基本的生活について理解する		
⑨ 特別な配慮を必要とする子ども					事前学習	特別な子どもについて調べておく		
					事後学習	特別な子どもについて理解する		
⑩ 中間テスト					事前学習	授業の復習をしておく		
					事後学習	試験の内容の振り返りを行う		
⑪ 乳児にとっての遊び					事前学習	乳児の遊びについて調べておく		
					事後学習	遊びについて理解する		
⑫ 保育に役立つ手作り玩具づくり					事前学習	手作り玩具を作るための準備をする		
					事後学習	手作り玩具を完成させる		
⑬ 遊び文化					事前学習	遊びについて振り返りをしておく		
					事後学習	遊び文化を理解する		
⑭ 保育の評価(保育を記録する)					事前学習	指導計画と評価について考える		
					事後学習	様々な評価方法について学ぶ		
⑮ 試験、講評					事前学習	授業の復習をしておく		
					事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	時間を守る・提出物は速やかに出す・人の話には耳を傾ける							
成績評価の方法	Gワークや演習活動への参加姿勢・態度 授業参加意識 30% 試験成績 70%					教科書	『乳児の保育 新時代』	
						参考資料	保育所保育指針	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部1年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名		障がい児保育				担当教員	小川 潤子			
全体目標	障がいのある子どもへの理解を深めるために、障がいをどのように捉えるのかについて学ぶ、また、幼稚園・保育所で共に過ごす集団生活の中で、障がい特性を理解する。									
一般目標	障がいのある子の障がいの特性および心身の発達の理解をする。									
到達目標	・障がい児保育に関する制度や理念のしくみを理解している。 ・発達障害や知的障がいをはじめとする障害のある子特性およびの心身の発達の理解している。 ・さまざまな障害のある子の発達、生活上の困難について、基礎的な知識を身につけている。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	オリエンテーション 障がいのある子どもの保育の考え方(概念と歴史)				事前学習	障がいのある子について考える			
						事後学習	配布プリントを読む			
	②	障がい児保育の基本				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	③	障がいの理解と保育における発達の支援 (肢体不自由児の理解と援助)				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	④	障がいの理解と保育における発達の支援援助 (視覚障がい・聴覚障がいの理解と援助)				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	⑤	障がいの理解と保育における発達の支援援助 (知的障がいの理解と援助)				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	⑥	障がいの理解と保育における発達の支援 (発達障がいの理解と援助)				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	⑦	障がいの理解と保育における発達の支援 (ADHD・SLD)				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	学習上の留意点	⑧	障がいの理解と保育における発達の支援 (自閉症スペクトラム症) DVD「星の国から孫二人」				事前学習	テキストを読む		
						事後学習	配布プリントを読む			
⑨		障がいの理解と保育における発達の支援 (自閉症スペクトラム症) DVD「星の国から孫二人」				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	DVDの感想レポート記入			
⑩		障がいの理解と保育における発達の支援 (自閉症スペクトラム症)				事前学習	レポート提出・テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
⑪		気になる情緒をもつ子ども理解と援助				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
⑫		ことばの発達に障がいのある子どもへの理解と支援				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
成績評価の方法	⑬	気になる子の様子と保育者の関り(事例理解)				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	⑭	ことばの発達に障がいのある子どもへの理解と支援				事前学習	テキストを読む			
						事後学習	配布プリントを読む			
	⑮	試験・まとめ				事前学習	授業の復習			
					事後学習	試験の内容を振り返る				
成績評価の方法	・定期試験70% ・平常点(授業態度・提出物)30%					教科書	『保育者のための障がい児保育』 尾野 明美 編著 萌文書林			
						参考資料	『実践に生かす障がい児保育』 前田 泰弘 編 萌文書林			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	社会的養護内容				担当教員	寺井 陽一	
全体目標	保育士は、保育所以外にも乳児院、児童養護施設、障害児施設などさまざまな施設で必要とされている。そこで働く上で必要な専門性を身につけてほしい。						
一般目標	①施設に対する基礎的な知識を学ぶ。 ②児童養護施設に入所する児童の入所経緯や家族背景の理解を深める。 ③子どもの自立に向けての援助のあり方、親に対するアプローチを通しての支援のあり方を学ぶ。						
到達目標	施設に対する基礎的な理解や職場での人間関係のあり方の理解を深め、社会人に向けての自覚を高めていきたい。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	① 自己紹介 社会的子育てを考える				事前学習	自己PRを考える	
					事後学習	(教)P12～27を確認する	
	② 自己紹介 保育所以外で保育士が活躍する現場				事前学習	自己PRを考える	
					事後学習	(教)P54～63を調べる	
	③ 児童養護施設で生活する子どもたち 児童養護施設のDVDを見る				事前学習	児童養護施設を調べる	
					事後学習	DVDを見た感想・意見を書く	
	④ 虐待を受けた子どもたち 小規模児童養護施設・ファミリーホームのDVDを見る				事前学習	(教)P28～33を読む	
					事後学習	DVDを見た感想・意見を書く	
	⑤ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース1、ケース2) 名古屋市名東区中2男子暴行死事件の検証				事前学習	(教)P33～40を読む	
					事後学習	中2男子暴行死事件を読んだ感想・意見を書く	
	⑥ 児童養護施設に入所する子どもの入所経緯や家族背景1(ケース3、ケース4) 大阪2幼児放置死事件の検証				事前学習	(教)P41～53を読む	
					事後学習	2幼児放置死事件を読んだ感想・意見を書く	
	⑦ 職員に求められる援助技術 乳児院のDVDを見る				事前学習	(教)P75～78を読む	
					事後学習	乳児院のDVDを見た感想・意見を書く	
	授 業 上 の 留 意 点	⑧ 施設内での子どもへの援助のあり方 アドミッションケアとインケアの基礎理解				事前学習	(教)P94～99を読む
					事後学習	(教)P100～107を読む	
⑨ 子どもの自立に向けての援助のあり方 リービングケアとアフターケアの基礎理解					事前学習	(教)P107～110を読む	
					事後学習	(教)P110～114を読む	
⑩ 問題行動への対応 児童養護施設のDVDを見る事例を通して理解を深める(教科書P118～122)					事前学習	問題行動の実際の例を考える	
					事後学習	問題行動の実際の対応策を考える	
⑪ 性と生についての取り組み 性の関するQ&A					事前学習	(教)P64～68を読む	
					事後学習	性に関するQ&Aの復習	
⑫ 愛着障害について、愛着障害児との治療的な関わり					事前学習	(教)P68～74を読む	
				事後学習	愛着障害についてまとめる		
	⑬ 施設と地域社会との関わり(ボランティア)活動を通して考える 自立支援計画の作成例を考える				事前学習	(教)P68～74を読む	
					事後学習	自立支援計画を作成する	
	⑭ 自立支援計画を発表する 施設実習に向けて・・・施設職員とは、職場の人間関係のあり方				事前学習	実習の抱負を箇条書きにする	
					事後学習	実習の課題をまとめる	
	⑮ 試験、まとめ				事前学習	テスト(小論文)を考える	
					事後学習	総復習	
授 業 上 の 留 意 点	授業は、虐待を受けた子ども達が施設に入所してどんな生活をしていくのか、入所後どのように自立に向けてステップを踏んでいくのかを中心に進めていきます。それに合わせて、職員の援助・支援の在り方や子どもの理解を深めていってほしいと思っています。 *授業中に知り得た児童・家族等に関する情報は、守秘すること						
成績評価の方法	定期試験の結果	60%	教科書	『児童の社会的養護内容』 神戸賢次・喜多一憲編			
	小レポート	20%	参考資料				
	出席状況・授業態度	20%					

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習	実習	単位数	2単位
科目名	保育実習Ⅰ（施設）				担当教員	川角 恭代		
全体目標	・施設での体験的な学びの中で入所児者を理解し、実践的な保育・養育・支援方法を学ぶ。 ・施設の役割や施設保育士の職務や役割について学ぶ。 ・実習を通して自己覚知をすることで、自己課題を明確化し、今後の学びに繋げる。							
一般目標	・入所児者の「生活の場」であることを念頭に、保育実習指導Ⅰ（施設）やその他の福祉系科目を中心に学んだ知識や技術を反映させ、積極的に取り組む。							
到達目標	・机上での学びと合わせて、現場での応用力や福祉的な視点を養う。 ・入所児者、施設職員の様子を観察し、一つひとつの支援や援助の意味や意図を考察する。							
授業のながれ	・実習の期間 後期の定期試験終了後から3月末まで（春休み）の期間に、8泊10日間実施。 ・実習の内容 入所児者の生活支援を主とした宿泊実習を行う。 施設により、指導実習（部分）や宿直体験を行うこともある。 ・事前訪問 後期の教育実習Ⅰ終了後から順次開始。 実習施設の概要および方針、周りの環境や実習時に必要な物品等を確認し、実習に備える。 実習施設の入所児者や職員の様子を知り、実習に向けての気持ちを高める。 事前課題が提示された場合、期日までに準備し、取り組む。 ・実習施設巡回指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習施設を訪問する。 教員と施設の実習担当者が面談した後、実習生は現地で教員の指導を受ける。 ・事後訪問 最終日の実習記録や「実習を終えて」等を記載し、原則、実習施設に持参する。 受け取り日や方法については、実習施設の指示に従う。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人・実習生としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・入所児者の「生活の場」を念頭に実習に取り組む。 ・実習施設と学校へ必要に応じて「報告・連絡・相談」をする。提出物は期限を厳守する。 ・実習施設で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。							
成績評価の方法	・実習施設の評価を基に実習記録、巡回指導時の状況、報告会を含む実習の取り組み状況を勘案して評価する ・最終的には保育実習Ⅰ（施設実習・第一回保育所実習）および保育実習指導Ⅰの授業を合わせて評価する				教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」愛知県保育実習連絡協議会他（編）みらい ・「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会（編）		
					参考資料	・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部1年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）				担当教員	川角 恭代	
全体目標	・保育実習Ⅰ（施設）とは、これまでに学んだ知識や技術を元に保育の応用力を養う機会である。そこで、本科目では実習に備え、各施設の役割、目的、援助の方法や必要な視点などの基礎的事項について学び、実習への自己学習課題を明確化していく。						
一般目標	・福祉施設及び子ども・利用者への正しい理解と知識を身に付ける。 ・子どもや利用者への内面への共感的理解のあり方を考える。						
到達目標	・多様な施設の現場の実情を学び、事例検討をする中で、施設で生活する子どもや利用者を理解し、様々な視点による支援や援助のあり方を学ぶ。						
授業のながれ	回数〔授業内容〕				課外学習		
	① 保育実習の意義～実習の目的～				事前学習	教科書P.10～P.12 予習	
					事後学習	実習の目的の復習	
	② 保育実習の意義～実習の概要～				事前学習	教科書P.12～P.14 予習	
					事後学習	実習の概要の復習	
	③ 実習の内容				事前学習	教科書P.34～P.42 予習	
					事後学習	各指導、支援の意味や意図の復習	
	④ 実習課題の明確化				事前学習	教科書P.23～P.24 予習	
					事後学習	課題設定の整理	
	⑤ 実習に際しての留意事項 ～人権と最善の利益について～				事前学習	人権、最善の利益の意味調べ	
					事後学習	子ども・利用者の最善の利益の復習	
	⑥ 実習に際しての留意事項 ～プライバシーの保護と守秘義務～				事前学習	プライバシー、守秘義務の意味調べ	
					事後学習	施設での守秘義務の意味と重要性の復習	
	⑦ 実習に際しての留意事項 ～実習生としての心構え～				事前学習	教科書P.22～P.23、「朋」施設実習を考える 予習	
					事後学習	自らの課題と目標の整理	
	学習上の留意点	⑧ 施設実習とは				事前学習	教科書第5章、第6章該当部分 予習
				事後学習	養護系、障害系の施設の復習		
⑨ 施設での生活と子ども・利用者の理解				事前学習	教科書P.14～P.18 予習		
				事後学習	実習施設について調べる		
⑩ 施設実習の事前準備(1) 事前訪問と報告書について				事前学習	教科書P.26～P.28、マニュアルP.30～P.33 予習		
				事後学習	各実習グループでの打ち合わせ		
⑪ 施設実習の事前準備(2)「朋」から学ぶ				事前学習	「朋」施設実習を考える 予習		
				事後学習	「朋」を読んで感想をまとめる		
⑫ 施設実習の事前準備(3)実習計画と心構え				事前学習	教科書P.28～P.32 予習		
				事後学習	施設実習計画書の作成		
成績評価の方法	⑬ 施設実習の事前準備(4)記録の書き方				事前学習	教科書P.44～P.51 予習	
					事後学習	記録の書き方の整理及び復習	
	⑭ 施設実習の事後指導 ～実習における学び(反省と課題等)～				事前学習	教科書P.120～P.124 予習	
					事後学習	実習に向けての目標及び課題確認	
成績評価の方法	⑮ 定期試験・講評				事前学習	これまでの学びの復習及び確認	
					事後学習	講評の内容の整理と把握	
成績評価の方法	・定期試験 70% ・提出物 30%				教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育士をめざす人の福祉施設実習 第2版」 愛知県保育実習連絡協議会他(編)みらい ・「朋」愛知県児童福祉施設長会広報委員会(編)	
	上記に平常点(授業参加状況や受講態度等)を勘案して評価する。				参考資料	・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」	

保 育 科

第 1 部 2 年 生

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		生物学			担当教員	井谷 雅浩		
全体目標	幼稚園教諭や保育士としての資質や専門の知識や能力を身に付け、幼児の感性や創造性を豊かにさせる。							
一般目標	こん虫や小動物に関心をもち、その生態を調べることで、こん虫や小動物の偉大さを感得する。							
到達目標	1、こん虫や小動物の飼い方を習得する。 2、地球と環境について考え、生き方を学ぶ。							
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習			
	① 動物学概論				事前学習 興味のある動物を調べる。 事後学習 興味のある動物について振り返る。			
	② 生きものウォッチング				事前学習 野外の生きものを観察する。 事後学習 野外の生きものについて振り返る。			
	③ 生命の誕生				事前学習 地球の誕生と生命の出現を考える。 事後学習 生命の誕生について確認する。			
	④ こん虫の一生				事前学習 興味のあるこん虫を調べる。 事後学習 こん虫について確認する。			
	⑤ こん虫の飼い方(1) 陸生こん虫				事前学習 陸生のこん虫を調べる。 事後学習 陸生のこん虫について確認する。			
	⑥ こん虫の飼い方(2) 水生こん虫				事前学習 水生のこん虫を調べる。 事後学習 水生のこん虫について確認する。			
	⑦ 身近な小動物				事前学習 身近な小動物について調べる。 事後学習 小動物について振り返る。			
	⑧ 小動物の飼い方(1) 陸生の小動物				事前学習 陸生の小動物の飼い方を調べる。 事後学習 陸生の小動物の飼い方についてまとめる。			
	⑨ 小動物の飼い方(2) 水生の小動物				事前学習 水生の小動物の飼い方を調べる。 事後学習 水生の小動物の飼い方についてまとめる。			
	⑩ 動物と人間との関わり				事前学習 動物と人間のくらしを調べる。 事後学習 動物の人間のくらしについて確認する。			
	⑪ 動物の生殖				事前学習 動物の生命の存続について調べる。 事後学習 動物の生命の存続について確認する。			
	⑫ 動物と環境				事前学習 動物と環境の関わりを調べる。 事後学習 動物と環境の関わりについて振り返る。			
	⑬ 危害を及ぼす動物				事前学習 危害を及ぼす動物を調べる。 事後学習 危害を及ぼす動物についてまとめる。			
	⑭ 地球と環境				事前学習 地球環境を大きくとらえる。 事後学習 地球環境についてまとめる。			
	⑮ 試験と「こん虫や小動物の飼い方」のまとめ				事前学習 講義のまとめを発表できるようにする。 事後学習 15回の講義内容をまとめる。			
学習上の留意点	授業をもとに、興味のあるこん虫や小動物の生態を調べレポートを作成する。 また、動物園や水族館を見学し、体験したことをまとめる。							
成績評価の方法	・試験	60%	教科書	『むし くらしとかいかた』 阪口 浩平 ひかりのくに(株)				
	・「こん虫や小動物の飼い方」のレポート	20%		『ちいさな いきもの くらしとかいかた』 日高敏隆 ひかりのくに(株)				
成績評価の方法	・平常点(授業参加状況、受講態度)	20%	参考資料					

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習		単位数	2単位
科目名		自然科学概論				担当教員	寺田 卓二		
全体目標	保育者として、周囲の自然に眼を向け、自然の不思議や美しさを感じ取れる感性を磨く。幼児の感性を磨き、自主性や集団での協調性を身につけるため、身近な自然を活かして、野外体験(自然体験)保育ができるようになる。								
一般目標	保育に活用できる身近な自然素材が、いつ頃、どこで入手できるかの情報が把握ができる。自然素材を保育に活用できる技術を身につける。安全と発達段階に配慮した野外体験を企画できる。								
到達目標	身近な植物10種以上の名前と特徴、それを活用した遊びができるようになる。 身近な植物10種以上の植物標本作製し、「私の草花あそび図鑑」を完成する。								
授業のながれ	[授 業 内 容]					課外学習			
	① 五感を使って自然を体感することを知る。公園、クスノキレポートの作成方法、授業の受け方について説明					事前学習	古新聞、クリアファイルの準備		
						事後学習	標本の管理		
	② タンポポの観察 タンポポを使った遊び					事前学習	身近なタンポポを見ておく		
						事後学習	タンポポ標本作製		
	③ スギナとヤエムグラの観察 スギナ、ヤエムグラを使った遊び					事前学習	気になる公園の植物をチェック		
						事後学習	スギナ、ヤエムグラの標本作製		
	④ 春の花観察(ハルジオン、ヒメジョオン、ツツジなど) 花べんとうづくり					事前学習	弁当箱になる箱の準備		
						事後学習	創った弁当の写真プリント		
	⑤ カラスノエンドウ、カスマグサ、スズメノエンドウの観察 ピーピー豆の笛を鳴らそう					事前学習	確認、ピーピー豆はどこにある		
						事後学習	3種の比較標本作製		
	⑥ シロツメクサの観察 マメ科の花、四つ葉のクローバー シロツメクサを使った遊び					事前学習	四つ葉のクローバーを探してみる		
						事後学習	シロツメクサ標本作製		
	⑦ ササとタケの観察 違い ササの葉を使った遊び 6回目までのレポートと標本確認					事前学習	身近な竹林を見ておく		
						事後学習	ササ標本作製		
学習上の留意点	⑧ 里山の木を知る コナラ、ヒサカキ、スギ、ヒノキなど 雑木を使ったペンダントづくり					事前学習	里山ってどんな山か調べておく		
						事後学習	ペンダント完成品の写真撮影		
	⑨ 子どもたちの感性を磨くには レーチェルカーソンの「センス・オブ・ワンダー」に学ぶ					事前学習	事前配布プリントを読んでおく		
						事後学習	カーソンの他の本を探してみる		
	⑩ つる植物 クズの観察 クズの葉を使った遊び					事前学習	クズの葉は、どんな形		
						事後学習	クズの葉標本作製		
	⑪ エノコログサの観察 エノコログサで遊ぶ					事前学習	エノコログサを探しておく		
						事後学習	エノコログサ標本 種の処理		
	⑫ マツの観察(クロマツとアカマツ) クロマツの葉を使った遊び					事前学習	マツの花について調べておく		
						事後学習	マツの標本作製		
成績評価の方法	⑬ 野外の危険な動物と植物を知る 里山で採集 コナラのどんぐりと葉っぱ					事前学習	自分の体質を知っておく		
						事後学習	自分なりの対処方法を考える		
	⑭ 葉っぱアートに挑戦 ドングリゴマを作る					事前学習	押し葉の確保		
						事後学習	ラミネートする		
	⑮ 前期定期試験とまとめ					事前学習	図鑑の完成、学習の振り返り		
					事後学習	授業を保育に生かす			
成績評価の方法	・レポート「私の草花あそび図鑑」の完成度 50% ・定期試験 50% 上記に授業参加状況や受講態度を加味して評価する。					教科書	『はじめての草花あそび(春夏秋冬の花)』 指導 おくやま ひさし ポプラ社		
						参考資料	『センス・オブ・ワンダー』 レイチェル カーソン著 上遠恵子 訳 新潮社		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	集中	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		野外活動				担当教員	森本 浩司	
全体目標	幼児が自然から得る感性、学びを自らの体験を通して体得する。また、保育者としてそれぞれの体験を効果的に幼児に支援する具体的方法を学ぶ。							
一般目標	ありのままの自然(水、光、暑さ、涼しさ等)を体験する楽しさや苦しさ、達成感を味わう。食事、影絵、クラフトなど自然を利用することで得られる感謝の念や工夫の楽しさを知る。活動を通じ協力することの具体的な意味を理解する。							
到達目標	自然活動を通して自己の体力や気持ちをコントロールする必要性を学ぶ。 集団生活を通して一人では生きていけないことを自覚する。 幼児の具体的活動方法と援助技術を学ぶ。							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]						
	①	映像や教科書、しおりを通して活動環境、意義、方法を学び準備する。						
	②	テント設営を通し自然の中で寝泊まりする準備と実際の生活を比較し、予測との差異、自己の心の変化を知る。						
	③	飯盒炊飯を通じ火の扱い、大切さを知る。協力することで得られる食の楽しさややりがいを感じる。						
	④	グループで懐中電灯と目印(集魚ライト)を頼りに暗闇を歩くことで夜の自然、協力と仲間の大切さを知る。						
	⑤	朝の体操で楽しく動くことで得られる爽快感と心と身体を目覚めさせる方法を学ぶ。(幼児指導法)						
	⑥	山中をカードやコマ図を利用し楽しみながら歩くことを通し、自然、達成感、協力を学ぶ。(幼児指導法)						
	⑦	自然物を使った制作(クラフト)を通じ工夫することの楽しさ、創意工夫のすばらしさを知る。(幼児指導法)						
	⑧	キャンプファイヤーを通じ明りの大切さ、仲間、有限な自然を利用することでを生きられ人間を学ぶ。(幼児指導法)						
	⑨	野外ゲームを通じ活動環境と幼児の遊び方、危険、導き方を学ぶ。(幼児指導法)						
	⑩	最終日のカレー炊飯で初日、2日目の学びを生かして活動することを意識して行う。						
	⑪	振り返りレポート作成						
	⑫							
	⑬							
	⑭							
	⑮							
学習上の留意点	・事前に教科書の指定されたページ、配布されたプリントを熟読しておく。オリエンテーションに必ず参加する。 ・慣れない生活に備え自己の健康管理に留意する。 ・自然を理解するように努め、積極的に活動に参加する。 ・集団生活の規律を厳守する。							
成績評価の方法	・授業参加状況や受講態度。(70%) ・活動(事前事後)への取り組み姿勢。(5%) ・事後レポート作成内容。(25%)					教科書	園外保育・山のくらし	
						参考資料	事前配布プリント	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	通年	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名	音楽Ⅱ(器楽)				担当教員	花井英一・杉浦潤子・葛島真季 飯田美智恵・重岡容子・桐生敬子	
全体目標	幼児の感性や創造性を豊かにする音楽表現の専門的事項について、鍵盤楽器の演習を通して、知識・技術と表現力を身につける。						
一般目標	1年音楽(器楽)の演奏技術にさらに高い技能を習得し、幼児の発達過程や音楽を理解し、より音楽的な演奏力・表現力の向上を目標とする。						
到達目標	1. 各曲の適切な伴奏法(幼児の感性や表現する力、創造性を育む伴奏)を常に考察し、習得する。 2. レパートリーを一曲でも多くし、表現豊かに曲を弾きとおす伴奏法を習得する。 3. いろいろな曲の演習を通して、教材の活用法や演奏技術を習得する。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	器楽記録表と曲目リストの配布・カリキュラム説明				事前／事後 曲の譜読み・練習／説明内容の把握	
	②	歌の伴奏法と効果的練習方法の説明と個人指導				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	③	個人指導(生活のうた「おはようのうた」など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	④	個人指導(生活のうた「おべんとう」など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑤	個人指導(生活のうた「おかえりのうた」など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑥	個人指導(春のうた せんせいとおともだちなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑦	個人指導(曲の速さについて チューリップなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑧	個人指導(前奏の大切さ おはようなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑨	個人指導(姿勢・手首など基本の点検 ぶんぶんぶん)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑩	個人指導(指使いの重要性 かたつむりなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑪	個人指導(フレージング 音楽の呼吸 ちょうちょうなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑫	個人指導(夏のうた うみ など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑬	個人指導(旋律と伴奏のバランス とけいのうたなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑭	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出				事前／事後 器楽記録票の点検／試験曲の練習	
	⑮	前期実技試験・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握	
	⑯	器楽記録表配布・カリキュラム説明				事前／事後 曲の譜読み・練習／説明内容の把握	
	⑰	個人指導(表情豊かな演奏 おはながわらったなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑱	個人指導(就職試験にむけて どんぐりころころなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑲	個人指導(秋のうた まつぼっくりなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	⑳	個人指導(ダンパーペダル あめふりくまのこななど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉑	個人指導(うたあそび しあわせならてをたたこうなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉒	個人指導(わらべうた あんたがたどこさなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉓	個人指導(いろいろな伴奏 きくのはななど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉔	個人指導(冬のうた ゆきなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉕	個人指導(英語のうた キラキラ星など)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉖	個人指導(季外のうた いぬのおまわりさんなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉗	個人指導(行事のうた きょうからおともだちなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉘	個人指導(行事のうた 修了のうたなど)				事前／事後 曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認	
	㉙	試験曲の個人レッスン・器楽記録票の提出				事前／事後 器楽記録票の点検／試験曲の練習	
㉚	後期実技試験・講評				事前／事後 試験曲の練習／講評の内容の把握		
学習上の留意点	・各自選択曲をしっかり練習して授業に臨むこと。教員の助言したポイントに気をつけて、家での毎日の練習の他、学校でもわずかな時間を大切に練習すること。 ・幼児のことを常に意識した導入(言葉がけや曲のイメージ)・表情豊かな弾き歌いで曲を弾きとおすことができるように練習する。教員の助言したポイントに気をつけて練習をすること。						
成績評価の方法	前期実技試験 50%:後期実技試験 50% ※試験曲は、前期・後期ともに授業時合格曲のレベルと合計点による。(器楽記録票の提出必須) ※平常点(弾き歌い発表や授業参加状況、受講態度など)を勘案する。 ※評価が、前期>後期であれば平均値、前期<後期であれば、後期の値をとる。				教科書	「幼児のうたとあそび」 曲目一覧表 器楽記録表 プリント教材	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	通年	授業形態	講義	演習・実習	単位数	2単位
科目名		音楽Ⅱ(声楽)				担当教員	都築 美和子・仙石 美千代		
全体目標	幼児教育実践の場において要求される歌唱技能の向上を目標とする。								
一般目標	幼児に楽しい音楽を伝えられるように歌唱指導のあり方を考察し、発表活動をする。								
到達目標	多くの歌唱経験をとおして、表情豊かな歌唱力を養う。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	季節のうた「おはながわらった」など/合唱曲シューベルト「野ばら」譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	②	季節のうた「せんせいとおともだち」など/S.「野ばら」アルト譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	③	季節のうた「つばみのうた」など/S.「野ばら」二重唱				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	④	実習に備えて”生活のうた”弾き歌い「おかえりのうた」など/伴奏付けⅠ				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	⑤	弾き歌いの重要性。季節のうた「チューリップ」など/伴奏付けⅡ				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	⑥	弾き歌いに慣れる。季節のうた「花・はと・ピアノ」など/ウェルナー「野ばら」譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	⑦	前奏の重要性。季節のうた「こいのぼり」など/W.「野ばら」アルト譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	⑧	歌と伴奏とのバランス。季節のうた「バスごっこ」など/W.「野ばら」二重唱				事前／事後	曲の譜読み・練習／習得確認		
	⑨	アカペラの重要性。季節のうた「あめふりくまのこ」など/「大きな古時計」譜読み				事前／事後	アカペラ唱読譜／アカペラ練習		
	⑩	歌唱指導発表「かたつむり」など/「大きな古時計」アルト譜読み				事前／事後	歌唱指導準備／習得確認		
	⑪	歌唱指導発表「しゃぼんだま」など/「大きな古時計」二重唱				事前／事後	歌唱指導準備／習得確認		
	⑫	歌唱指導発表「ありさんのおはなし」など/「大きな古時計」二重唱				事前／事後	歌唱指導準備／習得確認		
	⑬	試験曲譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／試験曲の把握		
	⑭	試験曲練習				事前／事後	試験曲の練習／指摘箇所の確認		
	⑮	前期実技試験・講評				事前／事後	試験曲の練習／講評の内容の把握		
	⑯	季節のうた「ポンポコたぬき」など/合唱曲「少年時代」譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／説明内容の把握		
	⑰	季節のうた「まつぼっくり」など/「少年時代」アルト譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑱	季節のうた「どんぐりころころ」など/「少年時代」二重唱				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑲	身体表現などをつけて歌う(発表)「おもちゃのチャチャチャ」など/「紅葉」二重唱				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	⑳	季節のうた弾き歌い「うんどうかい」など/「Believe」譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉑	季節のうた弾き歌い「こぎつね」など/「Believe」アルト譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉒	季節のうた弾き歌い「秋」など/「Believe」バス譜読み				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉓	身体表現などをつけて歌う(発表)「赤鼻のトナカイ」など/「Believe」三重唱				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉔	季節のうた弾き歌い「あわてんぼうのサンタクロース」など/指揮法4拍子				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉕	季節のうた弾き歌い「ジングルベル」など/指揮法3拍子				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉖	季節のうた弾き歌い「たきび」など/指揮法2拍子、3拍子				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉗	季節のうた弾き歌い「たきび」など/指揮法6拍子				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉘	試験曲譜読み/教室発表の練習				事前／事後	曲の譜読み・練習／指摘箇所の確認		
	㉙	試験曲練習/教室発表会(うたとあそびによるグループ発表、合唱曲)				事前／事後	試験曲・発表曲練習／指摘箇所確認		
	㉚	後期実技試験・講評				事前／事後	試験曲の練習／講評の内容の把握		
学習上の留意点	人の前に立ち、堂々と歌うことができ、表情豊かな歌を発表できるようにする。 幼児に楽しい音楽を伝達できるよう、歌唱指導の方法を体験する。								
成績評価の方法	定期試験の歌唱テスト 70% 歌唱指導の発表 20% 授業参加状況・受講態度 10%					教科書	「幼児のうたとあそび」 学園愛唱歌選集		
						参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	通年	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名	表現(音楽)指導法				担当教員	奥村 正子			
全体目標	音楽基礎を体で表現することから、器用性の発達、表現の自由、統御力を育成する。								
一般目標	幼児の発達に合わせた反応運動を理解し、指導する方法を習得する。								
到達目標	1 リズム運動を通しリズムカルで美しい体の動きを身につける。 2 注意集中力を高める。 3 リズムゆうぎ、創作舞踊を通し指導者としての実演する方法を学ぶ。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	オリエンテーション				事前／事後	シラバス確認/内容把握		
	②	リトミック基本動作の体得(1)柔軟・歩行(テキストP4～6)				事前／事後	テキストに目を通しておく/内容確認		
	③	リトミック基本動作の体得(2)音符・休符(テキストP4～10)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	④	リトミック基本動作の体得(3) 拍子(テキストP80～85)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑤	リトミック基本動作の体得(4)音階(テキストP4～10,86,87)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑥	リトミック基本動作の体得(5)テクニック(テキストP91,92)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑦	リトミック基本動作の体得(6)テクニック(テキストP92～95)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑧	リトミック基本動作の体得(7)発令法(テキストP4～6,96,97)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑨	音楽と動き(1) リズムゆうぎ(春)(テキストP14～20)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑩	音楽と動き(2) リズムゆうぎ(テキストP23～33,50～77)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑪	音楽と動き(3) 創作舞踊①ー振付を覚える(実技見本)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑫	音楽と動き(4) 創作舞踊①ー1人で踊る(実技見本)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑬	総合的に復習				事前／事後	前回実技復習/確認テスト内容把握		
	⑭	基本動作・リズムゆうぎ確認テスト				事前／事後	確認テスト練習/試験内容把握		
	⑮	試験、まとめ				事前／事後	試験練習/講評の内容把握		
	⑯	オリエンテーションー創作舞踊についてー(DVD鑑賞)				事前／事後	シラバス確認/内容把握		
	⑰	創作表現を学ぶ(1)姿勢腕とひじの動き(実技見本)				事前／事後	テーマ・曲を考えておく/内容確認		
	⑱	創作表現を学ぶ(2)テクニクーステップ②(実技見本)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	⑲	創作表現を学ぶ(3)曲の選択/話し合い(グループワーク)				事前／事後	前回実技復習、曲の準備/内容確認		
	⑳	創作表現を学ぶ(4)振付を考える(グループワーク)				事前／事後	前回実技復習、振付考案/内容確認		
	㉑	創作表現を学ぶ(5) リハーサル(グループワーク)				事前／事後	前回実技復習、使用品準備/内容確認		
	㉒	創作表現を学ぶ(6) 発表(発表録画)				事前／事後	前回実技復習、使用品準備/内容確認		
	㉓	創作表現を学ぶ(7) 反省(発表録画鑑賞)				事前／事後	発表の反省点を考えておく/内容確認		
	㉔	リトミック基本動作の応用・展開(テキストP9～12)				事前／事後	テキストに目を通しておく/内容確認		
	㉕	音楽と動き(1)リズムゆうぎ(テキストP34～77)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	㉖	音楽と動き(2)創作舞踊②ー振付を覚える(実技見本)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	㉗	音楽と動き(3)創作舞踊②ーグループで踊る(実技見本)				事前／事後	前回実技復習/内容確認		
	㉘	総合的に復習				事前／事後	前回実技復習/確認テスト内容把握		
	㉙	総合的に復習・確認テスト				事前／事後	確認テスト練習/試験内容把握		
	㉚	試験・まとめ				事前／事後	試験練習/講評の内容把握		
学習上の留意点	・ 学生が指導者として実技ができるように、習慣的に復習をすること。 ・ 目標をもって基本を身につけること。 ・ 実技にふさわしい服装で参加すること。 ・ 個人個人を大切に、積極的にわからないところを質問・解消して、力をつけてほしい。								
成績評価の方法	定期試験 60% 授業参観状況 20% 受講態度 20%				教科書	天野式『幼児リトミッカー うた、ゆうぎ、ピアノ即興奏法一』 奥村京子(編)			
					参考資料	天野式『幼児リトミック第1・2集』永倉栄子(編) 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義	演習・実習	単位数	1単位
科目名	表現(造形)指導法				担当教員	川合 英治		
全体目標	幼児の発想力、創造力、感動力を導き出すための造形指導法を学び 実技製作体験を積み重ねて保育現場に役立つ能力を養う。							
一般目標	紙、段ボール、家庭廃材、土、木など様々な素材の特性や技術、加工法をマスターし、子どもの発達、 能力に応じた指導法を獲得する。							
到達目標	いろいろな接着法、糊、木工用接着剤、セロテープ、ガムテープなどの使い方を知る。 幼児にとって代表的道具であるハサミの安全な使い方、適切な使い方を習得する。 様々な素材を体験しその特性に合った題材を考える							
授 業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	①	表現(造形)指導法の内容と注意点について			事前学習	シラバスの下読み		
					事後学習	授業の振り返り		
	②	折り紙技法を応用した動物帽子製作			事前学習	材料準備		
					事後学習	授業で製作した作品をより完成度を高める		
	③	折り紙技法を応用したキャラクター帽子製作			事前学習	材料準備		
					事後学習	指導者の助言をふまえ、より楽しい作品にする		
	④	オリジナルかざぐるまのデザイン、原理を知る			事前学習	材料準備		
					事後学習	授業での説明をもとにイメージする		
	⑤	うず巻き風車、S字風車の具象形をデザインする			事前学習	材料準備		
					事後学習	鳥、動物、乗り物をイメージする		
	⑥	牛乳パックで歌あそびのための 反復玩具をデザインする			事前学習	材料準備		
					事後学習	子どもと話し合い歌のテーマを決定する		
	⑦	童謡やキャラクターソングのための玩具製作			事前学習	材料準備		
					事後学習	幼児と共に楽しんで歌ってみる		
	⑧	空き缶と紙で太鼓をつくる			事前学習	準備 空き缶を収集する		
					事後学習	指導事項の手直し		
⑨	太鼓の胴部分を飾る			事前学習	準備 フェルトや色画用紙を用意する			
				事後学習	指導事項の手直し			
⑩	牛乳パックで生活小物を製作する			事前学習	準備 いろいろなパック容器を集める			
				事後学習	指導事項の手直し			
⑪	手作り新聞紙粘土製作と応用法			事前学習	古新聞紙を細かく裁断しておく			
				事後学習	指導事項の手直し			
⑫	砂を使った紙粘土製作			事前学習	準備 川砂、海砂を取得する			
				事後学習	指導事項の手直し			
⑬	紙の防水加工技術でつくる 水上ディスプレイ			事前学習	材料準備			
				事後学習	家庭や保育室で水に浮かべてみる			
⑭	紙の防水加工技術でつくる 水中ディスプレイ			事前学習	材料準備			
				事後学習	部屋の水槽やタライで楽しむ			
⑮	テスト 講評			事前学習	総復習			
				事後学習	15回の授業の振り返り			
学習上の留意点	・製作点数が多いので、作り方 注意点 応用法を中心に学生に理解させる 足りない作製時間は自宅学習で補う。・他学生の作品も記録し表現の多様性を獲得する ・学内での運動会、発表会、他強化に連動した内容も盛り込む							
成績評価の方法	作品毎の発想力、完成度、オリジナリティーを 評価し採点する 70% 授業参加状況 20% 授業態度 10%				教科書			
					参考資料			
						『ダイナミック造形』 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	通年	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位	
科目名	表現(音楽)指導法Ⅱ				担当教員	今泉 増美・鷲山 千香子		
全体目標	簡単なオペレッタ作品の制作を通じ、幼児の感性や創造性を豊かにする表現を専門的に身につける。 また、それらは現場にて必要とされる“創る側”“観る側”の二つの視点も同時に養う。							
一般目標	表現内容(身体表現・音楽表現・造形表現・言語表現)を作品(楽譜・台本)から読み解き、 具体的に「伝えたいこと」の有無を紐解いた上、制作を行う。							
到達目標	歌唱法、伴奏法、演技法、演出法、舞台道具の制作法を学習し、他者との共通理解によって、集団での 個人スケールを超えた作品創りが可能であること(学び・気づき)も発表で実践する。							
授業 の な が れ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	授業の全体説明。班分け、曲決め、役割決め				事前／事後 班分け人数調査/台本読み		
	②	台本読み、役割決め決定(キャスト/ピアニスト)				事前／事後 台本読み/台本読み、譜読み		
授 業 の な が れ	③	台本読み、譜読み開始				事前／事後 台本読み、譜読み/譜読み		
	④	譜読み、制作(大道具・小道具・衣装)プラン立て開始				事前／事後 譜読み/制作プランの把握		
	⑤	譜読み終了、制作プラン決定・材料等確認				事前／事後 プラン把握/暗譜、プラン確認		
	⑥	暗譜練習、道具等制作開始(造形表現)				事前／事後 暗譜、プラン確認/暗譜		
	⑦	暗譜練習終了、道具等制作(造形知識)				事前／事後 暗譜/あら立ち(演出)プラン		
	⑧	立ち稽古(あら立ち)開始、道具等制作(造形技術)				事前／事後 あら立ちプラン/演出プラン把握		
	⑨	あら立ち(身体表現)				事前／事後 あら立ち稽古/立ち稽古		
	⑩	あら立ち(音楽表現)				事前／事後 立ち稽古/稽古、制作最終確認		
	⑪	あら立ち(言語表現)、道具等の制作終了				事前／事後 稽古、制作最終確認/立ち稽古		
	⑫	通し稽古(道具等使用)				事前／事後 稽古/稽古、道具位置等の把握		
	⑬	通し稽古(作品に込められた“伝えたい”ことを確認)				事前／事後 稽古、道具位置把握/最終確認		
	⑭	発表準備(全体の流れを把握する)				事前／事後 最終確認/教室発表流れ確認		
	⑮	教室発表(試験)・まとめ				事前／事後 教室発表流れ確認/授業まとめ		
	⑯	発表会までの流れ説明、曲決め、役割決め				事前／事後 振り分け人数確認/台本読み		
	⑰	台本読み、役割(キャスト/スタッフ“音・大・小・衣”)決め				事前／事後 台本読み/台本読み、譜読み		
	⑱	台本・譜読み(全員)、制作プラン表作成開始(形状)				事前／事後 台本読み、譜読み/譜読み		
	⑲	譜読み(全員)、制作プラン表作成(材料)				事前／事後 譜読み/暗譜、制作プラン把握		
	⑳	暗譜練習(全員)、制作プラン表・教室発表までの計画				事前／事後 暗譜、プラン把握/暗譜、把握		
	㉑	暗譜練習(全員)、制作プラン表①(スタッフ別)提出				事前／事後 暗譜、/暗譜、制作計画確認		
	㉒	暗譜(キャ・音)、演出プラン(キャ)、制作スタッフ作業開始				事前／事後 暗譜、制作確認/暗譜、把握		
	㉓	あら立ち、音楽アレンジプラン、制作プラン表②提出(大)				事前／事後 演出、制作確認/暗譜、確認		
	㉔	稽古、制作、音楽・照明(照明係決定)プラン作成開始				事前／事後 あら立ち、制作物確認/稽古		
	㉕	稽古、制作、最終プラン表提出(大)、舞監決定(大道具)				事前／事後 稽古/稽古、照明・制作物確認		
	㉖	通し稽古、制作、音楽・照明おおよそプラン表提出				事前／事後 稽古/稽古、発表の流れ確認		
	㉗	教室発表、音楽・照明プラン決定				事前／事後 稽古、流れ確認/直し箇所把握		
	㉘	通し稽古、道具・音楽・照明最終確認、全体流れ把握				事前／事後 稽古/発表会の流れ把握		
	㉙	ウィルホールにて発表(試験)				事前／事後 当日の流れ把握/片付け		
	㉚	まとめ(「1年間のふり振り返り」と「今後に生かせるもの」)				事前／事後 授業内容の把握/まとめ		
	学習上の留意点	普段から、保育士が必要とする総合的な音楽教育の指導力を身につけられるよう、身体・音楽・言語表現 等に対し、自他ともに注目しながら生活し、クラス全体での作品制作プロセスにて、他者から 「伝えたいこと」、自ら「伝えること」、お互い「伝え合うこと」の大切さ、難しさを一人一人が実感すること。 期限・制限があるものに対し、計画性をもって限られた環境の中で行動・練習等が出来ること。						
	成績評価の方法	平常点 40% (授業参加状況 20% 授業態度 20%) 発表 60%				教科書	年間を通じ、校内作成の『オペレッタ集』	
				参考資料	「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義	演習・実習	単位数	1単位
科目名	表現(造形)指導法Ⅱ				担当教員	川合 英治		
全体目標	幼児の発想力、創造力、感動力を導き出すための造形指導法を学び、実技製作体験を積み重ねて、保育現場に役立つ能力を養う。							
一般目標	紙、段ボール、家庭廃材、土、木など様々な素材の特性や技術、加工法をマスターし、子どもの発達、能力に応じた指導法を獲得する。							
到達目標	・いろいろな接着法、糊、木工用接着剤、セロテープ、ガムテープなどの使い方を知る。 ・幼児にとって代表的道具であるハサミの安全な使い方、適切な使い方を習得する。 ・いろいろな素材を体験しその特性に合った題材を考える							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習			
	① 特殊な紙で作る行事、イベントのための服の作り方	事前学習			シラバスの下読みをする			
		事後学習			使用目的とデザインを考えておく			
	② 紙の服製作 裁断と装飾	事前学習			材料準備			
		事後学習			他学生の作品と楽しみ合う			
	③ 劇あそびのための小道具の作り方を考える	事前学習			材料準備			
		事後学習			対象年令と技法を考える			
	④ 張り子技法でつくる お面や小物製作	事前学習			材料準備			
		事後学習			張り子のベースを作っておく			
	⑤ 張り子技法の紙貼りと彩色	事前学習			材料準備			
		事後学習			指導事項の手直し			
	⑥ 家庭廃品の応用製作法を考える	事前学習			いろいろな廃品を集めておく			
		事後学習			指導事項の手直し			
	⑦ アルミホイールと段ボールでつくるプレートレリーフ	事前学習			材料準備			
		事後学習			プレートの材料ベニヤ板,強力段ボールを用意			
	⑧ プレートレリーフにアルミホイール仕上げをする	事前学習			プレートのデザインを考えておく			
		事後学習			指導事項の手直し			
⑨ スポンジ素材で作るままごとグッズ製作	事前学習			材料準備				
	事後学習			指導事項の手直し				
⑩ スポンジのカットと着色のカットと着色	事前学習			材料準備				
	事後学習			ママゴトあそびに応用してみる				
⑪ 幼児がつくる簡単凧1 よくとぶ折り紙凧	事前学習			材料準備				
	事後学習			屋外で飛ばしてみる				
⑫ 幼児がつくる簡単凧2 ストロー ビニール凧	事前学習			材料準備				
	事後学習			屋外で飛ばしてみる				
⑬ 段ボール板工作の技法と注意ポイント	事前学習			いろいろな段ボール板を用意する				
	事後学習			指導事項の手直し				
⑭ 段ボール板玩具を製作する	事前学習			ビー玉 木片なども材料として考える				
	事後学習			指導事項の手直し				
⑮ テスト 講評	事前学習			総復習				
	事後学習			15回の授業の振り返り				
学習上の留意点	・製作点数が多いので、作り方 注意点 応用法を中心に学生に理解させ、足りない製作時間は自宅学習で補う。 ・他学生の作品も記録し表現の多様性を獲得する ・校内での行事、運動会、発表会、などに連動した内容も盛り込む							
成績評価の方法	毎回の作品の完成度、オリジナリティーを評価 その平均値 70% 授業参加状況 20% 授業態度 10%				教科書			
					参考資料	『ダイナミック造形』 「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	通年	授業形態	講義	演習・実習	単位数	2単位
科目名		教育相談				担当教員	出口 亨子		
全体目標	心理学的知見の学習をとおして、保育士・幼稚園教諭の立場から子ども支援・保護者支援に対応できる知識・態度を身につける。								
一般目標	1.子ども一人一人の発達を把握し、支援するために必要な知識を学習する。 2.家庭の状況、保護者の事情に配慮した対応をするための基礎知識や態度を学習する。 3.必要に応じて外部の専門機関と有意義な連携をはかることができるための知識や態度を学習する。								
到達目標	1.教科書・配布資料の講読により、心理学的視点をを用いて子ども・保護者への理解を深める。 2.クラスメイトと意見交換を通して、子ども・保護者支援の多様なアプローチがに気づくことができる。 3.外部の専門機関の機能を知り、そこからの助言を実践に生かすための基礎知識を習得する。								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	0～3歳の心の育て方				事前／事後 1～3章読む／0歳の発達課題まとめ			
	②	甘えの重要性と基本的信頼感の構築				事前／事後 4. 5章読む／1歳の発達課題まとめ			
	③	甘えと自立の関係／生活リズムの重要性				事前／事後 6～8章読む／2歳の発達課題まとめ			
	④	子どもの「泣き」の理解と対応				事前／事後 9～12章読む／生活リズムの整え方まとめ			
	⑤	イヤイヤ期の子ども・保護者の理解と対応				事前／事後 13～15章読む／イヤイヤ期の背景まとめ			
	⑥	保護者支援の重要性と様々な支援機関				事前／事後 16～19章読む／保健C・医療機関の機能			
	⑦	中間試験				事前／事後 ①～⑥復習／わからないところ復習			
	⑧	中間試験返却・解説／ 妊娠・出産と家族の変化				事前／事後 20～22章下読み／産後うつが起きる理由			
	⑨	自律性の獲得とトイレトレーニング				事前／事後 Q1-3下読み／自律に必要な条件をまとめる			
	⑩	かみつきの問題とことばの発達との関係				事前／事後 Q10-11下読み／ことばの機能について			
	⑪	子どもの気質と保護者の養育困難感				事前／事後 Q13下読み／育てにくさの要因について			
	⑫	相談場面のロールプレイ・振り返りレポート				事前／事後 役つくりのための情報収集／配布資料講読			
	⑬	保健所・保健センターの乳幼児健康診査				事前／事後 Q12下読み／乳幼児健診の項目について			
	⑭	子育て支援機関、医療機関との連携				事前／事後 配布資料講読／専門機関の特徴について			
	⑮	前期試験・まとめ				事前／事後 ①～⑭復習／不明箇所の確認			
	⑯	3～6歳の心の育て方				事前／事後 1～6章読む／幼児期の発達課題まとめ			
	⑰	子どものほめ方・叱り方(1) 褒める・認めるの重要性				事前／事後 7章読む／「叱る」が「ほめる」に先立つ理由			
	⑱	子どものほめ方・叱り方(2) 望ましい行動を形成する				事前／事後 8章読む／手本や手がかりの重要性			
	⑲	子どものやる気を促すことばかけ				事前／事後 9、10章読む／ことばかけの工夫			
	⑳	注意・集中のコントロールが難しい子の理解と対応				事前／事後 19～22章読む／ADHDの特徴まとめる			
	㉑	注意・集中のコントロールが難しい子の保護者支援				事前／事後 配布資料講読／二次障害とは何か、予防			
	㉒	中間試験				事前／事後 ⑯～㉒復習／不明箇所の確認			
	㉓	中間試験返却・解説／ ことばおくれに気づく				事前／事後 中間試験の復習／配布資料講読			
	㉔	ことばおくれの理解と対応・保護者支援				事前／事後 家庭で取り組む遊び調べ／配布資料講読			
	㉕	不安・緊張のコントロールが難しい子の理解と対応				事前／事後 16～18章読む／配布資料講読			
	㉖	気持ちの表現に難しさを抱える子の理解と対応				事前／事後 配布資料講読／支援者との関係が大切な理由			
	㉗	感覚過敏のつらさに気づき・理解し対応する				事前／事後 配布資料講読／周囲への理解をどう促すか			
	㉘	読みの苦手さに気づいて支援する				事前／事後 配布資料講読／園での支援方法検討			
	㉙	書くことの苦手さに気づいて支援する				事前／事後 配布資料講読／園での支援方法検討			
	㉚	後期試験・まとめ				事前／事後 ⑯～㉚復習／不明箇所の確認			
学習上の留意点	・実習で出会った子ども達や対応している先生の姿を思い浮かべながら学びましょう。 ・クラスメイトと意見交換を積極的にして、多様な見方・考え方に会いましょう。 ・教科書や配布資料は2～3回読んで、内容理解を深めましょう。								
成績評価の方法	前期定期試験 30% 前期中間試験・レポート課題など20% 後期定期試験 40% 後期中間試験・レポート課題など 10% *平常点(受講態度・授業参加状況)も勘案し、総合的に評価する。					教科書	【前期】0～3歳のこれで安心 子育てハッピーアドバイス 【後期】3～6歳のこれで安心 子育てハッピーアドバイス		
						参考資料			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名	教職実践演習				担当教員	菅田 達也・仙石 美千代・加藤 洋子・吉村 壽子・鈴木 将也・川角 恭代・須田 昂宏・榊原 菜々枝・小川 潤子・川合 真由美・加藤 千夏・井谷 雅治			
全体目標	教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動で学んだことを振り返り、教員として資質として統合され、全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」をする。								
一般目標	講義、模擬保育やフィールドワークを通じて、教職課程の学びの集大成をはかる。								
到達目標	① 使命感・責任感・豊かな感性を持ち、愛情豊かに子どもに接することができる ② 社会性や対人関係能力を身につけ、子ども・保護者・職員などと信頼関係を築くことができる ③ 子どもを理解し、意欲的で活気のあるクラス運営・集団づくりをする力をつける ④ 図画工作、ピアノ伴奏などの保育の表現技術や、保育内容の指導力、計画立案や説明する力をつける								
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習			
	①	ガイダンス(教職実践演習とは、オリエンテーション)				事前学習	シラバスを確認する		
						事後学習	授業内容を復習する		
	②	保育者の職務の実践的理解ー学級運営についてー				事前学習	実習中の学級運営を振り返る		
						事後学習	授業内容を復習する		
	③	保育者の職務の実践的理解ー子どもとのかかわりに関するロールプレイー				事前学習	実習を振り返る		
						事後学習	授業内容を復習する		
	④	模擬保育を実施するにあたって				事前学習	実習を振り返る		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑤	模擬保育1ー集団あそびー				事前学習	模擬保育の準備をする		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑥	模擬保育2ー誕生日会ー				事前学習	模擬保育の準備をする		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑦	模擬保育3ー自然、生物ー				事前学習	模擬保育の準備をする		
						事後学習	授業内容を復習する		
	⑧	模擬保育4ー音楽活動指導ー				事前学習	模擬保育の準備をする		
						事後学習	授業内容を復習する		
⑨	模擬保育5ー造形活動指導ー				事前学習	模擬保育の準備をする			
					事後学習	授業内容を復習する			
⑩	模擬保育6ー特別な指導を必要とする子どもへの指導ー				事前学習	模擬保育の準備をする			
					事後学習	授業内容を復習する			
⑪	模擬保育7ーチームワークと園児指導ー				事前学習	教科書の該当箇所を予習する			
					事後学習	授業内容を復習する			
⑫	フィールドワークーあそびの会の計画ー				事前学習	あそびの会の準備をする			
					事後学習	準備の継続			
⑬	フィールドワークーあそびの会の準備ー				事前学習	あそびの会の準備をする			
					事後学習	準備の継続			
⑭	フィールドワークーあそびの会の実施、反省会ー				事前学習	あそびの会の準備をする			
					事後学習	あそびの会を振り返る			
⑮	総まとめ(自己課題についてまとめ、試験)				事前学習	授業内容を振り返る			
					事後学習	学びの振り返りをする			
学習上の留意点	・授業(演習)には積極的に取り組むこと。 ・実習での取り組みや気づきは実習中の記録とは別に、各自、振り返ることができるようにしておくこと。 ・進んで意見を述べたり、講評をしったりするよう心がけること。								
成績評価の方法	平常点(授業参加状況や受講態度)や、ロールプレイ、模擬保育、フィールドワークにおける発表、知識・技能の習得度、保育者としての資質の理解などを総合的に評価する。				教科書	特に指定しない			
					参考資料	「自己成長を目指す教職実践演習テキスト」原田恵理子(編) 北樹出版「幼稚園教育要領」「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習		単位数	2単位
科目名		教育実習Ⅱ				担当教員	加藤 千夏		
全体目標	・教育実習1での課題を改善し、授業と実習とを関連づけて知識・技術を深める。 ・指導案作成・教材研究・ピアノの練習等、事前準備をすることの大切さに気づき、積極的に実践する。								
一般目標	・教育実習事前事後指導や保育内容等の授業で学んだことを反映させて、意欲的に取り組む中で保育の質を高める。 ・子どもの姿を丁寧に観察したことに基づいて、ねらいを設定し、「指導計画」を作成する。								
到達目標	・自分の反省点や課題を見つけて、今後の保育につながるようにする。 ・PDCAサイクルに当てはめて、毎日の実習記録や指導計画をしっかりと振り返る。								
授業の内容	・実習の期間 前期5月に2週間実施。 ・実習の内容 実習園の指示に従い、参加(部分)実習に加え、指導実習(一日・半日)を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を複数回行うこともある。 朝の会、帰りの会、給食等の部分実習やピアノ演奏については積極的に随時行う。 ・事前訪問 実習開始の約3週間前に実施し、実習園の概要および実習方針を知る。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に持参する。								
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 (遅刻・早退・欠席等は必ず) ・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を順守する。 ・指導案作成・教材研究・ピアノ等の事前準備を行ったうえで実習に臨むこと。 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。 実習に臨む姿勢や事前準備が整わない場合は、実習を見送ることがある。								
成績評価の方法	・実習園の評価を基にオリエンテーション、実習記録、実習園訪問指導時の状況を含む実習の取り組み状況を総合的に勘案して評価する。 ・最終的には教育実習Ⅰ・Ⅱおよび教育実習事前事後指導の授業を合わせて評価する。					教科書	『教育・保育実習マニュアル』 『幼稚園教育要領』『幼稚園教育要領解説』 『実習における遊びの援助と展開』久富陽子(編著)萌文書林		
						参考資料	実習関係書類 『保育所保育指針』『保育所保育指針解説』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	0.5単位
科目名	教育実習事前事後指導Ⅱ			担当教員	加藤 千夏		
全体目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 情報機器や教材を活用し、実践力を身につけられるようにする 実習の計画、観察、記録の内容や方法について具体的に理解する						
一般目標	保育者に求められる資質や専門性について学ぶ 実習の計画、実践、評価、修正(PDCAサイクル)を行いながら次につなげていく 指導実習に向けて、「指導計画」立案や活動の実践力を身につける						
到達目標	「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」についての理解を深める 子どもの見方やかかわり方など、様々な角度から考えられるようになる 保育者に求められる資質や専門性について学び、自己課題を明確にする						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	教育実習に向けての心構えと事前準備 保育方法の確認「手遊び」			事前学習	自己課題や実習で学びたいことを明確にする	
					事後学習	今まで習った手遊びの練習をしておく	
	②	事前訪問 注意事項の確認・書類作成 保育方法の確認「運動遊び」「集団遊び」			事前学習	事前訪問時の注意事項を確認する	
					事後学習	様々な遊びのルールを確認しておく	
	③	記録の記入(1)指導計画 前日までの子どもの姿 保育方法の確認「わらべうた」「うたあそび」「リズムあそび」			事前学習	自分の指導計画のねらいについて考察する	
					事後学習	教育実習Ⅱの「心構え」を記入する	
	④	記録の記入(2)「教師の援助・配慮」「教師の意図・ねらい」 保育表現「造形表現」「言語表現」			事前学習	子どもたちの前で実践できるよう練習を重ねる	
					事後学習	「実習記録」の記入方法を見直す	
	⑤	記録の記入(3)園児観察記録 DVD「遊びこそ豊かな学び」 事前準備「活動記入用紙」			事前学習	子どもたちの前で実践できるよう練習を重ねる	
					事後学習	「活動記入用紙」にいくつか記入しておく	
	⑥	記録の記入(4)週案 配慮の必要な子どもたちについて			事前学習	「実習記録」の記入方法を見直す	
					事後学習	配慮が必要な子どもの配慮についてまとめる	
	⑦	記録の記入(5)実習クラスの指導計画 「導入→展開→まとめ」			事前学習	子どもの姿を予測して指導計画を修正する	
					事後学習	実習クラスに合った「指導計画」を2種類立てる	
学習上の留意点	⑧	一日の保育の流れ グループ討議 実習最終確認 実習記録・準備・お礼状・事後訪問等			事前学習	自分の学びたいことや課題を明確にしておく	
					事後学習	最終確認をして、準備を整えておく	
	⑨	事後指導(1)振り返りに基づく自己評価 「教育実習を終えて」 経験交流			事前学習	事後訪問に向けて「実習記録」を整える	
					事後学習	「教育実習を終えて」を記入する	
	⑩	事後指導(2)今後の取り組み 自己課題をどのように改善していくのか			事前学習	PDCA サイクルをもとに振り返る	
					事後学習	自分の課題を明確にしておく	
	⑪	事後指導(3)保育者のに求められる資質・能力、専門性 専門知識の復習			事前学習	保育者に求められる資質等について考える	
					事後学習	分からなかったところを中心に復習する	
	⑫	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(1) 育みたい資質・能力「三つの柱」 小学校教育との接続			事前学習	幼稚園教育要領を読んで線を引いておく	
					事後学習	分からないところに対して質問できるようにする	
成績評価の方法	⑬	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(2) 主体的・対話的で深い学び、カリキュラムマネジメント			事前学習	理解を深め、分からないところを明確にしておく	
					事後学習	学んだことを復習しておく	
	⑭	「幼稚園教育要領」・「認定こども園教育・保育要領」(3) 3法令共通する改訂のポイント等 まとめ			事前学習	3要領の同じ部分をまとめておく	
					事後学習	3法令の共通するところやポイントを理解する	
	⑮	試験・まとめ			事前学習	専門知識と実習がつながり理解を深める	
				事後学習	今後の課題を見つけて練習が学びを深める		
成績評価の方法	授業には積極的に取り組み、事前準備や習ったことを復習して理解を深める努力をすること 子どもや幼児教育に関心を持って、保育者を目指すものとして自覚を持って学ぶこと 日頃から「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を見るようにすること 提出物は丁寧に記述し、見直したうえで期限内に提出すること						
	定期試験50% 課題20% 授業参加状況30% (授業内での取り組み・グループワーク・レポート等)	教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育実技」久富陽子編 萌文出版 「実習における遊びの援助と展開」久富陽子編 萌文出版 「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」				
	以上を総合的に評価する		参考資料	「幼稚園教育要領解説」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」			

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習		単位数	2単位
科目名		社会福祉			担当教員	横井 直子			
全体目標	保育を取り巻く必要不可欠な事柄を学び、援助技術・実践に活かせる基盤を作る。								
一般目標	保育を必要とする子どもとその家庭が置かれている環境を理解する為、社会福祉の各分野の重要事項を学ぶ								
到達目標	社会福祉の基本理念と概要を学ぶことにより、社会の中で子どもを育てる為に必要な視点を学ぶ。								
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]				課外学習				
	① 社会福祉とは何か				事前学習	自分の身近にある「社会福祉」には何があるのか考えておく			
					事後学習	保育領域に近接する社会福祉を覚える			
	② 社会福祉に携わる人々・専門職				事前学習	保育士資格とはどのようなものか調べておく			
					事後学習	専門職とは何か意見をまとめておく			
	③ 社会福祉の歴史				事前学習	保育において功績のある人物を調べる			
					事後学習	歴史が現在に与える影響を整理する			
	④ 社会福祉の制度(法律など基本となる制度)				事前学習	児童福祉に関わる法律を調べる			
					事後学習	この回で学んだ主要な法律を覚える			
	⑤ 子ども・家庭に関わる福祉				事前学習	児童福祉の抱える時事問題を調べる			
					事後学習	家庭の役割とは何か整理する			
	⑥ 障害児・者に関わる福祉				事前学習	発達障害についての予習			
					事後学習	この回で学んだ概念を整理する			
	⑦ 高齢者福祉				事前学習	年金とは何か調べる			
					事後学習	年金制度の復習			
	⑧ 中間学習確認(レポートまたは簡易テスト)				事前学習	7回までの内容を見直す			
					事後学習	理解できていなかった項目の復習			
⑨ 地域福祉				事前学習	自分の地域にある福祉サービスを調べる				
				事後学習	要保護対策協議会について復習				
⑩ 貧困と社会福祉				事前学習	子どもの貧困とは何か調べる				
				事後学習	生活保護制度について復習				
⑪ 社会福祉援助技術(ケースワーク)				事前学習	相談とは何か考えておく				
				事後学習	相談援助の視点の復習				
⑫ 社会福祉援助技術(グループワーク等)				事前学習	自分の周りの「集団」には何があるか考える				
				事後学習	各援助技術の整理				
⑬ 社会福祉援助技術(連携・虐待防止等)				事前学習	虐待とは何か予習				
				事後学習	虐待防止の為にできることをまとめる				
⑭ 保育と社会福祉				事前学習	13回目までの内容を振り返る				
				事後学習	社会における保育の役割について考える				
⑮ 試験とまとめ				事前学習	各分野の重要項目を説明できるよう整理する				
				事後学習	理解不足箇所の確認と復習				
学習上の留意点	知識は、生活の中で考えて場面に応じて使用することにより始めて活かされます。 関心を持ち、積極的に考え、自分の意見を述べてください。								
成績評価の方法	定期試験 60% 中間学習確認 30% 受講態度 10%				教科書	なし ※毎回資料を担当教員が準備します。			
					参考資料	『基本保育シリーズ4 社会福祉』 松原康雄編 中央法規			

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名	相談援助				担当教員	柴田 瞳	
全体目標	ケアワーカー(保育士)が行う相談援助(ソーシャルワーク)とは何かを学び、子ども・保護者の相談に対応できる知識と技術を身につける。						
一般目標	様々な視点から相談援助とは何かを学び、保育士の行う相談援助を理解する。相談援助の対象理解、それぞれの過程の特徴、方法・技術を習得する。相談援助における原則を理解する。社会資源について理解する。						
到達目標	1, 相談援助について学び、用語等を覚える。 2, 学習を通して、自己覚知を行う。 3, 事例などを通して相談援助者となる心構えをする。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	①	相談援助とは オリエンテーション (相談援助を学ぶ意義)				事前学習	「まえがき」読んでおく
						事後学習	板書内容の確認
	②	相談援助とは (相談援助の定義と内容)				事前学習	p1～8読んでおく
						事後学習	相談援助とは何か理解する
	③	相談援助の概要Ⅰ (相談援助の理論・意義・機能)				事前学習	p9～16読んでおく
						事後学習	相談援助の理論・意義・機能を理解する
	④	相談援助の概要Ⅱ (相談援助とソーシャルワーク)				事前学習	p17～24読んでおく
						事後学習	ソーシャルワークとは何か理解する
	⑤	相談援助の概要Ⅲ (保育とソーシャルワーク)				事前学習	p25～32読んでおく
						事後学習	保育とソーシャルワークの関係性を理解する
	⑥	相談援助の方法と技術Ⅰ (相談援助の対象)				事前学習	p33～40読んでおく
						事後学習	対象理解における環境とは何か頭に入れる
	⑦	相談援助の方法と技術Ⅱ (相談援助の過程)				事前学習	p41～48読んでおく
						事後学習	相談援助の過程を頭に入れる
	⑧	相談援助の方法と技術Ⅲ (ケースワークとグループワーク)				事前学習	p49～56読んでおく
					事後学習	ケースワークの原則を頭に入れる	
⑨	相談援助の方法と技術Ⅳ (相談援助の技術とアプローチ)				事前学習	p57～64読んでおく	
					事後学習	コミュニティワーク、資料作成を理解する	
⑩	相談援助の具体的展開Ⅰ (計画・記録・評価)				事前学習	p65～72読んでおく	
					事後学習	計画作成について理解する	
⑪	相談援助の具体的展開Ⅱ (社会資源の活用・調整・開発)				事前学習	p73～80読んでおく	
					事後学習	社会資源の種類を頭に入れる	
⑫	事例検討Ⅰ (虐待の予防と対応等の事例分析)				事前学習	用語の復習をする	
					事後学習	プリントの復習をする	
⑬	事例検討Ⅱ (ロールプレイ、フィールドワーク等による事例分析)				事前学習	実習記録に目を通す	
					事後学習	事例について自宅学習する	
⑭	事例検討Ⅲ (保育におけるソーシャルワークの応用)				事前学習	発表内容の確認	
					事後学習	事例について自宅学習する	
⑮	試験・まとめ				事前学習	試験出題箇所の学習	
					事後学習	試験内容の把握	
学習上の留意点	・授業に合わせて教科書に目を通すことで、各章の全体を把握しましょう。 ・必ず教科書を持参してください。 ・プリントの記入が十分でない場合は、自宅学習してください。						
成績評価の方法	50% 定期試験 50% 平常点	・授業参加状況や受講態度等 ・プリント提出の状況と内容			教科書	『相談援助』 大嶋恭二・金子恵美 編著 (建帛社)	
					参考資料		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	保育原理			担当教員	牛田 弓子		
全体目標	保育の意義を理解したり、保育所保育指針や幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本について学んだりする。また、保育の基盤としての子ども観・保育観を身につけたり、実践における知識・技能の習得とともに子どもの内面理解等保育の専門性を学んだりする。保育の歴史の変遷や思想について学びを深める。						
一般目標	・保育所保育指針、幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における保育の基本を理解する。 ・実践例等から自分の持つ子ども観や保育観を知り、保育の専門性とは何かを考え理解する。 ・今日に至るまでの欧米や日本の保育の歴史と思想の流れや、日本における保育内容の歴史の変遷について学ぶ。						
到達目標	・保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園における保育の基本や保育の意義が理解できる。 ・実践例、事例等から子どもの内面理解の仕方を学び、保育の専門性を身につけることができる。 ・欧米や日本の保育の歴史や思想及び日本の保育内容の変遷について理解できる。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習		
	①	保育とは何か、保育原理とは何かを学ぶ。			事前学習 (教)3～8Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	②	保育の基盤としての「子ども観」「保育観」について考える。			事前学習 (教)15～28Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	③	子ども理解(Ⅰ)子どもの「行為」の意味について考える。			事前学習 (教)31～34Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	④	子ども理解(Ⅱ)子どもの「発達」の見方について学ぶ。			事前学習 (教)38～44Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑤	子ども理解(Ⅲ)子どもが育つ「環境」とは何かを考える。			事前学習 (教)49～52Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑥	保育の専門性について考える。 (Ⅰ)カウンセリングマインドの意義			事前学習 (教)34～37Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑦	保育の専門性について考える。 (Ⅱ)カウンセリングマインドの進め方			事前学習 (教)配布されたプリントを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑧	保育所保育指針の基本的理解をする。			事前学習 保育指針4～12Pの総則を読み内容を把握する。 事後学習 授業内容プリントを見直し要点を確認する。		
	⑨	幼稚園教育要領の基本的理解をする。			事前学習 教育要領5～13Pの総則を読み内容を把握する。 事後学習 授業内容プリントを見直し要点を確認する。		
	⑩	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本的理解をする。			事前学習 教育・保育要領4～16P総則を読み内容の把握。 事後学習 授業内容プリントを見直し要点を確認する。		
	⑪	保育の歴史と思想を学ぶ。(1)西洋とアメリカ			事前学習 (教)117～125Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑫	保育の歴史と思想を学ぶ。(2)日本			事前学習 (教)125～128Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑬	保育内容の歴史の変遷を学ぶ。(1)幼稚園			事前学習 (教)129～132Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑭	保育内容の歴史の変遷を学ぶ。(2)保育所			事前学習 (教)125～126Pと配布プリントを読み内容の把握。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
		⑮ 筆記試験とまとめ			事前学習 これまでの学びとまとめプリントを確認する。 事後学習 講評の内容を把握する。		
◎日頃から保育関連の事柄に関心を持って新聞やテレビ、ネット等を見ておくこと。また、実際の子ども様子をよく見たり、ボランティアに参加したりする等、保育への理解に努めてほしい。 ◎授業中は私語・私事を慎み、将来の保育者としての自覚を持って授業に臨むこと。授業で出された課題を調べたり、話し合ったり、発表したりする等、自ら学ぶ姿勢を持つ。							
成績評価の方法	定期試験 50% レポート 30% 授業参加状況・授業態度 20%			教科書	『保育原理』森上史朗他(編)ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各解説書		
				参考資料	必要に応じて適宜配布する。		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名	保育原理Ⅱ				担当教員	牛田 弓子	
全体目標	保育における計画の意義・位置づけや全体的な計画とは何かを学ぶ。また、幼児期に育みたい資質・能力を「遊びを通しての総合的な指導」の中で、どのように捉え育てていくのか、保育内容・方法・環境や保育者のあり方等から考える。諸外国の保育理念について学び、理解を深める。						
一般目標	・全体的な計画にはどのようなものがあるかを知り、実践例を通して計画の作成・実践・記録・省察・評価の関係を理解する。 ・保育の基本である「環境を通して行う」中で子どもが育つ環境(特に人的環境)の重要性を学ぶ。 ・子どもが遊びや生活の中で豊かな体験を通じて資質・能力を身につけていく保育の内容・方法について理解する。 ・フレーベル・モンテッソーリ等の保育理念に学ぶ。						
到達目標	・全体的な計画(教育課程、長期・短期指導計画等)の意味や作成・実践・記録・省察・評価の関係を理解できる。 ・子どもが育つ環境(特に保育者の環境構成や言葉かけ等)の重要性が理解できると共に教材の工夫ができる。 ・豊かな体験を通じて一人一人の資質・能力を育んでいくための見通しを持った保育内容や方法、保育者のあり方を理解できる。						
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]				課外学習		
	① 保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅰ)教育課程・全体的な計画等				事前学習 (教)83P～86Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	② 保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅱ)長期指導計画のたて方と実践・評価等				事前学習 (教)87P～89Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	③ 保育の計画と実践の原理を考える。 (Ⅲ)短期指導計画のたて方と実践・評価等				事前学習 (教)89P～91Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	④ 子どもが育つ環境を理解する。 (Ⅰ)保育における環境について				事前学習 (教)49P～52Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑤ 子どもが育つ環境を理解する。 (Ⅱ)物的環境と人的環境の関連について				事前学習 (教)52P～57Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑥ DVD「光れどろだんご」を視聴して子どもにとっての環境と保育者の関わり方を学ぶ。				事前学習 前回までの子どもの育つ環境を見直しておく。 事後学習 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。		
	⑦ 保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅰ)保育の基本と保育内容・方法について				事前学習 (教)65P～69Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑧ 保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅱ)子どものための保育内容とは				事前学習 (教)74P～76Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑨ 保育内容・方法の原理を考える。 (Ⅲ)子どものための保育方法とは				事前学習 (教)76P～80Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑩ 保育者のあり方を学ぶ。 (Ⅰ)子どもとの関わりの中で求められるもの				事前学習 (教)139P～143Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑪ 保育者のあり方を学ぶ。 (Ⅱ)保護者との関わりの中で求められるもの				事前学習 (教)144P～146Pを読み内容を把握する。 事後学習 授業内容を振り返り要点を整理しておく。		
	⑫ 諸外国の保育理念を考える。(Ⅰ)フレーベル教育				事前学習 (教)121P～123Pを読み内容を把握する。 事後学習 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。		
	⑬ 諸外国の保育理念を考える。(Ⅱ)モンテッソーリ教育				事前学習 モンテッソーリ及び教具について調べておく。 事後学習 DVDの内容を振り返り要点をレポートにまとめる。		
	⑭ 保育の課題と現状を理解する。				事前学習 新聞、ネット等で今の保育の問題点を見つけておく。 事後学習 友達の発表等を振り返りまとめておく。		
	⑮ 筆記試験とまとめ				事前学習 これまでの学びとまとめプリントを確認する。 事後学習 講評の内容を把握する。		
学習上の留意点	◎実習での学びを生かし、子どもが何に気付いたり、どう考えたり、表現したりしているか、また、どんな情緒的な力が育っているかを常にキャッチできる保育者を目ざしてほしい。保育を含めた社会状況に関心をもち、自ら調べる姿勢をもって授業に臨むこと。 ◎グループの話し合いには積極的に参加し、友達の意見を聞いたり、自分の意見をまとめたり、積極的に発表したりするように努力すること。						
成績評価の方法	定期試験 50% レポート 30% 授業参加状況・授業態度 20%				教科書	『保育原理』森上史朗他(編)ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』及び各解説書	
					参考資料	必要に応じて適宜配布する。	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	通年	授業形態	講義・演習・実習		単位数	4単位
科目名		子どもの保健 I				担当教員	森 美香		
全体目標	・保健活動の意義を理解し、子どもたちの健康の保持増進に努められる。 ・子どもに多い疾病や事故の特徴とその予防対策、対応について理解する。 ・施設における衛生管理・安全管理体制を理解する。								
一般目標	・子どもの心身の特徴と発育・発達を理解する。 ・子どもにみられる主な疾患を知る。 ・保育場面での衛生管理、安全対策の取組みがわかる。								
到達目標	・子どもの生理機能、運動機能、精神機能を理解する。 ・子どもに多い感染症や事故および心の健康と課題を理解する。 ・保育現場における衛生管理・安全管理の実施体制とその必要性を理解する。								
授業のながれ	[授 業 内 容]					課外学習			
	①	子どもの保健を学ぶ意義 健康とは				事前／事後	教科書P7～p8・p15～p16を確認		
	②	母子健康指標 子育てをする人と場				事前／事後	教科書p8～p14・p124～p134を確認		
	③	発育・発達の経過と速度 発育の原則				事前／事後	教科書p16～p19を確認		
	④	手洗い(演習)				事前／事後	授業後の手洗いから実践する		
	⑤	新生児から思春期の身体発育と評価				事前／事後	教科書p20～p30を確認		
	⑥	身体計測(演習)				事前／事後	参考資料p7～p14を確認		
	⑦	生理機能の発達 (呼吸器)				事前／事後	教科書P31～p32を確認		
	⑧	生理機能の発達 (循環器)				事前／事後	教科書p32～p34を確認		
	⑨	生理機能の発達 (免疫機能・消化器)				事前／事後	教科書p34～p38を確認		
	⑩	生理機能の発達 (尿排泄・水分代謝)				事前／事後	教科書p38～p41を確認		
	⑪	生理機能の発達 (体温調節・睡眠)				事前／事後	教科書p41・p44を確認		
	⑫	生理機能の発達 (内分泌・感覚機能)				事前／事後	教科書p42～p47を確認		
	⑬	運動・精神機能の発達(神経機能・知能・言語)				事前／事後	教科書p47～p55を確認		
	⑭	情動・行動の発達 (情緒・社会性) 遊びについて				事前／事後	教科書p56～p58を確認		
	⑮	中間試験・まとめ				事前／事後	授業で話すポイントを押さえ学習する		
	⑯	子どもの病気の特徴				事前／事後	教科書p59～p60を確認		
	⑰	子どもの主な疾患 (感染症)				事前／事後	教科書p61～p69を確認		
	⑱	子どもの主な疾患 (先天異常)				事前／事後	教科書p70～p71を確認		
	⑲	子どもの主な疾患 (アレルギー・消化器疾患)				事前／事後	教科書p71～p75を確認		
	⑳	子どもの主な疾患 (呼吸器・循環器疾患)				事前／事後	教科書p75～p76を確認		
	㉑	子どもの主な疾患 (血液系の疾患・悪性腫瘍)				事前／事後	教科書p76～p77を確認		
	㉒	子どもの主な疾患 (神経系・皮膚・眼・耳の疾患)				事前／事後	教科書p77～p81を確認		
	㉓	子どもの主な疾患 (泌尿器・生殖器・整形外科の疾患)				事前／事後	教科書p79～p82を確認		
	㉔	子どもの主な疾患 (内分泌・代謝性疾患・SIDS)				事前／事後	教科書p82～p85を確認		
	㉕	子どもの心の健康とその課題				事前／事後	教科書p91～p97を確認		
	㉖	発達障害				事前／事後	教科書p101～p105を確認		
	㉗	保育現場における衛生管理				事前／事後	教科書p107～p117を確認		
	㉘	保育現場の事故防止と安全対策				事前／事後	教科書p117～p122を確認		
	㉙	健康及び安全の実施体制				事前／事後	教科書p123～p124を確認		
	㉚	試験・まとめ				事前／事後	授業で話すポイントを押さえ学習する		
学習上の留意点	・授業の初日に話す授業マナーを守りましょう。 ・積極的に授業に参加しましょう。								
成績評価の方法	定期試験100%					教科書	『新版 子どもの保健 I』佐藤益子他 (編) ななみ書房		
						参考資料	『これだけはおさえたい！ 保育者のための 子どもの保健 II』鈴木美枝子 (編) 創成社		

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名	子どもの保健Ⅱ				担当教員	森 美香	
全体目標	子どもの健康を保持増進するための保健活動を実践できる能力を養う。						
一般目標	1、子どもの健康、安全に関わる保健活動について理解する 2、子どもの特性や成長、発達を理解し、適切な保育が実践できる能力を養う 3、救急時の対応や事故防止、安全管理について学ぶ						
到達目標	①健康観察のポイントを理解するとともに望ましい保育環境について考えることができる ②養護技術を習得できる ③保健活動の実践と連携について理解できる ④体調不良時の対応やけが等の応急手当ができる						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習	
	① 「子どもの保健Ⅱ」オリエンテーション オムツづくり (6回目の授業までにオムツを完成させる)	事前学習	教科書p4～p6を確認				事後学習 教科書の復習
	② 子どもの心と体の健康づくり	事前学習	教科書p219～p230を確認				事後学習 教科書の復習
	③ 子どもの健康観察と健康管理	事前学習	教科書p27～p43を確認				事後学習 教科書の復習
	④ 衣服の着脱 身体計測と発育評価	事前学習	教科書p7～p26、p44～p57を確認				事後学習 教科書の復習
	⑤ 調乳と授乳の方法	事前学習	教科書p62～p64を確認				事後学習 プリントと教科書の復習
	⑥ 排泄の自立への援助 オムツ交換	事前学習	教科書p50～p53、p77～p79を確認				事後学習 プリントの復習
	⑦ 身体の清潔と沐浴	事前学習	教科書P58～p61、p95を確認				事後学習 教科書の復習
	⑧ 虫歯予防と歯みがき	事前学習	教科書p68～p71を確認				事後学習 教科書の復習
	⑨ 子どもと薬 電法	事前学習	教科書p134～p139、p92～p93を確認				事後学習 教科書の復習
	⑩ 子どもの主な症状への対応	事前学習	教科書p90～p115を確認				事後学習 教科書及びプリントの復習
	⑪ 感染症と予防接種 個別配慮を必要とする子どもへの対応	事前学習	教科書p116～p133、p139～p145を確認				事後学習 教科書の復習
	⑫ 望ましい保育環境と安全対策	事前学習	教科書p203～p218を確認				事後学習 教科書の復習
	⑬ 保育における応急手当(応急手当 包帯法)	事前学習	教科書p170～p194を確認				事後学習 教科書の復習
	⑭ 保育における応急手当(一次救命処置)	事前学習	教科書p194～p202を確認				事後学習 教科書の復習
	⑮ 試験 まとめ	事前学習	授業で話すポイントを押さえ学習しておく				事後学習 総復習
学習上の留意点	・演習の内容により、エプロン、タオル等自宅から持参していただくものがあります。 ・持ち物は、授業時に伝達いたします。 ・積極的な態度で演習に臨んでください。						
成績評価の方法	・授業態度(演習に臨む姿勢・準備・振り返り)40% ・「健康教育」「保健だより」の取り組み・発表 10% ・定期試験 50%				教科書	「これだけはおさえてい！保育者のための子どもの保健Ⅱ」 鈴木美枝子(編)創成社	
					参考資料	「新版 子どもの保健Ⅰ」 「新版 子どもの保健Ⅱ」 佐藤益子 他(編) ななみ書房	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	通年	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		子どもの食と栄養				担当教員	加藤 美紀子	
全体目標	乳幼児を健康でたくましく育てるために、保育者として食と栄養についての幅広い知識と実践を身につけ、一人ひとりの「食べる力」を支援できる保育士の養成をめざす。							
一般目標	1 基礎的な栄養知識を身に付け、実際に調理技術を身に付け、食を提供できるようにする。 2 子どもの食生活の問題点や、食の安全性、現代の小児を持つ家庭の食生活の現状を把握し子どもへの食の提供を考えられるようにする。							
到達目標	1 人間の身体と栄養のつながりをしっかり学習をする。 2 自分自身の食生活の状態を顧みて、普段の食を大切にする。 3 子どもや、保護者へ適切な食育ができるように、「子どもの食と栄養」を学ぶ。							
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]					課外学習		
	①	人と食べ物の関係				事前／事後	自分と食を考える/再度食を考える	
	②	子どもの食生活の特徴と現状と課題				事前／事後	テキストP2～7予習/ 食生活の課題	
	③	環境がもたらす子どもの身体への影響				事前／事後	テキストP9～10予習/環境汚染の復習	
	④	食物中の栄養素の役割				事前／事後	テキストP12～15予習/栄養素の働き復習	
	⑤	炭水化物 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP16～21予習/機能と摂り方復習	
	⑥	脂質 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP22～27予習/機能と摂り方復習	
	⑦	たんぱく質 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP27～33予習/機能と摂り方復習	
	⑧	ミネラル 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP34～38予習/機能と摂り方復習	
	⑨	ビタミン 種類・多く含む食品・機能・摂り方				事前／事後	テキストP38～43予習/機能と摂り方復習	
	⑩	水分の機能・食べ物の消化と吸収・栄養素の代謝				事前／事後	テキストP46～50予習/消化・吸収復習	
	⑪	献立の立て方				事前／事後	テキストP51～57予習/献立作成をする	
	⑫	調理の基本 調理法・調味料の役割				事前／事後	テキストP58～59/料理体験をしてみる	
	⑬	衛生管理 食中毒と予防・食品の表示制度				事前／事後	テキストP63～64予習/食中毒の種類復習	
	⑭	子どもの食行動の発達				事前／事後	テキストP66～76/食行動の変化復習	
	⑮	前期定期試験・講評				事前／事後	試験の勉強/講評の内容の把握	
	⑯	胎児期(妊娠期)の食生活				事前／事後	テキストP77～83予習/母体の変化復習	
	⑰	乳児期の食生活 母乳栄養法				事前／事後	テキストP88～98予習/母乳の利点復習	
	⑱	乳児期の食生活 人工栄養法・混合栄養法				事前／事後	テキストP99～109予習/調乳の注意点復習	
	⑲	離乳の必要性和進め方				事前／事後	テキストP110～119予習/必要性復習	
	⑳	幼児期の食生活の特徴				事前／事後	テキストP122～130予習/幼児の食行動復習	
	㉑	幼児期の間食・問題点				事前／事後	テキストP130～137予習/食生活の問題点復習	
	㉒	離乳食 実習				事前／事後	離乳食レシピを考える/実習の感想	
	㉓	幼児食 実習				事前／事後	幼児食のレシピを考える/実習の感想	
	㉔	学童期の食生活 特徴と問題点				事前／事後	テキストP138～153予習/問題点の復習	
	㉕	生涯発達と食生活 思春期・成人期・高齢期				事前／事後	テキストP154～166予習/問題点復習	
	㉖	食育の基本と内容 保育所における食育				事前／事後	テキストP168～180予習/保育所における食育	
	㉗	家庭や児童福祉施設における食事と栄養				事前／事後	テキストP182～204予習/問題点と課題	
	㉘	特別な配慮を要する子どもの食と栄養				事前／事後	テキストP206～214予習/体調不良対応復習	
	㉙	食物アレルギー・障害のある子どもへの対応				事前／事後	テキストP215～230予習/アレルギー対応復習	
	㉚	後期定期試験・講評				事前／事後	試験の勉強/講評の内容の把握	
学習上の留意点	・ 普段の自らの食生活を子どもの食と栄養を学びながら考え直して行く。 ・ 「食べる」ということを正しい関心を持つために意欲的な基礎知識を習得し、さらに調理技術を身に付けるよう努力をする。 ・ 課題の提出を必ず守る。							
成績評価の方法	定期試験 70% 提出物 30% 平常点 (授業参加状況や受講態度など) 勘案する。					教科書	前期・後期 『最新子どもの食と栄養』 学建書院	
						参考資料	『家族の勝手に所!』岩村暢子 新潮社 五訂 日本食品成分表	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	2単位
科目名		家庭支援論			担当教員	榊原 とよ		
全体目標	現代の家族の社会的状況や子育てについての適切な支援のあり方を理解し、地域や関係機関と連携し、子どものための家庭支援の充実について理解する。							
一般目標	①家庭の意義とその機能について理解する。③子育て家庭の支援体制について理解する ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる④子育て家庭への支援の展開と関係機関との連携について理解する							
到達目標	①家庭の意義とその機能について理解できる③子育て家庭への支援体制について理解できる ②子育て家庭を取り巻く社会的状況について理解できる④他機関等の連携について理解できる							
授業のながれ	回数	[授業内容]			課外学習	※指針:保育所保育指針		
	① 家庭の意義と役割				事前学習	指針「保護者に対する支援」を読む		
					事後学習	保育士が家庭支援を学ぶ理由をまとめる		
	② 地域社会の変容と子育て家庭				事前学習	子育て家庭を取り巻く社会の変容について予習		
					事後学習	演習課題を行い授業を振り返る		
	③ 家庭支援の必要性				事前学習	家庭支援の必要性について予習		
					事後学習	演習課題を行い授業を振り返る		
	④ 夫婦・親子関係の理解と支援(1) いろいろな夫婦、親子、家族形態				事前学習	現代の家族形態について予習		
					事後学習	家族形態について振り返る		
	⑤ 夫婦・親子関係の理解と支援(2) さまざまな家庭への支援				事前学習	指針の該当部分を予習する		
					事後学習	外国人の子どもを受け入れる保育所の対応についてまとめる		
	⑥ 親の理解と支援(1) 親とは何か				事前学習	プリント資料に目を通し現代の親の支援について予習		
					事後学習	育児性を高める保護者支援プログラムを振り返る		
	⑦ 親の理解と支援(2) 親の不安や悩み				事前学習	現代の親を取り巻く環境について予習		
					事後学習	現代の親の不安や悩みについてまとめる		
	⑧ 子育て家庭の就労と支援 女性の働き方と子育てとの両立				事前学習	指針の該当部分を予習する		
					事後学習	子育て家庭の現状についてまとめる		
⑨ 男女共同参画社会とワークライフバランス				事前学習	男女共同参画社会について予習する			
				事後学習	どのような職場環境が求められているかまとめる			
⑩ 保育所入所児童の家庭への支援				事前学習	指針「子育て支援」を予習			
				事後学習	演習課題を行い授業を振り返る			
⑪ 地域の子育て家庭への支援				事前学習	指針「地域の保護者に対する子育て支援」を予習			
				事後学習	演習課題を行い授業を振り返る			
⑫ 子育て支援施策とサービス(1) 次世代育成支援施策				事前学習	子育て支援施策について予習			
				事後学習	子育て支援に関する施策の変遷について理解しまとめる			
⑬ 子育て支援施策とサービス(2) 子育て支援サービスの概要				事前学習	プリント資料に目を通し社会的支援について予習			
				事後学習	地域子ども子育て13事業について授業を振り返る			
⑭ 虐待と家庭支援 児童虐待の法律と現状				事前学習	児童虐待の現状について予習			
				事後学習	保育現場においてどのように対応すればよいかまとめる			
⑮ 試験・まとめ				事前学習	配布資料また復習で提示した学習内容を見直す			
				事後学習	保護者へどのような支援ができるか振り返る			
学習上の留意点	・日頃から子どもを取り巻く社会の動きに関心をもち、子育て家庭とのつながりを考え、自主学習をするなど意欲的な授業態度を望む。 ・授業中は私語、私事を慎むこと。							
成績評価の方法	・平常点(受講態度) ・提出物 ・定期試験 以上を総合的に評価する。				教科書	なし プリント資料配布する。		
					参考資料	保育所保育指針 『保育と家庭支援』上田衛 編集 みらい社 『家庭支援』新保幸男 児童育成協会		

シラバス(授業計画)

部・学年		1 部 2 年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名		乳児保育Ⅱ				担当教員	川合真由美	
全体目標	3歳未満児の心身の発達の過程について学び、健やかな成長を支える生活やあそびについて理解し実施できるようになる							
一般目標	乳児保育のこれまでと現代社会の実情を知り、乳児保育の必要性・重要性を理解する							
到達目標	乳児保育のこれまでと現代社会の実情を知り、乳児保育の必要性・重要性の理解を深める							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	① 保育の中で乳児を見つめる視点					事前学習	乳児の発達について把握しておく	
						事後学習	乳児の発達について理解をする	
	② 保育の中で乳児を見つめる視点					事前学習	乳児保育のねらいと内容を把握しておく	
						事後学習	乳児保育のねらいと内容を理解する	
	③ 特別な配慮を必要とする子ども					事前学習	特別な配慮を必要とする子について把握しておく	
						事後学習	特別な配慮を必要とする子について理解する	
	④ 遊びの文化(絵本)					事前学習	絵本の読み方を練習しておく	
						事後学習	乳児にとっての絵本について理解をする	
	⑤ 保育士の在り方をめぐって					事前学習	保育士の専門性について把握しておく	
						事後学習	保育士の専門性について理解する	
	⑥ 新制度と乳児保育に関わる内容					事前学習	新制度の概要を調べておく	
						事後学習	新制度の概要、問題点などについて理解する	
	⑦ 指導計画作成					事前学習	保育過程等について調べておく	
						事後学習	保育過程などについて理解をする	
	⑧ 指導計画作成					事前学習	指導計画の書き方について調べておく	
						事後学習	指導計画の書き方について理解をする	
⑨ 中間テスト					事前学習	授業の復習をしておく		
					事後学習	試験内容について振り返る		
⑩ 保育評価の仕方					事前学習	保育の評価について調べておく		
					事後学習	保育評価についての保育者の視点を理解する		
⑪ 子育て支援					事前学習	地域の子育て支援などについて把握しておく		
					事後学習	保護者支援と地域の子育て支援について理解する		
⑫ 乳児にとっての遊び					事前学習	遊びについて調べておく		
					事後学習	遊びについて理解をする		
⑬ 保育に役立つ手作り玩具づくり					事前学習	手作りおもちゃ政策に必要なものを用意する		
					事後学習	手作りおもちゃを完成させる		
⑭ お便り帳やクラスだよりの書き方					事前学習	お便り帳などの参考資料を持参する		
					事後学習	お便り帳の書き方を理解する		
⑮ 試験・講評					事前学習	授業の復習をしておく		
					事後学習	試験内容について振り返る		
学習上の留意点	時間を守る・提出物は速やかに出す・人の話には耳を傾ける							
成績評価の方法	Gワークや演習活動への参加姿勢・態度 授業参加意識 30% 試験成績 70%					教科書	『赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力』	
						参考資料	保育所保育指針 参考文献 随時提示	

シラバス(授業計画)

部・学年	1部2年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	2単位
科目名	障がい児保育				担当教員	小川 潤子	
全体目標	障がいのある子の遊び及び生活上の困難をりかいし、個別のニーズに対して、他の職員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくための必要な知識や援助方法を理解する。						
一般目標	・障害のある子の支援方法について、簡単な例示することができる。 ・障害のある子の計画及び援助の方法を理解する。 ・様々な配慮を必要とする子の遊び又は生活上の困難と対応を理解する。						
到達目標	・個別の指導計画及び支援計画を作成する意義と方法を理解している。 ・関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。						
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]			課外学習	※保育所保育指針	
	①	オリエンテーション 障がいとはどういうことか			事前学習 事後学習	1年の復習 配布プリントを読む	
	②	全体的な計画に基づく指導計画 障がい保育における指導計画の作成と記録及び評価			事前学習 事後学習	全体的な計画について※指針を読む 配布プリントを読む	
	③	障がい保育における指導計画の記録および評価			事前学習 事後学習	エピソードを読む 演習記入	
	④	障がいのある子どもの保育の実践 (生活をともにする、活動をともにする)			事前学習 事後学習	エピソードを読む 配布プリントを読む	
	⑤	障がいのある子どもの保育の実践 (疑似体験をする)			事前学習 事後学習	障がいのある子の気持ちを考える 配布プリントを読む	
	⑥	障がいのある子どもの保育の具体的手立て (保育者の基本姿勢と関わり方)			事前学習 事後学習	演習課題記入 配布プリントを読む	
	⑦	障がいのある子どもの保育の具体的手立て (安心できる環境作り・ルール作り)			事前学習 事後学習	エピソードを読む 配布プリントを読む	
	⑧	職員間の協働 特別支援の必要な子を受け入れる時の理解			事前学習 事後学習	職員の協働について考える 配布プリントを読む	
	⑨	障がいのある子どもの保護者(親)への支援 (障がいの受容他)			事前学習 事後学習	テキストを読む 配布プリントを読む	
	⑩	障がいのある子どもの保護者(親)への支援 (事例演習)			事前学習 事後学習	テキストを読む 配布プリントを読む	
	⑪	障がいのある子どもの保育関連施策(幼稚園・保育所から就学に向けて)地域の専門機関との連携			事前学習 事後学習	テキストを読む 配布プリントを読む	
	⑫	個別の支援計画について			事前学習 事後学習	テキストを読む 演習課題記入	
	⑬	障がいのある子どもへの個別的対応			事前学習 事後学習	テキストを読む 事例発表準備	
	⑭	事例検討ワーク			事前学習 事後学習	事例発表準備 事例について考える	
	⑮	試験・まとめ			事前学習 事後学習	授業の復習 試験の内容を振り返る	
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。						
成績評価の方法	・定期試験70% ・平常点(授業態度・提出物)30%				教科書	『新・障害のある子どもの保育』 伊藤健次(編) みらい	
					参考資料	「保育者のための障がい児保育」尾野 明美 編著 萌文書林 発達障害のある子の保育の手だて」 佐藤暁・小西淳子 岩崎学術出版社 「キレない子どもを育てるセカンドステップ」 日本こどものための委員会	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義・ 演習 ・実習	単位数	1単位
科目名		児童文化				担当教員	北川 順子	
全体目標	児童文化の伝承者として、子どもの心身の成長を担う意識を持って、児童文化財の技術を習得するとともに自らの喜びを仲間と共有していく。							
一般目標	伝承遊び・絵本・紙芝居・パネルシアター・パペットなど具体的な遊びや演出法を習得する。							
到達目標	①子どもの心身の成長、発達段階を理解する。 ②様々なシチュエーションでの遊びのレパートリーを習得して保育への展開につなげる。							
授業のながれ	回数 [授 業 内 容]				課外学習			
	① 児童文化とは何か(歴史と考証)				事前学習	P8～49までを読んでおく		
					事後学習	遊びの歴史について説明文章を作成する		
	② 子どもの発達と児童文化・児童文化財				事前学習	P50～56までを読んでおく		
					事後学習	0～6歳の各遊び例を説明文書作成する		
	③ 児童文化財の保育への展開				事前学習	P57～P166まで読んでおく		
					事後学習	伝承遊びを2つ説明文章作成する		
	④ 伝承遊びを中心とした制作・実技Ⅰ (お手玉・わらべ歌等)				事前学習	お手玉を準備、練習をする		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	⑤ 伝承遊びを中心とした制作・実技Ⅱ (あやとり・けん玉・折り紙等)				事前学習	あやとり・けん玉・折り紙を準備、練習をする		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	⑥ 演じ手としての保育への展開の実技				事前学習	P57～P166 まで読んでおく		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	⑦ 絵本の意義・選び方・読み聞かせ実技				事前学習	絵本を準備、練習をする		
					事後学習	実技を確認・復習をする		
	⑧ 紙芝居の意義・選び方・読み聞かせ実技				事前学習	紙芝居を準備、練習をする		
				事後学習	実技を確認・復習をする			
⑨ ペープサート・パネルシアターの魅力・実技				事前学習	ペープサート・パネルシアターを準備・練習をする			
				事後学習	実技を確認・復習をする			
⑩ パペットの魅力論				事前学習	P117～P123まで読んでおく			
				事後学習	実技を確認・復習をする			
⑪ パペットの制作Ⅰ(下書き・裁断)				事前学習	パペットの制作の材料を準備する			
				事後学習	パペットの制作を進めておく			
⑫ パペットの制作Ⅱ(貼り付け、仕上げ)				事前学習	パペットの制作の材料を準備する			
				事後学習	パペットの制作を仕上げる			
⑬ パペットを活用した保育での展開演習、発表				事前学習	パペット演習、発表の準備、練習をする			
				事後学習	指摘箇所の確認			
⑭ 身近な物を使った遊び道具の魅力・実技				事前学習	ごっこ遊びの道具作りの準備をする			
				事後学習	実技を確認・復習をする			
⑮ 筆記試験、まとめ				事前学習	遊びの保育展開についてまとめておく			
				事後学習	講評の内容の把握			
学習上の留意点	児童文化は心の栄養と捉え、感動と喜びを共有し合うことを重要視する。理論だけでなく自ら遊びを体感することを心がける。また、児童文化財の魅力と保育への展開を学び、実際に自ら自信をもって子どもたちに的確に伝えることができるように実技を習得する。児童文化の技量を子どもだけでなく多くの人々の笑顔につなげていきたい。							
成績評価の方法	作品制作30%、授業態度20%、試験50%				教科書	『演習 児童文化』小川清実他 萌文書林		
					参考資料	随時提示		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	1単位
科目名		保育相談支援				担当教員	榊原 とよ			
全体目標	社会の変化に伴い孤立し、不安を抱える保護者が増加している昨今、幼稚園保育所の役割として子どもの保育に加え、保護者支援も求められるようになった。保育現場における子どもの問題の捉え方を理解し、保護者からの相談に応じるために必要となる相談に関する基本的な知識と技能を習得することを目標とする。									
一般目標	①保育相談支援の意義と原則について理解する ②保護者支援の基本を理解する。					③保育相談支援の実際、内容や方法を理解する。 ④保育所等児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する				
到達目標	①保育相談支援の概要と意義について理解できる ②保育相談支援の方法、技術について知識を深める					③保育相談支援のプロセスについて事例を参考にしながら自分なりに理解することができる。 ④事例を分析することで保護者支援への理解を深める				
授業のながれ	回数	[授業内容]				課外学習 ※指針とは、保育所保育指針のこと。				
	① 保育相談支援の意義					事前学習	指針第4章「子育て支援」を読む。			
						事後学習	保護者に対する保育相談支援の意義についてまとめる。			
	② 保育士の専門性を生かした支援					事前学習	指針「保育士の専門性」を読んでくこと。			
						事後学習	保育士の専門性を生かした支援は何かについてまとめる。			
	③ 保育相談支援の基本(1) 子どもの最善の利益と福祉の重視					事前学習	配布資料に目を通し予習のこと。			
						事後学習	「児童の権利に関する条約」を読み内容を整理する。			
	④ 保育相談支援の基本(2) 子どもの成長の喜びの共有					事前学習	現代の家庭形態について予習しておくこと。			
						事後学習	家族形態についてまとめる。			
	⑤ 保育相談支援の基本(3) 保護者の養育力に資する支援					事前学習	指針「さまざまな文化をもつ家庭への支援」を読む。			
						事後学習	外国人の子どもを受け入れる保育所の対応をまとめる。			
	⑥ 保育相談支援の基本(4) 信頼関係を築くための需要的なかかわり					事前学習	プリント資料に目を通し現代の親の支援を予習しておく。			
						事後学習	育児性を高める保護者支援のプログラムの振り返り。			
	⑦ 保育相談支援の基本(5) 社会資源の活用と関係機関との連携、協力					事前学習	現代の親を取り巻く環境について予習しておくこと。			
						事後学習	現代の親の不安や悩みについて自分なりにまとめる。			
	⑧ 保育相談支援の実際(1) 保育にかかわる保護者への指導					事前学習	指針「保護者の仕事と子育ての両立等の支援」を読む。			
					事後学習	子育て家庭の現状について自分なりにまとめる。				
⑨ 保育相談支援の実際(2) 保育相談支援の内容					事前学習	男女共同参画社会、ワークバランスについての予習。				
					事後学習	どのような職場環境、夫婦の働き方が求められているかまとめる				
⑩ 保育相談支援の実際(3) 保育相談支援の方法と技術					事前学習	指針「子育て支援」を予習のこと。				
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする。				
⑪ 保育所における保育相談支援の実際					事前学習	指針「地域の保護者に対する子育て支援」を読む。				
					事後学習	演習課題を行い授業の振り返りをする。				
⑫ 保育所における特別な対応を要する家庭への支援					事前学習	子育て支援施策について予習のこと				
					事後学習	子育て支援に関する施策の変遷について理解しまとめる。				
⑬ 虐待の類型と保護者支援					事前学習	プリント資料に目を通し子育ての社会的支援について予習。				
					事後学習	地域子ども子育て支援事業について授業の振り返りをする。				
⑭ 要保護自動の家庭に対する支援					事前学習	児童虐待の現状について予習をしておくこと。				
					事後学習	保育現場においてどのように対応すればよいかまとめる。				
⑮ 試験・まとめ					事前学習	配布資料また復讐で提示した学習内容を見直す。				
					事後学習	資料を整理し保護者への支援ができるよう見直しておく。				
学習上の留意点	・日頃から子どもを取り巻く社会の動きに関心を持ち、子育て家庭とのつながりを考え、自主学習をするなど意欲的な授業態度を望む。 ・授業中は私語、私事を慎むこと。									
成績評価の方法	・平常点(受講態度) ・提出物 ・定期試験 以上を総合的に評価する。					教科書	なし プリント資料配布する。			
						参考資料	保育所保育指針 『保育と家庭支援』上田衛 編集 みらい社 『家庭支援』新保幸男 児童育成協会			

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名		保育実習Ⅰ（保育所）				担当教員	小川 潤子・川合 真由美	
全体目標	保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験をし、保育所保育を理解する。また、基礎的な能力と態度を養い、自らの課題を明確にする。							
一般目標	・観察・参加実習を通して、子どもの実態と保育所保育の理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を養う。							
到達目標	・観察・参加を通して、子どもの実態と保育所保育の理解できる。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。 ・実習における観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。							
授業のながれ	・ 実習の期間 前期7月に2週間実施。 ・ 実習の内容 観察実習・参加実習を行う。 状況に応じて半日実習・部分実習を行うこともある。 ・ 事前訪問 実習開始の約3週間前に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・ 実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する 教員と園長・実習担当教諭等との面談終後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・ 事後訪問 実習終了後すみやかに実施。（実習園の指示に従う） 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 注：本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。							
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する					教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」	
						参考資料	・実習関係書類	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		保育実習指導 I (保育所)				担当教員	小川 潤子・川合 真由美	
全体目標	保育所保育を理解し、実習に必要なことを学ぶ。							
一般目標	・保育実習の意義・目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解する。 ・実習における観察・記録及び評価を理解する。							
到達目標	・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解して、実習にのぞむ。 ・実習における観察・記録及び評価を記入できる。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	オリエンテーション 実習の概要 実習の意義				事前学習	テキストを読む	
						事後学習	配布プリントを読む	
	②	保育所保育の理解				事前学習	あそびの原体験を記入	
						事後学習	配布プリントを読む	
	③	保育所保育 養護と教育の一体化の理解				事前学習	配布プリントを読む	
						事後学習	配布プリントを読む	
	④	実習記録の記入 (1) 子どもの遊び				事前学習	教育実習から保育実習用紙への書き換え	
						事後学習	実習記録記入	
	⑤	実習記録の記入 (2) 生活の流れ				事前学習	実習記録記入・見直し	
						事後学習	実習記録検討	
	⑥	実習記録の記入 (3) 一日の生活				事前学習	実習記録記入・見直し	
						事後学習	実習記録検討	
	⑦	保育教材研究				事前学習	テキストを読む	
						事後学習	個人票・実習生の目標の記入	
	⑧	実習記録の記入 (4) 指導計画				事前学習	配布プリントを読む	
					事後学習	部分指導案の記入		
⑨	実習記録の記入 (5) 指導計画完成				事前学習	部分指導案の記入、見直し		
					事後学習	部分指導案の検討		
⑩	実習の注意(人権保育・守秘義務・最善の利益)				事前学習	テキストを読む		
					事後学習	配布プリントを読む		
⑪	事後指導 (1) 振り返りに基づく自己評価 経験交流				事前学習	実習を終えての振り返り、自己評価		
					事後学習	個人票・実習生の目標の検討		
⑫	事後指導 (2) 今後の課題の明確化				事前学習	自己の問題記入		
					事後学習	自己の課題記入		
⑬	事後指導 (3) 今後の課題の行動計画				事前学習	自己の目標の具体化		
					事後学習	自己の行動計画記入		
⑭	実習記録の記入 (6) 指導計画 半日				事前学習	テキストを読む		
					事後学習	配布プリントを読む		
⑮	試験とまとめ				事前学習	授業の復習		
					事後学習	試験の内容を振り返る		
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。							
成績評価の方法	・定期試験60% ・平常点(授業態度・提出物)40%				教科	「教育・保育実習マニュアル」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」		
					参考	「養護と教育が一体となった保育の言語化」 全国保育士会		

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	集中	授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習	単位数	2単位
科目名		保育実習Ⅱ				担当教員	小川 潤子・川合 真由美	
全体目標	将来の保育士としての保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける。 保育所で、実践的指導力のある指導保育士のもとで体験をし、保育所保育と保育所の役割を理解する。							
一般目標	・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育・役割を理解をする。 ・学校で学んだ専門的な知識・理論・技術を保育場面で実践する基礎を身に付ける。							
到達目標	・観察・参加・指導実習を通して、保育所保育と保育所の役割の理解できる。 ・保育に必要な基礎的な技術を身に付ける。 ・実習における指導案作成と観察・記録及び評価を記入できる。また、自らの課題を明確にする。							
授業の内容がなされる	[授 業 内 容]							
	後期9～10月に2週間実施。 ・実習の内容 参加実習に加え、指導実習(一日)を行う 状況に応じて半日実習・部分実習を複数回行うこともある。 ・事前訪問 夏休み中に実施。 実習園の概要および実習方針を知る。 ・実習園訪問指導 実習担当教員を中心に本校教員が実習期間中に実習園を訪問する。 教員と園長・実習担当教諭等との面談終了後、実習生は現地で本校教員の指導を受ける。 ・事後訪問 実習終了後すみやかに実施。(実習園の指示に従う) 最終日の実習記録や振り返り等を記載し、実習園に原則持参する。							
学習上の留意点	・規則正しい生活を送り、心身ともに健康に留意する。 ・社会人としてのマナーを守り、保育者としての心構えを持つ。 ・能動的に実習に取り組む。・実習園で知り得た個人情報の守秘義務を遵守する。 ・実習園と学校に必要なに応じて「報告・連絡・相談」をする。 注:本校が定める「実習履修基準」により履修の可否を判断する。							
成績評価の方法	・実習園の評価を基に実習記録、実習園訪問指導時の状況、オリエンテーションを含む実習の取り組み状況を勘案して評価する					教科書	・「教育・保育実習マニュアル」 ・「保育所保育指針」 ・「保育所保育指針解説」	
						参考資料	・実習関係書類	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義・演習・実習	単位数	1単位
科目名		保育実習指導Ⅱ				担当教員	小川 潤子・川合 真由美	
全体目標	保育所保育を理解し、保育実習に必要なことを学ぶ。また将来の保育士としての保育士として、愛情と使命感を深め、保育の基礎的な能力を身につける							
一般目標	・保育実習の意義・目的を理解し、保育を総合的に学ぶ。・実習事後指導を通して、自己評価をおこない自らの課題を明確にする。 ・実習保育所における子どもの人権と、最善の利益、個人情報保護と守秘義務について理解を深める。 ・保育者の専門性と職業倫理について理解する。							
到達目標	・保育実習の意義・目的を理解し、自らの課題を明確にする。また、事後においては自己評価をし、自らの課題を明確にできる。 ・実習における観察・記録・計画及び評価を記入できる。 ・保育所における保育士の専門性と職業倫理を理解できる。							
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習		
	①	実習記録の記入 (1) 指導計画 一日				事前学習	指導計画作成	
						事後学習	指導計画検討	
	②	実習の諸注意				事前学習	テキストを読む	
						事後学習	配布プリントを読む	
	③	事後指導 (1) 振り返りと経験交流				事前学習	実習を終えての記入	
						事後学習	自己評価記入	
	④	事後指導 (2) 課題の明確化				事前学習	自己課題の記入	
						事後学習	課題発表準備	
	⑤	事後指導 (3) 課題の明確化 発表				事前学習	課題発表準備	
						事後学習	意見交流	
	⑥	事後指導 (4) エピソード記述				事前学習	エピソードメモ記入	
						事後学習	エピソード記述作成	
	⑦	事後指導 (5) 事例検討				事前学習	エピソード記述を読む	
						事後学習	意見交流	
	⑧	事後指導 (6) DVD視聴をして実践から学ぶ				事前学習	保育者の援助について考える	
						事後学習	保育者の援助について記入	
⑨	事後指導 (7) 他の方法による保育の評価の仕方				事前学習	評価の方法について調べる		
					事後学習	保育ドキュメンテーション理解を深める		
⑩	人権保育と子ども理解				事前学習	人権について考える		
					事後学習	人権保育について理解を深める		
⑪	危機管理				事前学習	危機管理について考える		
					事後学習	危機管理について理解を深める		
⑫	保護者支援				事前学習	保護者支援について考える		
					事後学習	保護者支援について理解を深める		
⑬	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解				事前学習	子どもの最善の利益について考える		
					事後学習	子どもの最善の利益について理解を深める		
⑭	保育士の専門性と職業倫理				事前学習	保育士の倫理について考える		
					事後学習	保育士の倫理について理解を深める		
⑮	試験とまとめ				事前学習	授業の復習		
					事後学習	試験の内容を振り返る		
学習上の留意点	・毎回必ず教科書を持参し、配布されたプリントはファイルに綴ること。 ・重要な箇所に自分で線を引いたり、追記したりすること。							
成績評価の方法	・定期試験60% ・平常点(授業態度・提出物)40%					教科書	「教育・保育実習マニュアル」 「保育所保育指針」 「保育所保育指針解説」	
						参考資料	「養護と教育が一体となった保育の言語化」 全国保育士会 配布資料	

シラバス(授業計画)

部・学年		1部2年	学期	半期	授業形態	講義	演習	実習	単位数	2単位
科目名		保育実践演習				担当教員	加藤 洋子・村上 友香・鈴木 将也 須田 昂宏・榊原 菜々枝			
全体目標	養成段階である学びの場から、間もなく保育実践者となる学生が、自分を見つめ現在の自身の実態と課題を明確にする。 養成段階での学びの軌跡の集大成とする。									
一般目標	① 保育に関する科目横断的な学習能力を習得する。② 保育に関する、現状分析、考察、検討を行う。 ③ 問題解決の為の対応、判断方法、などについての学びを深める。 ④ 保育士として自らの学びを振り返り、必要な知識、技能を習得した事を確認する。									
到達目標	乳幼児期の子どもたちを支える保育の専門家として、これまでの学びを確認し、今後の歩みで何をすべきかの見通しを確かにする。									
授業のながれ	回数	[授 業 内 容]				課外学習				
	①	保育実践演習を学ぶ目的の理解 グループ分け				事前学習	養成段階における自分の保育体験の振り返り			
						事後学習	教科書を読み返し授業の目標を理解をする			
	②	研究テーマの絞り方 研究の進め方				事前学習	養成段階における自分の保育体験の振り返り			
						事後学習	テーマを絞る根拠を探る			
	③	調査の必要性、アンケート調査の理解				事前学習	テーマを考え研究の構想を練る			
						事後学習	調査の方法又は、必要性を考える			
	④	研究テーマの決定 研究計画				事前学習	テーマについて調べることを具体的に考える			
						事後学習	文献探し、現場へ出向くなど研究の準備をする			
	⑤	レジュメの作成法 参考文献のレポートについて				事前学習	参考にした文献のレポートを書く			
						事後学習	レジュメについて教科書を参照しておく			
	⑥	レジュメ作成 レジュメの構成、細部にわたる留意点				事前学習	全体の構成を確認する			
						事後学習	発表の方法を具体的に考える			
	⑦	レジュメ作成 発表に際しての留意点、全体のまとまりについて				事前学習	レジュメの作成をする			
						事後学習	小見出しの確認や全体のまとまりを見返す			
	⑧	レジュメ作成 発表を聞くための注意事項、準備				事前学習	参考文献など見落としがないか確認			
						事後学習	教科書を読み返しもれがないかを確認			
学習上の留意点	⑨	レジュメ作成 レジュメ配布手順について				事前学習	レジュメの原稿を見返す			
						事後学習	レジュメ印刷、発表の練習			
	⑩	口頭発表				事前学習	発表の練習			
						事後学習	自分以外の人の発表を理解し、レジュメを読み返す			
	⑪	口頭発表				事前学習	発表の練習			
						事後学習	自分以外の人の発表を理解し、レジュメを読み返す			
	⑫	口頭発表				事前学習	発表の練習			
						事後学習	自分以外の人の発表を理解し、レジュメを読み返す			
	⑬	口頭発表				事前学習	発表の練習			
						事後学習	自分以外の人の発表を理解し、レジュメを読み返す			
成績評価の方法	⑭	口頭発表				事前学習	発表の練習、教科書を読み返し学習したことを復習			
						事後学習	自分以外の人の発表を理解し、レジュメを読み返す			
	⑮	口頭発表 学習確認ペーパーテスト				事前学習	発表の練習、教科書を読み返し学習したことを復習			
						事後学習	自分課題や問題点をまとめ、改善の見通しを立てる			
成績評価の方法	研究過程、発表	60点				教科書	保育実践演習〈自分を見つめ調べてみよう〉 (編著者) 加藤 洋子 鈴木 将也			
	演習テキストの完成	10点				参考資料				
	確認テスト(ペーパー)	30点								

第 部 年 組 番

氏名
